

名古屋市立大学  
蝶ヶ岳ボランティア診療所  
2018年度報告書

名古屋市立大学  
蝶ヶ岳ボランティア診療班

名古屋市立大学  
蝶ヶ岳ボランティア診療所  
2018 年度報告書



## 診療班の未来像 6

蝶ヶ岳ボランティア診療班 代表 酒々井眞澄(すずいますみ)

寄稿の機会を与えていただいた診療班関係者に感謝致します。本活動は学内外の多くの方々のサポートにより成り立っています。

2018年度は個人116名と自治体等5団体から金銭的なサポートをいただきました。11月5日の幹事会では2019年度の予算案が承認されました(11月15日配信メール)。例年の診療班参加者はおおよそ130名(学生80名と医療スタッフ等50名)であり、組織の規模にあわせた予算立てと執行が適切に機能しています。

安全な活動は私たちが最優先する事項です。2018年は三股登山口へのアクセス道路の崩落に伴い、学生班の登山をすべて上高地ルートに変更しました。くわえて、2018年も台風の接近に伴い登山の中止と早めの下山を班員に適宜指示しました。台風発生後の注意深い動向観察、参加者の把握(氏名、連絡先、現在地)および運営委員3役(教員)と学生との密接な連絡体制が極めて重要です。これらの点については本報告書(p14, p24)にまとめました。どうぞご参照ください。

診療面では医師不在期間の解消、学生不在時の対応、調剤過誤予防および研修医サポート(スカイプでの症例検討会、電話会議)などに引き続き取り組んでいます。2018年は研修医と運営委員3役(教員)が協力して1件のヘリ搬送症例に対応しました。安全な活動に真摯に取り組んでくれる人々の姿を次の世代に引き継ぐことが肝要です。

「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量と急性高山病発症との関連(登山医学 37: 144-149, 2017)」の研究成果を具体的な形で安全登山の啓発に活かしています(本報告書 p69)。積極的な成果発信が研究・教育の発展につながることを期待します。2019年も班員の登山知識と技術の向上をめざして猪熊隆之氏(株式会社ヤマテン)による「気象図の見方と山の天候判断」、山本正嘉教授(鹿屋体育大学)の「登山の運動生理学」についてご講演いただく計画です。是非ご参加ください。

多くの方々のご協力によりこれまでに約3,000名(毎年約130~200名)の患者診療にたずさわってきた実績があります。2018年12月5日に、蝶ヶ岳ボランティア診療班の学生諸君は、学生の社会貢献活動に対する名古屋市立大学「瑞躍賞」を受賞しました。

サポーターの皆様には今後も本活動へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

## 高山病と気象病・慢性痛

蝶ヶ岳ボランティア診療班 診療所長 薊隆文（あざみたかふみ）

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班にご協力いただいたすべての皆様。本年度も大過なく診療活動が行えたことを感謝いたします。そうは言うものの、今年は活動期間中に例年になくたくさん台風がやってきました。私はペインクリニック外来で慢性痛の患者さんを診ておりますが、慢性痛の中でも特に神経障害性疼痛の患者さんの多くは「低気圧がやってくる時痛みがひどくなる」とおっしゃいます。気圧・温度・湿度など気象の変化に伴って、頭痛・不眠・肩こり・吐き気・めまいなどが生じる病態を「気象病」と呼ぶことがあります。今回は「慢性痛」「気象病」そして「高山病」との関係を少し考えてみたいと思います。

慢性痛の機序の一つに交感神経の異常な反応が考えられています。さまざまなストレスで交感神経が刺激されると近隣の知覚神経も刺激され痛みとして伝わるというものです。気象病は耳が敏感な人がなりやすいという意見があります。内耳の気圧センサーが自律神経を活性化させることが一つの要因と考えられています。気象病の中で特に痛みが強くなる場合を「天気痛」と呼びますが、そうすると慢性痛には自律神経活動を介した天気痛の関与も考えられます。

高山病は、頭痛+吐き気・易疲労感・めまいを主訴とする病態です。下山することで症状は改善します。その原因は高地の低気圧による低圧性低酸素だと言われています。つまり、高地では酸素濃度は 21% のままでも気圧の低下によって単位体積当たりの酸素分子の数が少なくなるため、換気量が変わらなければ、体に入る酸素の量が低下し、その影響が高山病となる、というものです。低酸素が原因なので酸素投与によってももちろん症状は改善します。大きな呼吸・適度な過換気も症状を改善するのこのことで肺胞の酸素濃度が上昇するためだと考えられています。しかし、前から疑問に思っていたことですが、仮に 2,500 m から 500 m の下山では、気圧にして 50 hPa、酸素分圧で 8 mmHg、酸素濃度にして 1% 程度の改善にしかありません。これだけが改善の要因とは考えにくいと思っていました。慢性痛や天気痛を考えると、ひょっとすると高山病の原因は低酸素によるものの他に低圧の影響も少なからずあるのかもしれない。登山者で風邪をひいて耳の調子が悪い人は高山病になりやすいのだろうか？ 低気圧の代表である台風からこんなことを考えました。

来年も、台風は来るでしょう。診療班は台風対策をさらに進めてまいります。来年度も変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所

## 報告書

### 目次

蝶ヶ岳ボランティア診療所設立に関する合意書	4
蝶ヶ岳ボランティア診療所規約	5
名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班に参加ご希望の皆様(新規参加)	8
危機管理体制について	11
台風発生時の対応マニュアル	14
参加者および同伴者の宿泊経費	17
運営組織	18
参加・協力学生	20
診療班活動概要・運営上主な変更点・診療班活動記録	21
2018年三股登山口へのアクセス道路崩落に伴う上高地ルートへの変更	24
2018年度会計収支決算報告	42
スタッフ派遣日程表・学生登山隊日程表	43
蝶ヶ岳ボランティア診療班カルテ	45
診療記録	48
2018年度使用薬剤等集計	51
処方および薬剤等の準備(調剤)時の注意事項	54
酸素ボンベについて	56
登山での経口補水液OS-1摂取後の聞き取り調査	59
予防的介入活動の結果報告	64
第38回日本登山医学会への参加報告	69
症例報告	72
臨時班について	74
雲上セミナー記録	75
参加者感想文	81
学生感想文	86
患者さんからの言葉	98
メディア取材及び資料集	104
表彰	106
診療活動の取材に関する合意書	107
診療所での急なメディア取材申し込みへの対応フローチャート	108
短時間での一時閉所・完全閉所チェックリスト	109
2018年度寄付者御芳名	112
医療スタッフ募集	113

# 名古屋市立大学

## 蝶ヶ岳ボランティア診療所

### 設立に関する合意書

名古屋市立大学蝶ヶ岳診療班は名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所設立に際して蝶ヶ岳ヒュッテ設置者と以下の項目に関する合意を得たことを確認し、双方の理解と協力の下に診療所を円滑に運営し、蝶ヶ岳山域の登山者の安全確保に寄与することに努める。

第1条 設置場所は長野県南安曇郡堀金村、蝶ヶ岳ヒュッテ(以下ヒュッテと略)内とする。

第2条 設置主体は名古屋市立大学の学生、およびその教職員を中心とする非営利の任意団体(名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班、以下診療班と略)である。ヒュッテはその運営を援助する。

第3条 診療所名称は名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所とする。診療所長は運営委員会で決定し、学内に公示する。

第4条 開設期間は7月20日頃～8月20日頃までの約1ヵ月間を原則とする。具体的な開設期間は各年度開設前に診療班がヒュッテに通知し合意をえる。

第5条 ヒュッテは診療所の運営に対して以下の支援を行なう。(1)各年度に必要な診療機器、薬品の荷上げはヒュッテが責任を持って行う。その量、回数は診療班とヒュッテとの事前協議によって定める。(2)診療所の運営に必要な水、電気、ガス等はヒュッテ側が無料で供給する。(3)診療班員のヒュッテ滞在のための居住区域と寝具等をヒュッテは用意し、その滞在費(3食付き宿泊費)は1人1泊1000円とする。(4)ヒュッテは、診療活動を円滑に行えるように、国立公園管理区域内の道路および駐車場が利用できるよう配慮、準備する。

第6条 診療所活動は名古屋市立大学医学部の教育・研究と関連したものであり、診療所班員は蝶ヶ岳山域において、山岳遭難救助活動に参加する義務を負わない。

第7条 診療班が救急搬送の必要を認めた場合はヒュッテが搬送および、搬送支援の連絡任務を負う。搬送および、搬送に関わる費用負担には診療所は一切関知しない。

第8条 診療班員は診療所設置場所が国立公園内であることを認識し、環境保全に努め医療廃棄物の処理はヒュッテの指示に従う。

第9条 診療班は会計を決定し、診療班の収入と支出の管理を行う。

第10条 診療班員はヒュッテの運営方針を尊重し、診療所区域の清掃に責任を持つ。

第11条 診療行為に起因する争議にはヒュッテ側は一切責任を負わない。

第12条 診療班の明らかな過失によるヒュッテの器物の損壊があるときは、診療班はヒュッテに対して弁償の責任を負う。

第13条 診療班は診療所の運営が困難となった場合には、その旨をヒュッテ側に通知し、運営を中止できる。その場合は次期診療所開設日の1年以上前に行わなくてはならない。

第14条 ヒュッテが診療所の開設の必要を認めない場合、または診療班以外の団体に運営を委嘱する場合、その旨を診療班に通知し、診療所を閉鎖できる。その場合は次期診療所開設日の1年以上前に行わなくてはならない。

第15条 合意書の事項に変更の必要を認めた場合は診療班代表、診療所長またはヒュッテ代表が発議し、協議を行って内容の変更を加えることができる。

附則 この合意書は1998年4月1日から発効する。

1998年3月31日

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所所長  
医学部名誉教授 武内俊彦

名古屋市立大学医学部  
蝶ヶ岳ボランティア診療班代表  
医学部教授 太田伸生

蝶ヶ岳ヒュッテ／大滝山荘 代表 神谷圭子

# 名古屋市立大学

## 蝶ヶ岳ボランティア診療所規約

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班(以下「診療班」という。)は、1997年度医学部教授会の承認を受け、1998年度より北アルプスの中部山岳国立公園蝶ヶ岳にある蝶ヶ岳ヒュッテ内に「名古屋市立大学医学部蝶ヶ岳ボランティア診療所」を設置することを決定した。2000年度に、学生組織はクラブ活動として組織化されて、全学部の活動となった。学生組織は本活動を支える全学的な組織であることから、これを契機に同診療所を「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所」と名称変更した。診療班は、本規約により、診療班を運営し、また、診療所を運営し、また、その他必要な事項についてもこの規約の方針に従う。

### 目次

第1章 総則(第1条—第3条)

第2章 組織(第4条—第11条)

第3章 管理業務(第12条—第15条)

第4章 雑則(第16条・第17条)

#### 第1章 総則

##### (目的)

第1条 診療班は、人命救助や健康管理の重要性を認識し、ボランティア医療活動を通じた社会貢献を目指すことを目的とする。また、高地医学、遠隔地医療及び環境保全の研究・教育の場としての意義も有する。

##### (事業)

第2条 診療班は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 登山者の疾病治療、高山病予防活動その他治療・予防活動
- (2) 蝶ヶ岳近辺の環境保全
- (3) 前2号に掲げる事項に係る研究・教育
- (4) その他医療活動、社会貢献、研究・教育に関する事業

##### (構成)

第3条 診療班は、名古屋市立大学の学生、教職員及び卒業生の有志で構成される。

- 2 班員以外の者及び夏山参加者であっても、診療班員の推薦により班員として登録できる。この際、性別、年齢、国籍、職種は問わない。この登録は、本人の意志により解除することができる。
- 3 前項に該当する者の入退会は、運営委員会で記録し、これを毎年度確認するものとする。この場合において、その者との連絡が途絶して2年が経過した場合には、

診療班は、その者の班員としての登録を解除することができるものとする。

#### 第2章 組織

##### (役員)

第4条 診療班に、役員として、代表1名、診療所長1名及び運営委員長1名を置く。

2 役員は、それぞれ次に掲げるとおりとする。

(1) 代表は、診療班を代表し、診療班の活動を統轄する。

(2) 診療所長は、蝶ヶ岳ボランティア診療所を代表し、診療業務を統轄する。

(3) 運営委員長は、代表及び診療所長を補佐し、診療班の活動全般を司る。

3 役員は、幹事会において班員の中から選出された候補者のうちから、総会において承認を得た者とする。

4 役員は、総会までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

##### (学生代表)

第5条 診療班に、学生から選出される学生代表1名を置く。

2 学生代表の役割は、次条以降に定める診療班の運営に係る各種会議の招集・議長等、学生の意見の統括その他必要な事項とする。

##### (運営組織)

第6条 診療班に、総会、幹事会、運営委員会及び会計監査を置く。

##### (総会)

第7条 総会は、診療班の最高議決機関であって、代表がこれを招集する。

2 総会は、班員をもって構成する。

3 総会は、年1回開催する。ただし、代表が特に必要があると認めるときは、臨時総会を開くことができる。

4 総会は、班員の過半数の出席により成立する。

5 総会の議長は、原則として年度の学生代表とする。ただし、総会の同意が得られる場合には、学生代表以外の者を議長とすることができる。

6 班員は、委任状を提出し、議場委任することができる。

7 議事は、出席者の過半数で決定する。

8 総会は、予算・事業計画の決定、前年度活動実績及び今年度の展望の報告、規約の改正に係る同意等を行う。

##### (幹事会・幹事)

第8条 幹事会は、総会に次ぐ議決機関であり、診療班の運営方法を決定し、これを班員へ広告する。

2 幹事会は、幹事、学生代表により構成され、運営委員長がこれを招集する。

(1) 幹事会は、幹事、学生代表の過半数の出席により成立する。

(2) 議事は、出席者の過半数で決定する。

- 3 幹事は、5名程度とし、班員の有志のうちから総会で承認された者とする。
- 4 幹事会は、役員候補者を選出する。
- 5 幹事会の議長は、原則として運営委員長とする。ただし、幹事会の同意が得られる場合には、運営委員長以外の者を議長とすることができる。
- 6 代表が必要と認めるときは、幹事会に委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。
- 7 幹事の任期は、総会までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

(運営委員会・運営委員)

- 第9条 運営委員会は、診療班の運営に関し必要な事項を協議するものとする。
- 2 運営委員は、班員の有志とする。
  - 3 運営委員会は、毎週1回を常例として開催し、学生代表がこれを招集する。
  - 4 運営委員会の議長は、原則として学生代表とする。ただし、運営委員会の同意が得られる場合には、学生代表以外の者を議長とすることができる。
  - 5 運営委員会は、活動計画等の診療班に関する事項、班員の入退会の記録等について、提案又はその決定を行う。
  - 6 前項の提案及び決定は、運営委員会の会議のほか、蝶ヶ岳メーリングリスト等によって行うことができる。
  - 7 議長は、議事録を作成させるものとする。この議事録は、蝶ヶ岳メーリングリストにより、公開・報告される。
  - 8 運営委員の任期は、総会までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

(白蝶会)

- 第10条 別に組織される白蝶会は、診療班への指導・後援を行うものとして、また、第2条の事業を行うために、診療班に対してスタッフ派遣などを行うことができる。
- 2 診療班は、白蝶会の運営等に係る協力を行うものとする。

(会計監査)

- 第11条 会計監査は、診療班の会計業務を監査する。
- 2 会計監査は、監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、代表に意見を提出することができる。

### 第3章 管理業務

(会計)

- 第12条 診療班の会計業務は、学生から選出された会計が行う。
- 2 会計の任期は、総会までの1年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 3 幹事は、会計を補佐する。
- (薬剤・衛生材料管理)
- 第13条 診療班の薬剤・衛生材料管理業務は、学生から選出された薬剤係が行う。
- 2 薬剤係の任期は、総会までの1年とする。ただし、再

任を妨げない。

- 3 幹事は、薬剤係を補佐する。
- (会計年度)

第14条 蝶ヶ岳ボランティア診療班の会計年度は、11月1日に始まり、翌年10月31日に終わる。

(活動経費)

第15条 診療班の活動に要する経費は、寄附金、名古屋市立大学医学会助成金、名古屋市立大学からの支援金その他の収入をもって充てる。

### 第4章 雑則

(規約の改正)

第16条 この規約は、登録されている診療班員の誰もが異議を申し立てる権利を有する。当該申立てがあった場合には運営委員会又は幹事会で討議し、総会において出席者の3分の2以上の同意で改正できる。

(雑則)

第17条 この規約に定めるもののほか、診療班及びその運営等に関し必要な事項は、総会、幹事会又は運営委員会の議を経て、代表が定める。

附則 この規約は1998年4月1日から発行する。

附則 2004年 11月9日 一部改正

附則 2005年 11月8日 一部改正

附則 2014年 2月1日 一部改正



# 名古屋市立大学

## 蝶ヶ岳ボランティア診療所規約(改正案)

診療班代表 酒々井眞澄

運営委員長 坪井謙

診療所長 薊隆文

### 【主旨】

私たちは、現状に対応させて規約を改正し、2014 年から蝶ヶ岳ボランティア診療班は新規規約の下で運営されている。現在、班員の新規登録は現班員の推薦による。また、班員資格の解除は本人の意思による退会または一定期間連絡が途絶えたことによる自動退会である。これら班員の入退会についても 20 年前につくられた規約が現状にそぐわない場合があり、これが運営上の問題になることがしばしばある。よって、班員の入退会について運営委員会での承認、協議によりこれらを管理するという方策を提案する。

### 【改正前】

#### 第 1 章

##### (構成)

第 3 条 診療班は、名古屋市立大学の学生、教職員及び卒業生の有志で構成される。

- 2 班員以外の者及び夏山参加者であっても、診療班員の推薦により班員として登録できる。この際、性別、年齢、国籍、職種は問わない。この登録は、本人の意志により解除することができる。
- 3 前項に該当する者の入退会は、運営委員会で記録し、これを毎年度確認するものとする。この場合において、その者との連絡が途絶して 2 年が経過した場合には、診療班は、その者の班員としての登録を解除することができるものとする。

### 【改正後】

#### 第 1 章

##### (構成)

第 3 条 診療班は、名古屋市立大学の学生、教職員及び卒業生の有志で構成される。(以下、診療班を構成する者を班員という)

- 2 班員以外の者及び夏山参加者であっても、診療班員による推薦の後、運営委員会での承認を経て班員として登録できる。この登録は、本人の意志により解除することができる。
- 3 前項に該当する者の入退会は、運営委員会で記録し、これを毎年度確認するものとする。この場合において、その者との連絡が途絶して 2 年が経過した場合、あるいは運営委員会の協議により、診療班は、その者の班員としての登録を解除することができるものとする。

# 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班に 参加ご希望の皆様

診療班代表 酒々井眞澄

平素より、名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班の活動へのご理解とご協力、どうもありがとうございます。

新規参加者の皆様には、当診療班の規定にもとづき提出していただく書類があります。別途の送付書類をよくご覧いただき、必要事項を記入のうえ書類の提出をお願いします。

次の書類を提出して下さい。

- |   |
|---|
| ①診療班参加の確認事項<br>②資格（免許証）および身分証明書（ <u>資格（免許証）および顔写真付き身分証明書の写し</u> ）<br>③スケジュール部門アンケート |
|---|

①②③の書類の提出をもって参加予定者とさせていただきます。

郵送もしくは E-mail でご提出ください。

担当者宛先：診療班運営委員長 坪井謙

郵送：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

E-mail : [chogatake-staff@umin.ac.jp](mailto:chogatake-staff@umin.ac.jp)

書類が整っていることを確認後に、新規参加の可否は診療班運営会議にて最終的に決定します。参加確定後、蝶ヶ岳ボランティア診療班ホームページの参加者日程にお名前を提示します。適宜ご確認ください。

登山前に必ず以下の2点を行ってください。

- ・登山計画書を記入し、参加する班のリーダーに提出する（原則、登山日の1週間前までを期限とします、期限当日や直前の場合は参加を認めません）。
- ・参加する班のリーダーより送られるスタッフマニュアルを読む。

登山予定日1週間前までに山頂で一緒にいる学生から最終確認などの連絡をさせていただきます。（連絡が来ない場合は、お手数ですが下記までご連絡下さい）

ご質問などの際はスケジュール担当（[cho.schedule.2677@gmail.com](mailto:cho.schedule.2677@gmail.com)）までご連絡ください。

何卒よろしくお願します。

## 診療班参加の確認事項

以下の項目についてご確認後、□に✓をご記入ください。

ご記入後に自署をお願いします。

- 顔写真付き身分証明書の写しを提出します。医療関係者は資格（免許証）の写しを蝶ヶ岳ボランティア診療班に提出します。
- スケジュール部門アンケートを記入し、提出します。
- 患者様および診療班員から得た個人情報は、診療班で必要とされる活動以外の目的では使用しません。

上記事項を確認したので診療班代表酒々井眞澄に提出します。

年 月 日

署名\_\_\_\_\_

## スケジュール部門アンケート

○氏名（よみがな）

\_\_\_\_\_（性別　、年齢　）

○自宅住所

〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

○メールアドレス

PC \_\_\_\_\_

携帯 \_\_\_\_\_

○電話番号

自宅 \_\_\_\_\_ / 携帯 \_\_\_\_\_

○職歴等

・卒業学校（卒業年次）

\_\_\_\_\_

・勤務先

\_\_\_\_\_

○登山経験

・登山歴

\_\_\_\_\_

・どれくらいの高さの山にどの程度の頻度で登られたことがありますか

\_\_\_\_\_

○普段どの程度運動をしていますか

○蝶ヶ岳診療班を知った経緯はどのようなですか（HP、新聞、テレビ、雑誌、友人の紹介など）

推薦者 \_\_\_\_\_ 様

推薦者の連絡先（メールアドレス、携帯電話番号など）

\_\_\_\_\_

# 危機管理体制について

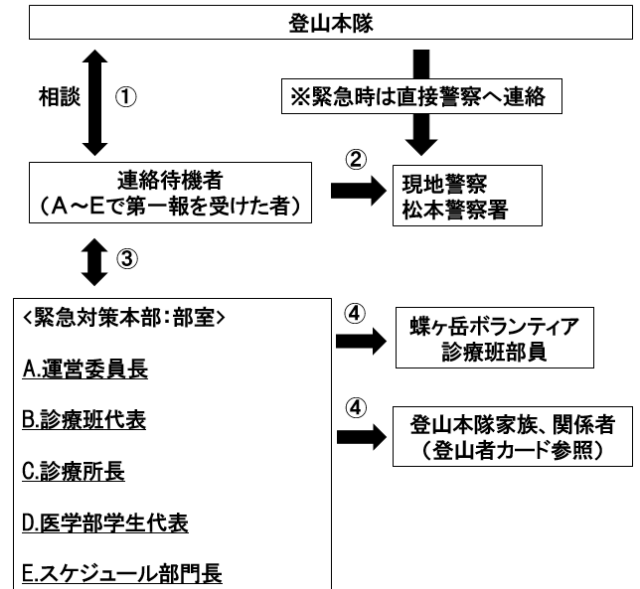
2015.6.23 運営委員会

## \*安全の確保

班員の安全が全てに優先する。現地のリーダーは班員の安全を第一に考えて判断、行動し、班員の退避により診療活動へ支障が出たとしても、安全を最優先する。活動中は参加する全ての班員が安全確保の規約に従う義務を有する。

## \*連絡義務

班員は登山開始時・山頂到着時・下山開始時・下山完了時には、全体メーリングリストにて本人があるいは担当学生を介してその旨を報告する。



## ①緊急連絡網

- ・緊急事例:何らかの理由(遭難、事故等)で班員の生命に危険が及ぶ場合。
- ・緊急時、山頂から、連絡待機(※)に電話または Skype を用いて連絡。  
(※)山頂からは運営委員長(A)、診療班代表(B)、診療所長(C)、医学部学生代表(D)の順に連絡をとり、第一報を受けたものが連絡待機として情報の集約・管理を行う。
- ・下界にて第一報を受けた者は、運営委員長(A)、診療班代表(B)、診療所長(C)、医学部学生代表(D)、スケジュール部門長(E)に連絡をとる。
- ・診療班代表(B)は緊急対策本部を部室内に設置する。
- ・他の関係者、保護者等には医学部学生代表(D)中心に連絡を適宜取り次ぐ。
- ・緊急時、部室は診療所と交信する緊急対策本部として利用し、情報の集約・管理は部室(緊急対策本部)に一元化する。
- ・部室が開いていない時間帯では、部室が開くまでの間、情報の管理は連絡待機が担う。部室が開き次第、部室にて情報を集約・管理する。
- ・山頂における学生連絡係は連絡待機と定時連絡をして状況の把握、情報管理、報告を行う。(集まった情報の正確性は重要、単なるうわさや情報修飾に注意。山頂との情報のやりとりは、原則連絡待機が担当する)
- ・診療班代表(B)は緊急対策本部の役割が終了した時点で緊急対策本部を解散する。

## ②連絡法

- ・ヒュッテ電話(ゼロ発信必要)
- ・ヒュッテ公衆電話(ヒュッテ電話とは回線が違う)
- ・個人の携帯電話
- ・スカイプ・メール
- ・全体メーリス

## ③出動の要請

蝶ヶ岳ボランティア診療所設立に関する合意書 第6条参照

- ・診療所班員は山岳遭難救助活動に参加する義務を負わないことを原則とし、山岳遭難救助活動は診療班の本務とするものではないことに留意する。
- ・二重遭難の防止が重要である。現場のスタッフとヒュッテ駐在救助隊員(酒井雄一さん等)の協議により行う。診療所近傍＝声の届く範囲では、診療班の主体的判断で病人を診療所へ搬送することがある。遠隔地＝蝶ヶ岳山頂テント場、瞑想の丘を越えた山岳地帯で救援活動補助を行う場合、ヒュッテ駐在の救助隊員と協議して、その指示に従う。(出動指示は原則断る)
- ・山頂での野外救援活動の指令リーダーはヒュッテ駐在救助隊員(酒井雄一さん等)とする。
- ・安全に配慮して診療班は診療所で待機することを原則とする。
- ・安全な医療活動ができると現地での判断ができれば、ヒュッテ駐在救助隊員の指示に従って救援活動を補助する。遭難者から直接診療班スタッフに救援要請が入った時も、ヒュッテ駐在救助隊員との協議・指示で補助することがある。
- ・ヘリコプター要請(長野県警または長野県広域消防隊)については、医療スタッフが必要と判断した場合、ヒュッテ駐在救助隊員(酒井雄一さん等)等を介して要請する。(ヒュッテは山岳遭難に関する共用の無線を利用できる)
- ・必要に応じてヘリ搬送を要請し、その後は長野県警山岳遭難対策本部の指示に従う。(処置や搬送法については医療アドバイスに留める)

### \*ヘリ搬送での留意事項

- ヘリ搬送の可否および方法はパイロットの最終判断で行う。
- 救助には救助する側(救助者)の安全確保を優先し、二次遭難は避ける。
- 医療者側からの指示は救助者に重大な対応や制限を強いることがあると自覚する。
- ヘリ要請時は必要に応じて診療班員も情報共有にかかわる。
- 診療班員は医療アドバイスをとおして救助活動をサポートする立場である。

#### ④医師不在時の対応・医療相談

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班ホームページ、蝶ヶ岳ボランティア診療所の診療体制の項を参照 ([http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyo\\_naiki.html](http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyo_naiki.html))

- ・医師不在時あるいは初期研修医等の診療でサポートが必要な場合や、受診患者が専門分野でなく困った場合などには、前述の連絡網にてある程度対応することが可能。
  - ・医師不在時にできる医療は限られている。その旨を患者に伝える。
- 医師とは相談できる程度である。薬剤師がいれば患者の要請がある場合、医師を通じて処方是可以、など。
- ・問診・診療などをオンラインで補助する場合、患者の同意が必要である。

#### ⑤悪天候時の対応

\*行動の原則:

診療班員は長野県地方または岐阜県地方に気象警報が発令中の時は、下山・入山などのすべての行動を中止する。台風のコースが発表されて、近日中に長野県に警報発令が予測できる状況では、下山の繰り上げ、または入山の延期を検討して判断する。

\*インターネットと電話連絡網が使える状態:

悪天候時またはそれが予測される場合にリーダー(班員)は運営委員長に連絡・協議し、運営委員長は行動予定を最終決定し責任をもって班員の安全を確保する。班の行動予定を変更すべき場合には、運営委員長はメールを介して文書で全診療班員に伝達する。運営委員長がこの職務を遂行できない場合には、運営委員がこの職務を代行する。

\*インターネットと電話連絡網が使えない状態:

現地のリーダーは医師、山小屋のメンバーと協議し、班員の安全を第一に考えた判断をする。リーダー(班員)は連絡が可能になった時点で状況を運営委員長(不在時は運営委員)にすばやく報告する。行動完了予定時刻を過ぎてなお連絡不通の場合は連絡網リスト A~D の者および運営委員は想定される事態に責任を持って対応する。

\*ルート選択:

最も安全な避難ルートは「長堀尾根---徳沢---上高地ルート」である。緊急事態では徳沢まで自動車による搬送を要請することも可能である。ただし台風の直撃や、局地的な地震災害を受けた場合のルート状態は予測が難しい。できる限り目的地と連絡を取って、名古屋まで帰還できることを確認した上で行動を開始する。

夏期の三股ルートは通常の降雨中でも安全と考えられる。しかし、「力水」以下のルートは沢筋のため、豪雨中・後は沢が増水・崖の崩壊などの危険があるので、高巻き退避ルートを使わざるをえない可能性がある。豪雨時にやむをえず下山する場合は、三股ルートを避けて長堀尾根ルートを使って徳沢へ下山し、日大医学部徳沢診療所へ救援を求めるのが安全と思われる。ヘリコプターが飛べない気象状態でも、徳沢までは車両を使った救援活動が可能である。積雪期(5月まで)では、三股ルートの頂上付近はトレースがなく安全なルート確認が難しい状態である。5月以前の積雪期に入山する場合には、積雪期の完全装備(ロングスパッツ、ピッケル、アイゼンなど)を整え訓練した上で長堀尾根ルートを優先的に選択する。

# 台風発生時の対応マニュアル

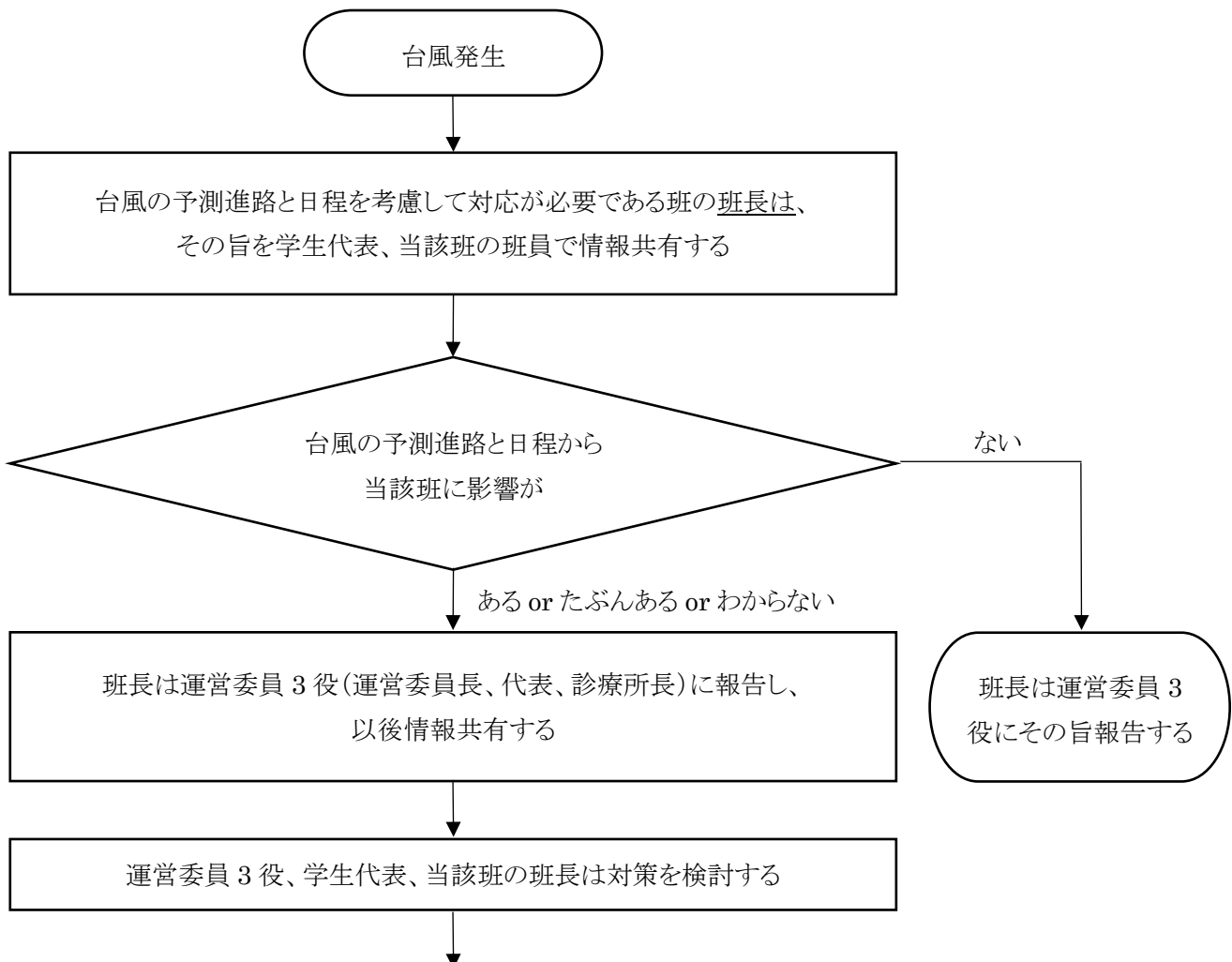
酒々井真澄(診療班代表)

畑中景(学生代表)

## 【背景】

2015年から2017年に開所期間中に台風接近に伴う退避行動や一時閉所が計5回あった。2018年の開所期間中に3つの台風(12号、13号19号)により一時閉所2回、正規班と臨時班について登山の中止、整理班とポーター班の下山を早めた。これまでは、特段の対応手順はなく、診療班の診療班代表あるいは運営委員長が起点になり、これら教員と学生代表や班長が台風の動きについて情報共有し何らかの対応の必要性について適宜検討し対応していた。しかし、診療班代表あるいは運営委員長が開所期間中に常時対応することは不可能である。にこれらの背景より、台風発生時の対応マニュアルをここに提案する。このマニュアルは、私たちがこれまでに行ってきた対応をわかりやすくまとめたものであり、いつ頃に、だれが、何をするか、が記載してある。安全な活動の一助になれば幸いである。

## 【台風発生時の対応マニュアル】





診療班(正規班・臨時班・学生がポーターとなる医療スタッフ班含む)の登山の延期、中止、下山を早めるなどの対策を決定する(早朝・深夜の電話会議などもある)ので関係者は 24 時間連絡可能な状態で待機する)

当該班長は、当該班員全員と、当該班と期間が連続あるいは期間が重なる診療班の関係者全員(医療スタッフ班含む)に決定内容を報告する  
当該班長は、その旨ヒュッテスタッフ(酒井支配人、鈴木副支配人)に報告する  
運営委員長は、その旨神谷圭子様に報告する

学生代表は全体メーリスにて診療班全体にその旨を周知する

当該班長は、登山の延期、中止、下山を早めるなどの対応を進める  
当該班長は、一時閉所チェックリストあるいは完全閉所チェックリストに従い閉所を準備する

登山の延期、中止、下山を早めるなどの対応の実施と  
診療所の一時あるいは完全閉所

学生代表は、登山の延期、中止、下山を早めるなどの対応の実施と  
診療所の一時閉所あるいは完全閉所を全体メーリスにて報告する

台風の進路に注視しながら学生代表と次の班長は、  
運営委員 3 役と台風通過後の対応を検討する

次の班長は、決定に従って移動あるいは登山準備を進める  
次の班長は、準備状況を適宜運営委員 3 役に報告する

【注意事項(リマインド)】

- ・班員の安全を最優先して行動する。
- ・台風を含む自然現象への対応は極めて難しいことがある。このマニュアルは、必ずしもすべてをカバーするものではない。
- ・台風が発生した場合は、予測進路にかかわらず学生代表および当該班長は、運営委員 3 役にその旨を報告する(どのような場合も報告して情報共有する)。
- ・運営委員 3 役と連絡が取れない場合は、他の運営委員に連絡する。
- ・台風の進路を注視し、対応する必要がある場合は、運営委員 3 役・班長・学生代表で情報共有する。
- ・情報共有を密にする。
- ・上記関係者は早朝や夜間でも(24 時間)連絡可能な状態で待機する。
- ・運用の状況に合わせて本マニュアルを適宜修正し、よりよいものにしていく。



撮影日:2018.7.15

# 名古屋市立大学

## 蝶ヶ岳ボランティア診療班

### 参加者および同伴者の宿泊経費

2014.11.15

#### 1) 学生および教員スタッフ:

冬期小屋または、炊事用テントで宿泊するボランティア診療活動メンバー(学生、医師、看護師、教員スタッフ)の宿泊経費の個人負担はありません。ヘリコプターでヒュッテへ荷揚げされている根菜類(人参、ジャガイモ)、卵、肉類、味噌、塩などの基本食材は、必要十分量を各班の計画書としてヒュッテに提示することで、支給を受けることができます。ただしヘリコプター荷揚げは天候に左右されるので、状況によっては種類と量を臨機応変に調節する必要があります。食料計画書には、ご飯を食べる人数も記入し、食事ごとに櫃で暖かいご飯の支給を受けられます。朝食時に、昼食用(おにぎりなどの行動食等)の特別ご飯量も計画書に記入することで支給を受けられます。これら費用は、ヒュッテ側に宿泊経費として一日一人1,000円の計算で、蝶ヶ岳ボランティア診療班から一括して後から支払います。

#### 2) 同伴者が冬期小屋またはテントで宿泊する場合:

ご家族等を連れて入山する場合も、学生班の食料計画書に加える必要があります。事前に運営委員会に入山計画書を提出し、学生班の食料計画書に記載される限り、現地で宿泊料金の支払いは不要です。ただし参加者一律、一日1,000円計算でヒュッテ側に宿泊経費を支払っている事実をご理解いただき、同伴者に関しては、人数×滞在日数×1,000円で計算して、蝶ヶ岳ボランティア診療班に事前に納めて下さい。

#### 3) 同伴者が客室で宿泊する場合:

A: 入山計画書を運営委員会に提出し、班長が事情を理解している場合には、5,000円/一泊二食で事前に蝶ヶ岳ボランティア診療班へ納めて下さい。ヒュッテに到着した時点で、班長からヒュッテ受付へ「蝶ヶ岳ボランティア診療班扱いで、

客室と食事の用意を御願います。」と伝えて、宿泊受付を済ませて下さい。現地での宿泊料金の支払いはありません。

B: 入山計画書の事前提出が無く、現地班長が事情を把握していない場合は、個人責任で一般登山客として一般宿泊料金(9,500円/一泊二食)を現地受付でお支払いいただき宿泊して下さい。

三浦裕

蝶ヶ岳ボランティア診療班特別運営委員  
至学館大学健康科学部栄養科学科教授  
miura@sgk.ac.jp



# 蝶ヶ岳ボランティア診療班

## 運営組織

診療班代表	酒々井眞澄 医師・名市大大学院医学研究科分子毒性学教授
診療所長	蕨隆文 医師・名市大看護学部病態学教授
運営委員長	坪井謙 医師・名市大大学院医学研究科消化器外科学助教
運営委員	青木康博 医師・名市大大学院医学研究科法医学教授
運営委員	服部友紀 医師・名市大病院救急科教授
運営委員	松嶋麻子 医師・名市大病院救急科教授
運営委員	早川智章 薬剤師・名市大病院薬剤部
特別運営委員	三浦裕 医師・至学館大学健康科学部栄養科学科教授

### 幹事

酒々井眞澄 蕨隆文 坪井謙 青木康博  
服部友紀 松嶋麻子 早川智章 三浦裕 (敬称略)

### 参加・協力者(56名)

愛甲ゆかり	看護師・名古屋第一赤十字病院
青木智史	医師・国立成育医療研究センター
明石恵子	看護師・名市大看護学部
浅井清文	医師・名市大大学院医学研究科 分子神経生物学教授
伊芸洋子	看護師・協立総合病院
今村篤	医師・海南病院
位田あゆみ	看護師・みなと医療生活協同組合協立病院
上田衣理	看護師・名古屋市立西部医療センター
梅本銀河	大学院生・名市大大学院薬学研究科 病態生化学分野
浦川陽子	看護師・豊橋市民病院
大槻愛衣	救急救命士・岐阜県瑞浪市消防本部
小笠原治	医師・名市大病院麻酔科
岡嶋一樹	医師・旭川医科大学病院小児科
小熊孔明	臨床検査技師・緑市民病院
小濱和貴	医師・京都大学消化器外科教室准教授

片桐正恵	看護師・名市大病院
加藤彰寿	医師・春日井市民病院
上家和子	医師・日本登山医学会
河辺眞由美	薬剤師・名市大大学院医学研究科薬理学助教授
木下拓也	救急救命士・東海市消防本部警防課
清川達矢	医師・東浦平成病院
黒澤昌洋	看護師・愛知医科大学病院
黒野正裕	事務・名市大看護事務
桑田あゆみ	看護師・豊川市民病院
幸脇正明	薬剤師・総合病院中津川市民病院
坂口秀弘	医師・相澤病院麻酔科
坂田晴耶	医師・豊川市民病院
桜井春香	理学療法士・名市大病院リハビリテーション部
佐々木春華	看護師・名市大病院
佐々木秀志	救急救命士・岡崎市消防本部
下方征	医師・東京医科大学皮膚科
杉山智美	医師・海南病院
鈴木美帆	保健師・静岡市役所
高山悟	医師・名古屋徳洲会総合病院外科
武田多一	医師・三重大学医学部附属病院
津田洋幸	医師・名市大津田特任教授研究室教授
坪内希親	医師・大垣市民病院
藤堂庫治	理学療法士・信州リハビリテーション専門学校
遠山淳子	医師・光生会病院先端画像センター
中川隆	医師・愛知医科大学災害医療研究センター
中村大輔	看護師・金沢医療センター
西垣萌	看護師・名市大病院
布目雅博	看護師・名鉄病院
早川純午	医師・名南ふれあい病院
福士博之	看護師・中津川市民病院病院前救急診療科
福島弓子	看護師・愛知県がんセンター
前田洋平	医師・名古屋徳洲会総合病院
松浦武志	医師・北海道勤医協中央病院総合診療センター
松本晴年	薬剤師・名市大病院薬剤部
間沢則文	医師・中津川市民病院病院前救急診療科
三浦裕	医師・至学館大学健康科学部栄養科学科教授
水野翔太	大学院生・名市大大学院薬学研究科臨床薬学分野
宮本彰子	看護師・豊川市民病院
村上里奈	医師・名市大病院
森まりか	看護師・国立長寿医療研究センター
若島芳介	救急救命士・東海市消防本部

(敬称略 五十音順)

**今までお世話になった**

**診療班代表・診療所長・運営委員長の先生方**

太田伸夫(元診療班代表,H10～17)

元東京医科歯科大学医学部国際環境寄生虫病学教授

故・武内俊彦(元診療所長,H10～17)

元名市大医学部名誉教授

徳留信寛(元運営委員長,H10)

元名市大医学研究科分子神経生物学准教授

三浦裕(前運営委員長,H11～24)

至学館大学健康科学部栄養科学科教授

勝屋弘忠(元診療所長,H13～18)

元名市大医学研究科麻酔・危機管理医学教授

津田洋幸(元診療班代表,H18～20)

名市大津田特任教授研究室教授

森田明理(前診療所長,H19～24)

名市大医学研究科皮膚科学教室教授

森山昭彦(前診療班代表,H21～24)

前名市大大学院システム自然科学研究科教授

中部大学応用生物学部環境生物科学科教授

(敬称略)

(現職または前・元職表示)

**今までお世話になった方々**

赤津裕康(会計監査) 浅井清文 河辺真由美

黒野智恵子 土肥名月 西村恭子 野路久仁子

矢崎蓉子

(敬称略 五十音順)

## 参加・協力 学生

M6 伊上 大毅 井村 尚斗 奥田 佳介 神代 崇一郎 小山 絢子 佐々木 謙 柴田 尚輝 杉山 寛明 竹内 了哉 富田 早織 内藤 裕 中島 亮 野田 遥加 橋本 陽 日置 啓介 向井 彩	M4 石田 宗紀 井田 千晶 岩城 昂佑 小川 美波 加藤 圭(情) 鬼頭 陽平 桑江 優稀乃 鴻野 かおり 齋藤 瑳智子 成瀬 兼人 服部 滉平 廣澤 翼 船坂 珠里 吉田 佐和子	N3 石谷 知子 大谷 友里香(学) 茅野 三葉	三鬼 龍馬 水谷 太紀 渡辺 陽介
P6 土居 紋子 村田 彩乃	N4 遠藤 栞 加藤 睦菜 河合 彩那 白木 伶奈 武田 綾花	M2 浅田 貴登 安藤 詩音里 岩瀬 正之 梅村 祐美 後藤 麻衣 ストックウェル 美亜 田中 秀和 永野 有紗 中野 聖也	N1 浅野 今日子 小原 流美香 高梨 響 西口 朱音 萩 智佳子 増田 梨沙 横山 真由
M5 加藤 悠太 佐藤 棕 瀬古 健登 中島 晴菜 羽柴 文貴 服部 正隆 平松 克仁 眞嶋 泉 吉田 匡伸 吉田 理恵	P4 駒沢 穂乃佳 田中 李奈 堀 優華 益川 成美	N2 浅野 友理奈 井後 咲菜 坂井 芙美花 高田 遼 藤原 ももか 古道 万誉 村田 香鈴	P1 高木 慧佑 高岸 優太 戸室 幸太郎
P5 笠井 詩織	M3 井上 右喬(ス) 梅田 翔梧(会) 岡 竜矢 小林 礼実(勉) 谷合 美南 畑中 景(学)(報) 福富 妃菜(薬) 藤永 拓実(診)	M1 安藤 魁星 安藤 有希乃 岩田 恵理子 大藏 愛里 神田 伸一 北野 暁也 島田 里奈 土屋 佑太 開田 晃生 藤原 昂佑 古川 省三 松本 史也	

(学):学生代表

(会):会計部門長

(情):情報技術部門長

(診):診療環境部門長

(ス):スケジュール部門長

(勉):勉強会部門長

(報):報告書部門長

(薬):薬剤部門長

M:医学部

N:看護学部

P:薬学部

## 診療班活動概要

### \* 定例会/勉強会

年間を通して毎週月曜日に定例会を開き、学生間で診療班の運営に関する議題を話し合っています。また、その後に夏の活動に備えるため勉強会を実施しています。

### \* 運営委員会

毎週火曜日の昼、運営委員の先生方を交えた会議を1時間程度行い、診療班を運営しています。

### \* 練習山行

4、5月に1,000m級の山を登り、夏の蝶ヶ岳登山のシミュレーションをします。今年度は入道ヶ岳、御在所岳にて行いました。

### \* 診療活動、地上でのサポート

7、8月の診療所開所中は、4名または5名の班を12班構成して交代で診療所に入り、不足した薬剤・衛生材料の補充や予診、診察カルテの記入、バイタル測定、診察の補助を行いました。学生は基本的に24時間診療所内に常駐し、夜間でも患者さんが診察を受けられるようにしています。

インターネットを利用して山頂の活動報告、症例報告、使用薬剤報告などを行っています。また、各々分担して自炊等を行っています。

### \* 2018年度夏山参加スタッフ数・学生数・患者数

スタッフは61人、学生は76人、患者は134人でした。

## 運営上主な変更点

### \* 登山ルート変更

三股登山口までのアクセス道路の一部崩落に伴い、全ての学生班(ポーター含む)は上高地ルートにしました(本報告書p24)。

## 診療班活動記録

日付	活動	内容
2017年10月	30日 定例会/勉強会	薬剤のヘリ荷揚げ・印刷機・勉強会の予定変更・20周年記念誌/テーピング・心電図・救急バッグ
11月	31日 運営委員会	血圧計廃棄・カルテ閲覧申請・20周年記念誌
	6日 定例会/勉強会	2018年度夏山改革・川澄祭報告/テーピング・心電図・救急バッグ
	7日 運営委員会	カルテ閲覧申請・20周年記念誌
	幹事会	2017年度収支決算報告・2018年度予算審議・各部門より今年度の反省点及び展望
12月	13日 定例会/勉強会	忘年会・報告書作成の進捗状況・PC及び印刷機の使用法/血糖・輸液
	14日 運営委員会	報告書の郵送法・報告書の記事数・報告書の記事内容
	20日 定例会/勉強会	蝶スキー・勉強会の連絡・忘年会・大掃除・総会・意識調査アンケート/早川智章先生(名市大病院薬剤部)の薬剤講演会
	28日 運営委員会	薬剤のヘリ荷揚げ・医学会総会のスライド確認・新規参加者承認
2018年1月	3日 医学会総会	M5中島亮が2017年度活動報告
	4日 定例会/勉強会	忘年会・報告書発送・勉強会に関するアンケート・蝶スキー・蝶旅行幹事・山用品購入・意識調査アンケート結果・卒業生からのプレゼント/M6勉強会
	5日 運営委員会	退会者リストの確認・お礼の手紙
	11日 定例会/勉強会	新年勉強会・1/22山の勉強会担当募集・蝶スキー・総会・山用品購入・OBOG訪問・学友会費・大掃除・卒業生からのプレゼント/N4勉強会
2018年1月	12日 運営委員会	総会・山用品購入
	9日 運営委員会	OBOG訪問・山用品購入
	15日 定例会/勉強会	総会・蝶ボーリング・蝶旅行幹事・新歓日程・新歓方針・夏山改革(スケジュール・引き継ぎ)・部門紹介/蝶について
	16日 運営委員会	カルテ閲覧申請・感謝状贈呈
2月	21日 診療班総会	会計報告・予算審議・活動報告・事業計画・運営委員会報告・懇親会
	22日 定例会/勉強会	蝶スキー集金・追いコン・蝶旅行・新歓方針・プレ山行・夏山改革(スケジュール・引き継ぎ・薬剤)・蝶ボーリング/山の勉強会
	29日 定例会/勉強会	夏山改革(スケジュール)・蝶ボーリング/山頂報告
	5日 定例会/勉強会	蝶ボーリング・追いコン集金・部室説明会・練習山行・学友会費・OBOG訪問・予防的介入カード・プレ山行/薮隆文先生(診療所長)による呼吸生理学
3月	13日 運営委員会	練習山行の日程・夏山日程・新規参加者承認
	19日 定例会/勉強会	追いコン・蝶花見・新歓・練習山行・蝶グッズ・薬剤カウント・新歓ポスター・予防的介入カード・医師用カルテ・シーツ交換頻度・新歓費/トラブル対処・山ルート・勉強会テーマディスカッション
	20日 運営委員会	医師用カルテ改訂
	26日 定例会/勉強会	新年勉強会・予防的介入カード・勧誘ポスター・薬剤カウント・シーツ交換頻度・新歓費集金・追いコン集金・蝶グッズ/医療面接・バイタル
3月	6日 運営委員会	新規薬剤導入の検討・寄付者報告・勧誘ポスター・勧誘アンケート・予防的介入カード

4月	10日	運営委員会	シーツ交換頻度の変更・山岳気象講演会	
	17日	運営委員会	第一回練習山行・酸素ボンベの在処・OS-1study・旅行保険の保証内容	
	23日	定例会/勉強会	第一回練習山行・グッズツアー・第二回練習山行・第三回練習山行・猪熊隆之氏による山岳気象講演会・蝶旅行・壮行会・マニュアルチェック・蝶グッズ・簡易ゴーグル導入・酸素ボンベ購入・MSR・勉強会の予定変更・OBOG訪問/山について①	
	24日	運営委員会	第一回練習山行・壮行会プログラム・カルテ閲覧申請	
	30日	神谷圭子様	酒々井眞澄先生(診療班代表)、坪井謙先生(運営委員長)、松本晴年先生(名市大病院薬剤部)、M3畑中景、N3大谷友里香、M2田中秀和、N2高田遼が訪問および視察	
			ほりで一ゆ〜訪問、三股登山口へのアクセス道路視察	
5月	7日	定例会/勉強会	第二回練習山行・グッズツアー・第三回練習山行・壮行会集金・蝶旅行集金・蝶グッズ・勉強会前補習・挨拶回り/バイタル	
	8日	運営委員会	新規参加者・第二回練習山行・三股登山口に関する報告	
	9日	メール送付	三股登山口までのアクセスに関する4/30の視察の報告	
	14日	定例会/勉強会	第三回練習山行・本入部・猪熊隆之氏による山岳気象講演会・壮行会・蝶旅行・蝶グッズ・勉強会・参加者アンケート・夏山アンケート・気圧計購入/山について②	
	15日	運営委員会	第三回練習山行・MSR・簡易ゴーグル導入	
	18日	講演会	猪熊隆之氏による山岳気象講演会(山の天気の基本と蝶ヶ岳の気象)	
	21日	定例会/勉強会	夏山アンケート・蝶グッズ・壮行会・蝶旅行・気圧計購入・MSR・参加者アンケート・トランシーバー購入/医療面接①	
	22日	運営委員会	参加者アンケート・薬剤ヘリ荷揚げ・診療環境部門・トランシーバー購入	
	25日	郡健二郎学長へご挨拶	酒々井眞澄先生(診療班代表)、坪井謙先生(運営委員長)、M3畑中景、N3大谷友里香	
	27日	徳澤園・徳沢ロッジ訪問	酒々井眞澄先生(診療班代表)、松本晴年先生(名市大病院薬剤部)が訪問	
	28日	定例会/勉強会	壮行会・レインウェア貸し出し・気圧計購入・参加者アンケート・登山者アンケート・登山ルート・蝶グッズ/薬剤①	
	29日	運営委員会	登山者アンケート・新規参加者・上高地ルート	
	6月	2・3日	日本登山医学会(東京都)	研究成果発表:酒々井眞澄先生(診療班代表)、M3藤永拓実、M2田中秀和 参加:薊隆文先生(診療所長)、松本晴年先生(名市大病院薬剤部)
		3日	2018年活動方針、ルート変更検討会議	出席者:酒々井眞澄先生(診療班代表)、薊隆文先生(診療所長)、坪井謙先生(運営委員長、出張のため国際電話にて参加)、早川智章先生、三浦裕先生、松本晴年先生、神代崇一郎、佐々木謙、内藤裕、中島亮、日置啓介(以上5名M6)、加藤悠太、羽柴文貴、服部正隆、眞嶋泉、吉田匡伸、吉田理恵(以上6名M5)、服部滉平、船坂珠里、吉田佐和子(以上3名M4)、駒沢穂乃佳、堀優華(以上2名P4)、井上右喬、梅田翔梧、畑中景、藤永拓実(以上4名M3)、石谷知子、大谷友里香、茅野三葉(以上3名N3)、M2中野聖也、N2坂井芙蓉花 2018年の診療所での診療活動をするか・班割りの問題・ポーターの対応・ルート確認、難易度・移動方法のオプション・日大診療所との交流・徳沢視察報告・酸素ボンベ・マニュアルの変更・保険の変更・役割分担・テントの準備・ルートの勉強・保護者へのルートの周知など
4日		定例会/勉強会	壮行会・蝶旅行・芍薬甘草湯導入検討/医療面接②	
5日		運営委員会	新規薬剤導入	
11日		定例会/勉強会	芍薬甘草湯導入検討・気圧計購入・チェックテスト・夏山係ごとの会議・夏山期間中の報告・6/3に行った打ち合わせの報告・部室の戸締りについて・蝶グッズ・壮行会・自炊係/薬剤②	
12日		運営委員会	気圧計・新規薬剤導入・2018年度の運営方針	
15日		安曇野赤十字病院相澤病院	酒々井眞澄先生(診療班代表)、薊隆文先生(診療所長)が訪問	
15日		長野県警航空隊訪問、ルート視察	酒々井眞澄先生(診療班代表)が訪問および沢渡〜平湯間の道路の視察	
15日		メール送付	坪井謙先生(運営委員長)より「2018年夏山活動指針」を周知	
16日		壮行会	日程表説明・サブリーダー挨拶・新規参加者挨拶・OBOG挨拶・懇親会	
18日	定例会/勉強会	蝶グッズ・部室待機・チェックテスト・OS-1の扱い・酸素ボンベ・縫合糸・マニュアル・壮行会/ベッドメイキング・酸素・輸液		
19日	運営委員会	縫合糸および針・新規参加者の承認・準備班の日程変更・臨時班・OS-1の試飲会		
25日	定例会/勉強会	蝶グッズ・部室待機表・夏山補習・川澄祭模擬店・登山医学会報告・夏山係ごとの会議/ベッドメイキング・酸素・輸液		
7月	26日	運営委員会	臨時班の日程・気圧計購入	
	2日	定例会/勉強会	川澄祭模擬店・レッツノート・薬剤会議・プラネタリウム企画/手技総復習	
	3日	運営委員会	新規参加者の提出書類に関する文面変更・レインウェアの貸し出し・医薬品集の改訂・レッツノート紛失・見学者	
	5日	メール送付	坪井謙先生(運営委員長)より上高地モデルコースの案内	
	9日	定例会/勉強会	レッツノート・夏山期間中の部室の開け方・後期勉強会・ダブルチェック・ノンスリップシーツ・荷下げした医療廃棄物・針付き縫合糸・LINEの全体グループ作成/症例共有会・予防的介入・ヒュッテ・上高地ルート	
	10日	運営委員会	新規参加者承認・レインウェアの貸し出し・針付き縫合糸	
	24日	準備班報告	準備班報告・レッツノート紛失・レインウェアの管理法・冷却材の荷揚げ	
	25日	研修医対応	薊隆文先生(診療所長)が坂田晴耶研修医師とスカイプで症例検討	



	26日	研修医対応	酒々井眞澄先生(診療班代表)、薊隆文先生(診療所長)、坪井謙先生(運営委員長)が坂田晴耶研修医師とスカイプで症例検討
		台風12号接近への対応	臨時班1班の登山中止決定
	27日	へり搬送(患者1名)	酒々井眞澄先生(診療班代表)、薊隆文先生(診療所長)、坪井謙先生(運営委員長)が電話会議、酒々井眞澄先生(診療班代表)より坂田晴耶研修医師への電話指示により患者1名を相澤病院にへり搬送
		台風12号接近への対応	台風12号接近に伴い酒々井眞澄先生(診療班代表)から登山予定の医療スタッフへ電話連絡
	27-30日	一時閉所	台風接近による診療所の一時閉所
8月	5日	台風13号接近への対応	酒々井眞澄先生(診療班代表)、坪井謙先生(運営委員長)が電話会議、4班下山決定・5班登山中止決定
	7日	中間報告	中間報告・新規参加者承認・OS-1の提供について
	7-9日	一時閉所	台風13号接近による診療所の一時閉所
	19日	台風19号接近への対応	酒々井眞澄先生(診療班代表)、坪井謙先生(運営委員長)、M4鴻野かおりが会議・整理班、整理班ポーター下山決定
	20日	台風19号接近への対応	整理班、整理班ポーターが1日早く下山
	28日	整理班報告	整理班報告・水銀血圧計
9月	8日	反省会	シーツ・登山ルート・勉強会・保冷剤・新規参加者
	23日	徳澤園・徳沢ロッヂ訪問	酒々井眞澄先生(診療班代表)が訪問し、活動終了の報告とご協力へのお礼
10月	1日	定例会/勉強会	年内の予定・LINEの全体グループ作成・川澄祭模擬店・川澄祭打ち上げ・診療班参加規約・テント/カルテ見直し
	9日	運営委員会	寄付者報告・新規参加者規約・幹事会
	15日	定例会/勉強会	幹事会・川澄祭模擬店・PC購入・Slack 導入・保冷剤返却ボックスの提案・薬剤カウ ント紙媒体廃止・テント・蝶スキー/テーピング・心電図・救急バッグ
	16日	運営委員会	テントの新規購入・カルテ結果を利用する研究のオプトアウト
	22日	定例会/勉強会	川澄キャンパス一斉清掃・名市大HPへの写真掲載・川澄祭打ち上げ・保冷剤返却 ボックス・薬剤総合情報紙媒体廃止・薬剤完了メール・学生用カルテ変更/テー ピング・心電図・救急バッグ
	29日	定例会/勉強会	薬剤完了メール・蝶スキー・追いコン/テーピング・心電図・救急バッグ
	30日	運営委員会	学生用カルテ変更・今年度の報告書の変更内容・新規PC購入

#### 今年度に診療録閲覧申請をした部門とその日時、目的

日付	部門・所属	目的
2017年11月7日	藤堂庫治理学療法士	登坂で発生しやすい運動器の症状の集計
2018年1月16日	勉強会部門	勉強会作成
2018年4月24日	勉強会部門	勉強会作成
2018年9月19日	酒々井眞澄先生 (診療班代表)	AMSを予防できる水分摂取量を突き止めること。2018年にAMSスコアが改定された ことに伴うデータの再解析及び今年度分のデータを含めたAMSを予防できる摂取 水分量の検討を行う。
2018年9月28日	勉強会部門	勉強会作成

勉強会部門M3小林礼実が責任者として診療録閲覧申請をした。

## 2018年三股登山口へのアクセス道路崩落に伴う上高地ルートへの変更

酒々井眞澄(診療班代表)

2018年は三股登山口へのアクセス道路の崩落に伴い、学生班の登山・下山をすべて上高地ルートに変更しました。この道路は過去にも崩落したことがあります。班員の安全を最優先して対応を検討しました。2018年に診療活動を行うか否かについては、6月3日に行った「2018年活動方針、ルート変更検討会議」において学生の強い希望があったこと、過去の事例と当時の対応を参照することができたこと、さらに私たちの活動をサポートしてくれる多くの人々がいたことにより、2018年も診療活動を行うことができると私は最終的に判断しました。

過去の事例については文書での詳細な記録がないため、今後にも起こりうるという状況を想定して、今回の対応を参照することができるようにある程度詳細に文書記録を残すことにします。これは、本活動を運営する側からの経時的な記録です。尚、診療班員へのメール文とその添付資料、スタッフマニュアルにも関連する記載があるので適宜ご参照いただければ幸いです。本学関係者、診療班参加の皆様にご深く感謝いたします。

### 【アクセス道路の崩落に関する情報収集と対応策の検討】

- ①2018年4月 長野県安曇野市「ほりで一ゆ〜」から三股登山口へのアクセス道路の一部が崩落したとの情報を診療班の畑中(医学部学生代表、M3)が発見した。
- ②4月中に畑中は安曇野警察署に電話して情報収集した。現状では崩落現場にブルーシートをかぶせて対応、車両の通過は不可、人の通過は可能。運営委員3役(酒々井、坪井運営委員長、薊診療所長)を含む関係者(学生等)で情報共有。
- ③4月30日(月、振替休日)に神谷圭子様、ほりで一ゆ〜様への挨拶の後に三股登山口まで行き、アクセス道路の状況を調査した。(酒々井、坪井運営委員長、畑中、大谷(看護学部学生代表、N3)、田中(M2)、高田(N2))(尚、三股登山口では予防的介入ポスターを新しいものに張り替えた)
- ④5月8日(火) 三浦裕教授(至学館大学)に過去の事例と対応についてメール照会(酒々井)。
- ⑤5月9日(水) 三浦教授と過去の事例と対応について電話会議(酒々井)。
- ⑥5月9日(水) 「三股登山口までのアクセス道路の状況に関する報告」を全体メール配信(畑中)。
- ⑦5月9日(水) 過去の事例と対応について電話会議(酒々井、三浦、坪井、薊)。
- ⑧5月11日(金) 「2018年活動方針、ルート変更検討会議」の開催をメール配信(酒々井)。
- ⑨5月21日(月) 原田智紀先生(日本大学医学部徳沢診療所、日本大学医学部生体構造医学分野)に過去の事例と対応についてメール照会(酒々井)。
- ⑩5月23日(水) 猪熊隆之様((株)ヤマテン代表取締役)に講演(5/18)のお礼と三股登山口へのアクセス道路の崩落の情報提供(酒々井)。
- ⑪5月23日(水) 猪熊様より上高地ルートに関する気象上の注意点等について情報提供あり(酒々井)。
- ⑫5月23日(水) 徳沢ロッジへ宿泊費、酒々井代表訪問の日程調整等の電話照会(畑中)。
- ⑬5月24日(木) 徳澤園へキャンプ場の使用、テント貸し出し、酒々井代表挨拶の日程調整等についてFAX照会(畑中)。
- ⑭5月27日(日) 上高地視察:徳沢ロッジ支配人古畑満様、徳澤園支配人上條靖大様にお会いし、

上高地ルートの情報収集、ベースキャンプ設営と宿泊のための情報収集と条件交渉(酒々井、松本)、学生向けメール 5/29 配信(酒々井)(PDF ファイル 1 参照、写真省略)、全体メール 7/14 配信(畑中)、学生向けメールと全体メールでは内容が異なる。

⑮6月2日(土) 日本登山医学会(日本女子体育大学、東京都)にて原田先生と協力体制と学生交流について再確認(酒々井)。

⑯6月3日(日)「2018年活動方針、ルート変更検討会議」(酒々井、薊、早川、三浦、松本、神代、佐々木、内藤、中島、日置(以上5名M6)、加藤、羽柴、服部、眞嶋、吉田匡、吉田理(以上6名M5)、服部、船坂、吉田(以上3名M4)、駒沢、堀(以上2名P4)、井上、梅田、畑中、藤永(以上4名M3)、石谷、大谷、茅野(以上3名N3)、中野(M2)、坂井(N2)、坪井(海外出張中のため国際電話で参加)(議事録あり)

【以下メール文参照(酒々井配信、関係者・学生向け)】

各位

6月3日(日)の打ち合わせへのご協力もありがとうございました。

私たちは安全な活動を第一に考え2018年の活動をどうするかを話し合いました。

ポイントはつぎのとおり

班員の安全を第一に考えて判断する

診療活動をする

過去の事例よりルート変更で対応可能である

学生は上高地—徳沢—蝶ヶ岳ルートを基本とする

ルートの安全性は高い

上高地バスセンターへの到着時間に配慮し交通アクシデントなどで遅れる場合の対応を考慮しておく

医療スタッフには上記ルートを強く推奨する

三股ルートには学生ポーターはつけない

上高地—徳沢—蝶ヶ岳ルートをよく勉強する

徳沢ロッジ、徳澤園、キャンプ場(テント場)の利用については支配人(古畑様、上條様)の指示に従う

必要な物資は前もって徳澤園に送っておく

ご好意に対してお礼の気持ちをわすれず挨拶等をしっかりする

酸素ボンベは状況に応じて対応する

マニュアルの修正をすすめる

日大診療所との交流ができる

保護者にはルートの変更等を伝える

学生の参加不参加は自由である

班員には適宜情報を提供する

R158などが崩れた場合は活動を中止する

現在、畑中、藤永が資料、議事録を準備しています。

学生と学内スタッフには議事録と過去2回(三股、上高地)の報告書をメールします。

全体メールでは過去2回(三股、上高地)の報告書をメールします。

2018年の対応については坪井運営委員長より全体メールで発信する方向ですすめましょう。

そのときに情報(報告書)を添付します。

畑中君→ご質問等のうけつけ窓口と対応する担当者を決めなさい。

何卒よろしく申し上げます。

酒々井眞澄 代表

①6月15日(金) 酒々井と薊は安曇野赤十字病院(中野武院長)、相澤病院(松本市)(吉池昭一救命救急センター長)を訪問し学生班のルート変更等を報告、その後酒々井は長野県警察本部航空隊(宮崎茂男隊長、福間健警部補)を訪問しルート変更等を報告、さらに酒々井は同日、R158から沢渡～安房トンネル～平湯温泉の道路状況と通過時間のチェックのため視察(午後3時空港出発～午後4時に岐阜県平湯温泉駐車場着)、自家用車で松本空港から沢渡を経て平湯温泉内の駐車場まで約1時間で移動可能(当日天気はくもり時々雨)、道が狭いところがあるので運転に注意、沢渡温泉周辺には駐車場は充分ある。

#### 【方針および情報の発信】

①6月15日(金) 2018年夏山活動方針(坪井配信全体メール)

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班の皆様

平素より当診療班の活動に対するご協力どうもありがとうございます。

2018年の活動方針に関する重要なお知らせです。

蝶ヶ岳に登るルートは東側の三股駐車場からが一番アプローチしやすく、学生を中心に多く利用されています。しかし、2018年5月の視察時に、三股駐車場直前で道路の崩落を確認しました。その手前に駐車場がありますが、15分ほど余分に歩行が必要になります。今年中の復旧は難しく、また、今後の降雨で、さらに崩落する可能性があります。(添付ファイル1参照、5月9日メール配信)

2018年について、名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班では、安全を第一に考え、学生班はすべて上高地～徳沢ルートを利用します。医療スタッフ等の皆様におかれましては、当診療班では上高地ルートをお勧めします。(添付ファイル2参照)

上高地～蝶ヶ岳のモデルコースについては、別報でご案内させていただきます。ご参加される班員の皆様におかれましては、日程に関して余裕を持ってご参加ください。また、登山計画書は前もって必ず提出してください。登山計画書の提出がないもの、提出がギリギリなものは正式な参加を受けかねますのでご了承ください。

皆様のご理解とご協力を何卒よろしく申し上げます。

2018年6月15日

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

運営委員長 坪井謙

②7月 モデルコース作成のため調査(畑中)とまとめ(畑中、酒々井)

③7月3日(火) モデルコース(坪井配信全体メール)

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班の皆様

本診療班活動へのご理解とご協力どうもありがとうございます。

上高地ルートのモデルコースに関するお知らせです。

各位の状況にあわせて、上高地ルートモデルコースについて添付のPDFファイルを適宜ご参照いただければ幸いです。尚、料金・時刻表などは予告なく変更される可能性もあります。

6月15日配信メールにて皆様にお知らせした通り、2018年について、名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班では、安全を第一に考え、学生班はすべて上高地～徳沢ルートを利用します。医療スタッフ等の皆様におかれましては、当診療班では上高地ルートをお勧めしたところです。

尚、蝶ヶ岳への登山ルートとして、他に常念岳から蝶ヶ岳に縦走、徳本峠から大滝経由で縦走するルートがありますが、登山時間が長く経験者向けです。また、各位の状況にあわせて登山時間を考慮してください。

ご参加される班員の皆様におかれましては、日程に余裕を持ってご参加ください。登山計画書は前もって必ず提出してください。登山計画書の提出がないもの、提出がギリギリなものは正式な参加を受けかねますのでご注意ください。診療班員は診療活動参加に際してスタッフマニュアルの熟読を強く求められています。

皆様のご理解とご協力を何卒よろしく申し上げます。

2018年7月3日

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

運営委員長 坪井謙

(PDFファイル2参照)

#### ④7月15日(日) 三股ルートに関して情報提供(坪井配信全体メール)

みなさま

三股ルートは行けるには行けますし、「今のところ」良いアプローチ法です。しかし、自分の目で見に行った結論として、先が読めない崩れ方をしていました。雨などで遮断される恐れはいつでもありますし、雨が降った後でも土砂は崩れます。迅速な対応ができないかもしれず、診療班としてはお勧めしません。自己責任でお願いします。先日の運営指針をもう一度ご熟読ください。

蝶ヶ岳診療班 運営委員長

坪井謙

以下、オーナーのFBからの転載です。

蝶ヶ岳登山者の皆様へ、大事なお知らせです

7月18日、午前4時～8時、三股登山口の手前、須砂渡付近の林道が車両通行止めになります。

山側から倒れかかっている倒木処理です。

また、三股登山口に向かう皆様へお知らせです。

今シーズンは、登山口の駐車場まで車が入りません。

登山口に、最も近いホテル「ほりで一ゆ～四季の郷」では、約50台の駐車場を提供しております。

事前にご連絡頂ければ、駐車できます。

また、車両No、車種、電話番号をお伝えください。

タクシーの予約等も事前にお問い合わせ頂きたいと思っております。

混雑してかなり待つてしまう可能性があります。

ほりで一ゆ～四季の郷のTELは0263-73-8500です。

蝶ヶ岳ヒュッテの駐車場等のお問い合わせは0263-58-2210(蝶ヶ岳ヒュッテ連絡事務所)でも承ります。  
よろしくお願いたします。

⑤7月14日(土) 準備班の医療スタッフとして酒々井、松本が岐阜県平湯温泉(前泊)→上高地へ移動、徳沢ロッジ支配人古畑様と宿泊料金等、徳澤園支配人上条様とキャンプ場料金等、日大原田先生と学生交流等について、それぞれ再確認した(7月16日下山)。

⑥7月16日(月、海の日) 本日より正式開所(坪井配信全体メール)

診療班のみなさま

本日より正式な開所になります。8月19日までが開所期間です。

よろしくおねがいします。

すでに準備班に活躍いただいています。ありがとうございます。

今年は近年になく、医師不在期間が多くなりました。

可能な範囲で皆様のご協力をいただけると幸いです。

2011年にも同様に困った自体になりそうで、そのときに投稿したメールを添付します。7年前のことで一周りして学生は誰も知らないと思い再送します。

当時、運営委員長ではなかったので、考えも少し変わりました。

過去のデータから数年以内に医師として参加しなければリピーターにならないということがわかりました。

OBOG訪問、白蝶会で2年・5年・10年目に参加しよう計画、複数人医療スタッフがかぶっても容認するなど対策は立てましたが、常連の先生方や新規参加者ばかりで埋められています。運営を司る者として、学生の運営(OB参加者がいなければ卒業生が多くても仕方がなく、少数精鋭でもいいかもしれないなど)からして考え直さないといけないと思っています。今年、来年の診療班の参加具合をみて方針をきめます。

自分が運営委員長になってから、引き継ぎやすいようにだれでも運営できる器を作りました。しかし、それだけでは成りたないということで、昨年の20周年企画には、オーナーの神谷圭子さんや初代代表の太田伸生先生をお招きしてご講演していただきました。今回のメールもその一つです。

昨年度より、仕事場の環境変化で事細かく対応するのが難しくなりました。

参加される方々は診療班員である前に、一登山者です。パーティの力量に応じてアプローチを検討して計画してください。据え膳を用意するのが運営ではありません。安全管理上、こちらが対応できないと判断した急な新規参加者などは、正式な参加を御断ります。

ご意見があるならご自分が運営に携わる覚悟をもってご意見下さい。

よろしくお願いたします。

蝶ヶ岳診療班

運営委員長 坪井謙

⑦7月25日(水) 上高地視察報告(畑中配信全体メール)

各位

平素より当診療班へのご理解とご協力どうもありがとうございます。

6月15日、7月16日、および本日7月25日メールにて、班員の皆様には坪井運営委員長より2018年の活動方針等をお伝えしたところです。

本日、酒々井代表より上高地報告(5月29日および7月14日)をメール配信するように指示がありました。(2ファイル)

7月14日に徳沢ロッジの古畑支配人様との条件確認もあわせてご参照ください。

何卒よろしく申し上げます。

名古屋市立大学 蝶ヶ岳ボランティア診療班

学生代表医学部3年畑中景

(PDF ファイル 3 参照、写真省略)

#### 【診療活動の報告】

①8月19日(日) 2018年診療活動終了

②9月23日(木) 上高地訪問:徳沢ロッジ支配人古畑様、徳澤園支配人上條様にお会いして2018年の診療活動の結果報告と本活動に対するご協力へのお礼をお伝えした(酒々井)。

#### 【謝辞】

徳沢ロッジ支配人古畑満様、徳澤園支配人上條靖大様には上高地ルートの情報提供、ベースキャンプ設営、宿泊等について常に前向きにご支援いただきました。原田智紀先生(日本大学医学部徳沢診療所、日本大学医学部生体構造医学分野)には情報提供、診療上のご協力、学生交流等についてサポートいただきました。深く感謝いたします。

2018年の診療活動の準備期間中あるいは活動中に、神谷圭子様には電話・メール等で三股ルートについて情報提供していただきました。ヒュッテ従業員の日高理彩様(2013年本学看護学部卒業)には7月12日配信メールにて三股ルートについて情報提供していただきました。どうもありがとうございます。これらの情報は、三股ルートを使う医療スタッフへの情報提供のために役立ちました。

徳澤園の支配人上條様と坂田晴耶医師には別件でも大変お世話になりました。本学薬学研究科大学院生水野翔太君と梅本銀河君には学生不在期間中にサポートしてもらいました。活動中に他施設の診療班員より適宜情報提供していただきました。三浦裕教授(至学館大学、国際認定山岳医、蝶ヶ岳診療班特別運営委員)にはルート情報や過去の対応等について適切な助言をいただきました。坪井運営委員長、薊診療所長には様々な場面で助けていただきました。畑中君には私からの指示に対して素早くレスポンスしてもらいました。学生諸君、関係者の皆様のご協力どうもありがとうございました。

#### 【あとがき】

参加学生にとって上高地ルート変更に伴い、移動(目標到達時間など)や登山(尾根での強風など)での新たな対応が必要になる場面もありました。今年の実験者はそのことをぜひ後輩などに伝えてください。なお、「2018年活動方針、ルート変更検討会議」についての詳細を議事録に残しました。診療班では視察、会議、打ち合わせの報告書、次第、議事録を残しています。

以上

**【PDF ファイル 1】**  
(添付写真は省略)

平成 30 年 5 月 29 日

**「徳沢ロッヂおよび徳澤園」視察報告**          **酒々井眞澄(代表)、松本晴年(薬剤部)**

1. 日時:平成 30 年 5 月 27 日(日)午前 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

概要:三股登山口へのアクセス道路崩落に伴い上高地ルート検討の情報収集、ベースキャンプ設営と宿泊のための交渉の目的で上記日程にて徳沢ロッヂおよび徳澤園を訪問し各担当者様にお会いした。三股登山口へのアクセス道路崩落の現状報告(メール報告書)、蝶ヶ岳診療班の活動状況(2017 年報告書)、2018 年の日程と予想される人員等を説明した。

宿泊施設・テント場の使用等について料金交渉を行った。

交渉の結果、当該診療班の金銭的負担はないことを確認した。(宿泊を除く)

まとめ:徳沢ロッヂ支配人の古畑様、徳澤園支配人の上條様は共に学生のボランティア診療活動をよくわかっておられ、極めて前向きに私たちの活動へのサポートを了解していただきました。当該診療所に参加する学生諸君には、施設の使用にあたっては現地スタッフ様の指示に従い、お礼の態度を忘れずに活動してもらいたい。また、日大診療所の原田先生にも学生の交流についてすでにご快諾をいただいています。

2. 場所:

①徳沢ロッヂ:支配人

古畑 満様

〒390-1516 長野県松本市安曇 4470

TEL & FAX 0263-95-2526

E-mail furuhata@m-kamikouchi.jp

内容:

- ・宿泊:可能。日程が決まっていれば直ぐに予約せよ。現状では予約でほぼ埋まっている。直前になると空く可能性がある。
- ・ホームページで空いている部屋を予約すること。その際に「蝶ヶ岳診療所ボランティアスタッフ」と入力せよ。
- ・宿泊料金:1 人 1 泊 2 食付き 5,000 円(通常, 1 人 1 泊 10,000 円)。
- ・浴場:使用可能。無料。必ずロッヂのスタッフに一言かけること(蝶ヶ岳診療所ボランティアスタッフであることを伝えなさい)。
- ・乾燥室:使用可能。無料。ロッヂのスタッフに一言かけること(蝶ヶ岳診療所ボランティアスタッフであることを伝えなさい)。
- ・徳沢～蝶ヶ岳ルートは体力が必要(標準 4 時間)とのコメントをいただいた。

②徳澤園:支配人・専務取締役

上條 靖大様



〒390-1516 長野県松本市上高地  
TEL 0263-95-2508 FAX 0263-95-2512  
E-mail tokusawa-en@rouge.plala.or.jp  
自宅 TEL 0263-39-2041 FAX 0263-39-2041

内容:

- ・テント場の使い方やテントを張る場所などについては上條様の指示に従いなさい。
- ・テント場の使用料金は無料。
- ・7/26(木)～8/19(日):テント(1～2 張り)の張りっぱ可能。
- ・7/14(土)は設置可。翌日撤去せよ。あるいは徳沢ロッヂに宿泊すること。
- ・7/22(日)～23(月)松本市中学生合宿 250 名分のテント 50 張りの設置あり(全員蝶ヶ岳に登山すること)。この期間は張りっぱ禁止。(忘れるな！)
- ・7/26(木)～29(日)は「唐沢フェスティバル」開催だが張りっぱ可。
- ・テントを設営後 2 週間移動しないと芝が無くなるため、適宜少しずつ移動する必要がある。上條様の指示に従いなさい。
- ・シラフ(4,000～5,000 円)は借りるより自分のものを使いなさい。足りなければ貸し出し可能。
- ・テント/シラフ等を 7/6(金)に名古屋から発送しなさい(発送先:上條 靖大様上記住所宛)。上條様が車で徳澤園まで運んで倉庫に置いてくれます。
- ・テント/シラフ等は活動終了後に上條様のご好意により宅配便で名古屋まで送っていただきます。(受取人、送付先を決めなさい、着払いのため支払者を決めなさい)。
- ・連絡先は上條 靖大様 E-mail(tokusawa-en@rouge.plala.or.jp)で良い。
- ・夜中にテント場で騒がないこと。(必ず守りなさい)
- ・日本大学診療所と交流可。(診療所と宿泊施設は徳澤園のすぐ右隣)
- ・徳沢～蝶ヶ岳ルートは道迷いに注意しなさい、必ず赤リボンを見つけて進むこと、とのコメントをいただいた。

以上



向かって左から早川先生、日本大学原田智紀先生、酒々井先生、松本先生、日本大学学生さん 2 名

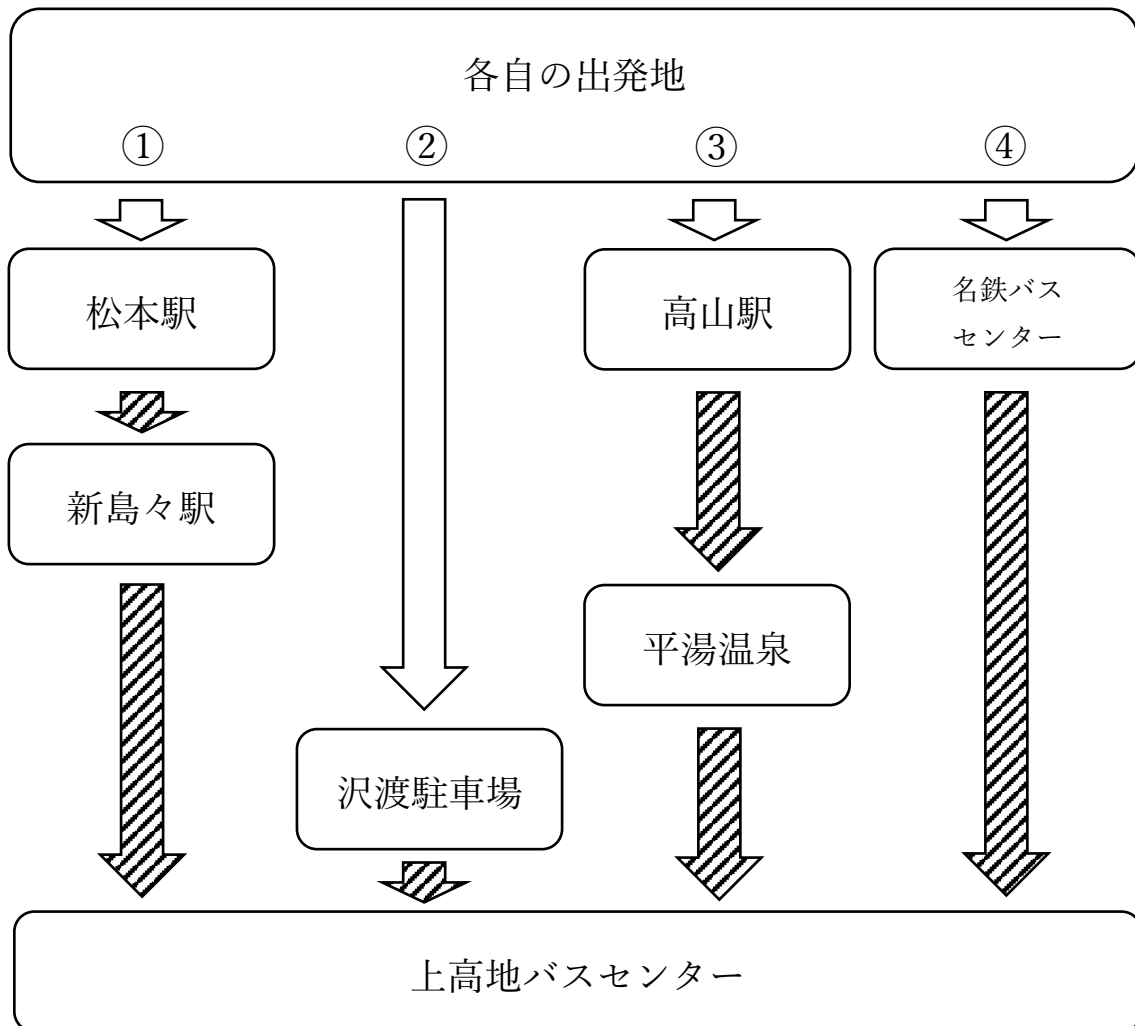
撮影日:2018.7.14

## 蝶ヶ岳登山口までのアクセス

文責:医学部 3 年 畑中景

上高地ルートについてモデルコースを示す。各位の状況にあわせて適宜ご参照ください。  
注意！ 日程に余裕を持ってご参加ください。料金・時刻表などは予告なく変更される可能性もあります。各位の状況にあわせて登山時間を考慮してください。登山計画書は前もって必ず提出してください。登山計画書の提出がないもの、提出がギリギリなものは正式な参加を受けかねますのでご注意ください。診療班員は診療活動参加に際してスタッフマニュアルの熟読を強く求められています。

### 【上高地ルート】



※各コースの費用の概算(斜線矢印部分について、片道分、安い方の交通手段を利用)

①約 2,500 円

②1,250 円

③約 3,000 円

④7,600 円

①松本市～新島々駅～上高地

〈費用(往路復路ともに)〉

- ・松本駅～新島々駅(電車)...700円
  - ・新島々駅～上高地(バス)...1,950円
  - ・松本駅～上高地(電車・バスセットクーポン)...片道 2,450円、往復 4,550円
- ※すべて、小児運賃はおとなの半額、10円未満は切り上げ

[往路]

・松本駅→(新島々線)→新島々駅→(アルピコ交通バス)→上高地バスセンター

👉 松本→新島々→上高地 (バス直通・電車バス乗継)

バス		特定日 ☆										美ヶ原温泉翔峰9:35 浅間温泉9:45 ↓
	松本バスターミナル		5:30									10:15
	松本インター前		5:40									10:25
電車	AK-01 松本駅	発 ☆4:45	↓	6:31	7:15	8:00	8:41	9:21	10:10	↓		10:45
	AK-14 新島々駅	着 ☆5:09	↓	7:01	7:49	8:30	9:12	9:52	10:40	↓		11:15
		特定日 ☆	↓							↓		↓
バス	K-01 新島々駅	発 5:20	6:00	7:15	8:00	8:40	9:30	10:10	↳	10:55		11:30
	K-06 安曇支所前	" 5:26	6:06	7:21	8:06	8:46	9:36	10:16	...	11:01		11:36
	K-16 奈川渡ダム	" 5:46	6:26	7:41	8:26	9:06	9:56	10:36	...	11:21		11:56
	K-17 親子滝	" 5:51	6:31	7:46	8:31	9:11	10:01	10:41	...	11:26		12:01
	K-20 さわんどバスターミナル	" 5:59	6:39	7:54	8:39	9:19	10:09	10:49	...	11:34		12:09
	K-26 中の湯	" 6:11	6:51	8:06	8:51	9:31	10:21	11:01	...	11:46		12:21
	K-28 大正池	" 6:17	6:57	8:12	8:57	9:37	10:27	11:07	...	11:52		12:27
	K-289 帝国ホテル前	" 6:22	7:02	8:17	9:02	9:42	10:32	11:12	...	11:57		12:32
	K-30 上高地	着 6:25	7:05	8:20	9:05	9:45	10:35	11:15	...	12:00		12:35
電車	AK-01 松本駅	発 11:28	12:09	12:44	13:28	14:07	14:46	15:26	16:06	16:45	...	
	AK-14 新島々駅	着 11:58	12:39	13:14	13:58	14:37	15:17	15:57	16:36	17:15	...	
バス	K-01 新島々駅	発 12:10	12:50	13:30	14:15	14:45	15:25	16:10	16:45	17:25	...	
	K-06 安曇支所前	" 12:16	12:56	13:36	14:21	14:51	15:31	16:16	16:51	17:31	...	
	K-16 奈川渡ダム	" 12:36	13:16	13:56	14:41	15:11	15:51	16:36	17:11	17:51	...	
	K-17 親子滝	" 12:41	13:21	14:01	14:46	15:16	15:56	16:41	17:16	17:56	...	
	K-20 さわんどバスターミナル	" 12:49	13:29	14:09	14:54	15:24	16:04	16:49	17:24	18:04	...	
	K-26 中の湯	" 13:01	13:41	14:21	15:06	15:36	16:16	17:01	17:36	18:16	...	
	K-28 大正池	" 13:07	13:47	14:27	15:12	15:42	16:22	17:07	17:42	18:22	...	
	K-29 帝国ホテル前	" 13:12	13:52	14:32	15:17	15:47	16:27	17:12	17:47	18:27	...	
	K-30 上高地	着 13:15	13:55	14:35	15:20	15:50	16:30	17:15	17:50	18:30	...	

- ※ この時刻表は主な停留所のみ掲載しております。
- ※ ☆印=特定日運転(臨時列車運転日) / 特定日につきましては、上高地線電車(松本～新島々)のページにてお知らせ致します。
- ※ **太字**=松本市内より松本バスターミナル・新島々駅を経由して運行致します。その他のダイヤは、新島々駅始発となりますので電車からのお乗り換えが必要です。
- ※ さわんど駐車場(さわんど)～上高地間は、こちらの時刻表とは別にシャトルバスの運行がございます。詳しくはさわんど～上高地シャトルバスのページをご覧ください。

(引用: <http://www.alpico.co.jp/access/kamikochi/shinshimashima/>)

[復路]

・上高地バスセンター→新島々駅→松本駅

▶ 上高地→新島々→松本 (バス直通・電車バス乗継)

バス	K-30 上高地 乗車整理券について	発 …	7:50	8:40	9:30	10:05	10:40	11:30	12:00	12:40	13:20	
	K-26 中の湯	" …	8:03	8:53	9:43	10:18	10:53	11:43	12:13	12:53	13:33	
	K-20 さわんどバスターミナル	" …	8:15	9:05	9:55	10:30	11:05	11:55	12:25	13:05	13:45	
	K-17 親子滝	" …	8:23	9:13	10:03	10:38	11:13	12:03	12:33	13:13	13:53	
	K-16 奈川渡ダム	" …	8:28	9:18	10:08	10:43	11:18	12:08	12:38	13:18	13:58	
	K-06 安曇支所前	" …	8:46	9:36	10:26	11:01	11:36	12:26	12:56	13:36	14:16	
	K-01 新島々駅	着 …	8:55	9:45	10:35	11:10	11:45	12:35	13:05	13:45	14:25	
電車	AK-14 新島々駅	発 …	9:20	10:08	10:53	11:26	12:07	12:52	13:26	14:05	14:45	
	AK-01 松本駅	着 …	9:50	10:37	11:22	11:55	12:36	13:21	13:55	14:34	15:15	
バス	K-30 上高地 乗車整理券について	発	14:05	14:30	15:15	<b>16:00</b>	…	<b>16:45</b>	…	17:25	18:00	18:45
	K-26 中の湯	"	14:18	14:43	15:28	<b>16:13</b>	…	<b>16:58</b>	…	17:38	18:13	18:58
	K-20 さわんどバスターミナル	"	14:30	14:55	15:40	<b>16:25</b>	…	<b>17:10</b>	…	17:50	18:25	19:10
	K-17 親子滝	"	14:38	15:03	15:48	<b>16:33</b>	…	<b>17:18</b>	…	17:58	18:33	19:18
	K-16 奈川渡ダム	"	14:43	15:08	15:53	<b>16:38</b>	…	<b>17:23</b>	…	18:03	18:38	19:23
	K-06 安曇支所前	"	15:01	15:26	16:11	<b>16:56</b>	…	<b>17:41</b>	…	18:21	18:56	19:41
	K-01 新島々駅	着	15:10	15:35	16:20	<b>17:05</b>	▽	<b>17:50</b>	▽	18:30	19:05	19:50
電車	AK-14 新島々駅	発	15:25	16:04	16:43	↓	17:23	↓	18:01	18:42	19:25	20:10
	AK-01 松本駅	着	15:55	16:34	17:13	↓	17:52	↓	18:31	19:11	19:54	20:39
	松本インター前	着				<b>17:25</b>		<b>18:10</b>				
	松本バスターミナル	着				<b>17:40</b>		<b>18:25</b>				

※ この時刻表は主な停留所のみ掲載しております。

※ **太字** = 上高地を出発後、松本バスターミナルまで運行致します。(1号車に限り直通運行し、多客時に運行する2号車以降は新島々駅止まりとなります。)

※ 上高地発便につきましては、乗車整理券が必要となります。

※ 上高地発便につきましては、途中バス停からのご乗車が困難な場合がございますので、なるべく始発の上高地バスターミナルよりご乗車下さい。

🕒 【ご確認ください】 上高地バスターミナルからご乗車の場合の乗車整理券について

- ※ 上高地バスターミナル出発の次の路線では、スムーズにバスにご乗車いただけるよう【乗車整理券】をお配りしております。
- ※ **乗車整理券対象路線**・・・新島々・松本行き、乗鞍高原行き、白骨温泉行き
- ※ 乗車整理券は上高地バスターミナルきっぷ売り場にて当日分から翌々日分までお配りしております。ご利用人数分の乗車券をお持ちの上、ご利用の日にち、お時間をご指定下さい。
- ※ バスの発車10分前に乗車改札を行います。乗車整理券の番号順にご案内いたしますので、お手元に乗車券と乗車整理券をご用意の上お集まりください。
- ※ 乗車整理券はお席の確保や指定するものではありません。乗車整理券をお持ちでも改札時にいらっしゃらない場合には他のお客様にお席をお譲りする場合がございます。
- ※ 乗車整理券は上高地バスターミナルでのご乗車時に限り有効です。途中バス停からご希望の場合、ご乗車できない場合もございますので予めご了承ください。

(引用 : <http://www.alpico.co.jp/access/kamikochi/shinshimashima/>)

## ② 沢渡(さわんど)～上高地

〈費用(往路復路ともに)〉

- ・沢渡駐車場...普通車 600 円/1 日
- ・さわんどバスターミナル～上高地...1,250 円(往復割引運賃あり)  
※小児運賃は半額
- ・沢渡駐車場～上高地(タクシー)...4,200 円

[往路・復路]

- ・(マイカー)⇄沢渡駐車場、さわんどバスターミナル⇄(アルピコ交通バス or タクシー)⇄上高地
- 注意！ 上高地へは自家用車の乗り入れが制限されています(旅行者の自家用車での乗り入れは原則できません)

### 🕒 時刻表 2018年4月17日(火)～11月15日(木)

※4月17日(火)は6:40発からの運行を予定しています。  
※さわんど駐車場地区～上高地間の所要時間はおよそ30分です。

🚌 上高地行き			🚌 さわんど駐車場行き			
	K-20 さわんど バスターミナル(発) Sawando Bus terminal dep.	→	K-30 上高地(着) Kamikochi arr.		K-30 上高地(発) Kamikochi dep.	K-18 さわんど大橋(着) Sawando arr.
☆特定日	4:40	→	5:10			
■	5:10	→	5:40			
◆	5:40	→	6:10		7:25	→ 7:55
	6:10	→	6:40		7:55	→ 8:25
	6:40	→	7:10		8:25	→ 8:55
	7:10	→	7:40		8:55	→ 9:25
	7:40	→	8:10		9:25	→ 9:55
	8:10	→	8:40		9:55	→ 10:25
	8:40	→	9:10		10:25	→ 10:55
	9:10	→	9:40		10:55	→ 11:25
	9:40	→	10:10		11:25	→ 11:55
	10:10	→	10:40		11:55	→ 12:25
	10:40	→	11:10		12:25	→ 12:55
	11:10	→	11:40		12:55	→ 13:25
	11:40	→	12:10		13:25	→ 13:55
	12:10	→	12:40		13:55	→ 14:25
	12:40	→	13:10		14:25	→ 14:55
	13:10	→	13:40		14:55	→ 15:25
	13:40	→	14:10		15:25	→ 15:55
	14:10	→	14:40		15:55	→ 16:25
	14:40	→	15:10		16:25	→ 16:55
	15:10	→	15:40		16:55 (最終)	→ 17:25
	15:40 (最終)	→	16:10			

シャトルバス終了後は、新島々発の路線バスをご利用下さい。  
時刻表はこちらをご覧ください。

シャトルバス終了後は、新島々行き路線バスをご利用下さい。  
時刻表はこちらをご覧ください。

※ ☆特定日、■印、◆印=特定日に限り運行。

※ 始発便の出発予定時刻は、下記のさわんどバスターミナル始発便出発予定時刻をご覧ください。

## ◎ さわんどバスターミナル始発便出発予定時刻

※記載は予定時刻です。道路状況や天候により始発時刻を変更する場合がございますので予めご了承ください。

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	5:40			6:10			5:40			6:10			4:40			5:10			4:40			5:10			4:40			5:10			

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	5:10									4:40										5:40			4:40						5:40		

(引用: <http://www.alpico.co.jp/access/kamikochi/sawando/>)

### ③高山市～平湯温泉～上高地

〈費用(往路復路ともに)〉

- ・高山濃飛バスセンター～平湯温泉(バス:平湯・新穂高線)...1,570円
- ・平湯温泉～上高地(バス:上高地線)...1,160円(往復運賃割引あり)
- ・あかんだな駐車場...普通車 600円/1日
- ・あかんだな駐車場～上高地バスセンター(タクシー):4,500円+安房トンネル通行料金

[往路]

- ・高山濃飛バスセンター→(濃飛バス)→平湯バスターミナル(乗り換え、バス or タクシー)→上高地バスセンター
- ・(マイカー)→平湯温泉あかんだな駐車場(乗り換え、バス or タクシー)→上高地バスセンター

高山濃飛バスセンター	6:00	7:00	7:40	7:50	8:40	9:40	10:10	10:40	11:40	12:40	12:50	13:40	13:50	14:40
ほおのき平	★6:38	7:43	8:23	↓	9:23	10:23	↓	11:23	12:23	13:23	↓	14:23	↓	15:23
平湯温泉	6:53	7:58	8:38	8:40	9:38	10:38	11:00	11:38	12:38	13:38	13:40	14:38	14:40	15:38

高山濃飛バスセンター	14:50	15:40	16:40	16:50	17:40	18:40
ほおのき平	↓	16:23	17:23	↓	18:23	↓
平湯温泉	15:40	16:38	17:38	17:40	18:38	19:35

※平湯温泉で乗り換え

(引用: [https://www.nouhibus.co.jp/route\\_bus/kamikochi-line/#timetable](https://www.nouhibus.co.jp/route_bus/kamikochi-line/#timetable))

あかんだな駐車場～平湯温泉～（大正池・帝国ホテル）～上高地

K51	HO37	K30
あかんだな駐車場 発	平湯温泉 アルプス街道平湯内バス乗り場 発	上高地バスターミナル
○4:50	○5:00	○5:25
▲5:20	▲5:30	▲5:55
▲5:50	▲6:00	▲6:25
6:20	6:30	6:55
6:50	7:00	7:25
7:20	7:30	7:55
7:50	8:00	8:25
8:20	8:30	8:55
8:50	9:00	9:25
9:20	9:30	9:55
9:50	10:00	10:25
10:20	10:30	10:55
10:50	11:00	11:25
11:20	11:30	11:55
11:50	12:00	12:25
12:20	12:30	12:55
12:50	13:00	13:25
13:20	13:30	13:55
13:50	14:00	14:25
14:20	14:30	14:55
14:50	15:00	15:25
15:20	15:30	15:55
15:50	16:00	16:25
16:20	16:30	16:55
16:50	17:00	17:25
○17:20	○17:30	○17:55
○17:50	○18:00	○18:25

○印＝春期（4月28日～5月6日）、夏期（7月14日～8月26日）運転

▲印＝春期（4月28日～5月6日）、夏期（7月14日～8月26日）の毎日と、9月1日～10月14日の土日祝運転

(引用：[https://www.nouhibus.co.jp/wp\\_rnw/wp-content/themes/nouhibus/routebus/takayama/timetable/kamikochi.pdf](https://www.nouhibus.co.jp/wp_rnw/wp-content/themes/nouhibus/routebus/takayama/timetable/kamikochi.pdf))



上高地バスセンター

[復路]

- ・上高地バスセンター(バス or タクシー)→平湯バスターミナル(乗り換え、バス)→高山濃飛バスセンター
- ・上高地バスセンター(バス or タクシー)→平湯温泉あかんだな駐車場(乗り換え、マイカー)

上高地～平湯温泉～あかんだな駐車場

K30	HO37	k51
上高地バスターミナル 発	平湯温泉 アルプス街道平湯内バス乗り場 着	あかんだな駐車場 着
○7:00	○7:25	○7:35
7:30	7:55	8:05
8:00	8:25	8:35
8:30	8:55	9:05
9:00	9:25	9:35
9:30	9:55	10:05
10:00	10:25	10:35
10:30	10:55	11:05
11:00	11:25	11:35
11:30	11:55	12:05
12:00	12:25	12:35
12:30	12:55	13:05
13:00	13:25	13:35
13:30	13:55	14:05
14:00	14:25	14:35
14:30	14:55	15:05
15:00	15:25	15:35
15:30	15:55	16:05
16:00	16:25	16:35
16:30	16:55	17:05
17:00	17:25	17:35
○17:30	○17:55	○18:05
○18:00	○18:25	○18:35

○印=春期(4月28日～5月6日)、夏期(7月14日～8月26日)運転

※上高地からのお帰りの際は、なるべく上高地バスターミナルからご乗車ください。  
混雑時は途中のバス停からご乗車できない場合がございます。

(引用: [https://www.nouhibus.co.jp/wp\\_rnw/wp-content/themes/nouhibus/routebus/takayama/timetable/kamikochi.pdf](https://www.nouhibus.co.jp/wp_rnw/wp-content/themes/nouhibus/routebus/takayama/timetable/kamikochi.pdf))

平湯温泉	6:55	7:35	8:30	9:25	9:30	10:00	10:30	11:30	11:30	12:30	12:40	13:30	14:30	14:40
ほおのき平	↓	7:51	8:46	↓	9:46	10:16	10:46	↓	11:46	12:46	↓	13:46	14:46	↓
高山濃飛バスセンター	7:51	8:36	9:31	10:15	10:31	11:01	11:31	12:20	12:31	13:31	13:30	14:31	15:31	15:30
平湯温泉	15:30	15:40	16:30	17:30	18:40									
ほおのき平	15:46	↓	16:46	17:46	↓									
高山濃飛バスセンター	16:31	16:30	17:31	18:31	19:30									

※平湯温泉で乗り換え

([https://www.nouhibus.co.jp/route\\_bus/kamikochi-line/#timetable](https://www.nouhibus.co.jp/route_bus/kamikochi-line/#timetable))



#### ④名古屋市～上高地

〈費用〉

- ・名鉄バスセンター発～上高地バスターミナル着(往路)...7,600円
- ・上高地バスセンター発～名鉄バスターミナル着(復路)...6,500円
- ・往復運賃...12,000円

※小児運賃は上記の大人運賃を折半し、10円単位に切り上げた額

[往路]

- ・名鉄バスセンター→(夜行バス)→上高地バスセンター

##### 【名古屋 → 上高地】

○ … 乗車停留所 ● … 降車停留所

	運転日	7/6より特定日運転
○	名鉄バスセンター	23:00
●	(ほおのき平※1)	翌朝 3:30
●	新穂高ロープウェイ	4:23
●	平湯バスターミナル	4:54
●	上高地バスターミナル	5:15

[復路]

- ・上高地バスセンター→名鉄バスセンター

##### 【上高地 → 名古屋】

○ … 乗車停留所 ● … 降車停留所

	運転日	7/7より特定日運転
○	上高地バスターミナル	16:30
○	平湯バスターミナル	16:55
		//
○	(ほおのき平)	17:10
●	名鉄バスセンター	21:20

(引用: <http://www.kamikochi.or.jp/access/direct-bus/>)

なお、上高地からの登山ルートには以下の3つがある。

#### 1. 上高地～徳沢～長堀尾根～蝶ヶ岳

尾根道。最初が急登。

登山:6時間40分、下山:5時間

#### 2. 上高地～徳沢～横尾～蝶ヶ岳

横尾まで平地。登りは直登のみ。

登山:7時間、下山:5時間40分

3. 上高地～徳本峠～(中村新道)～大滝山荘～蝶ヶ岳

樹林帯を抜けるコース。

登山:10時間 10分、下山:8時間 20分

出典(登山時間):山と高原地図「槍ヶ岳・穂高岳 上高地 北アルプス」

〈学生のモデルコース(学生は徳沢キャンプ場にてテント泊 or 徳沢ロッジ泊)〉

I. 名古屋市～松本駅～新島々駅～上高地～徳沢～長堀尾根～蝶ヶ岳

(初日)

7:10 名鉄バスセンター発(名鉄高速バス:始発)

10:37 松本バスターミナル着

12:09 松本駅発(新島々線)

12:39 新島々駅着

12:50 新島々駅発(シャトルバス、アルピコ交通バス)

13:55 上高地バスセンター着

14:00 上高地バスセンター発(徒歩)

16:00 徳沢キャンプ場着

(登山日)

7:30 徳沢キャンプ場発

7:40 徳沢登山口、登山開始

13:00 蝶ヶ岳ヒュッテ着

II. 名古屋市～松本市～沢渡～上高地～徳沢～長堀尾根～蝶ヶ岳

(初日)

7:00 吹上東 IC(名古屋高速→東名高速→中央自動車道→長野自動車道)

10:00 松本 IC

13:00 沢渡駐車場着(松本 IC から下道で約 1 時間)

13:10 さわんどバスターミナル発(アルピコ交通バス or タクシー)

13:40 上高地バスセンター着

13:45 上高地バスセンター発

15:45 徳沢キャンプ場着

(登山日)

7:30 徳沢キャンプ場発

7:40 徳沢登山口、登山開始

13:00 蝶ヶ岳ヒュッテ着

上高地報告 酒々井眞澄(代表)

1. 日時:平成 30 年 7 月 14 日(日)午前 11 時～午後 12 時 5 分

概要:古畑支配人様(徳沢ロッヂ)にお会いし平成 30 年 5 月 27 日の宿泊料金の条件を再確認した。また、上條支配人、上條社長(徳澤園)および日大徳沢診療所の原田智紀先生にお会いし診療所開所のご報告および学生交流等について再確認した。尚、**徳沢ロッヂ**の料金(通常の半額)は全ての参加スタッフに適用される(5 月 27 日学生向け視察報告書参照)。(徳沢ロッヂを徳澤園と間違えぬように注意!)

すべての参加者様におかれては、本日(7 月 16 日)配信の坪井運営委員長からのコメントをご一読いただければ幸いです。

2. 場所:

①徳沢ロッヂ:支配人

古畑 満様

〒390-1516 長野県松本市安曇 4470

TEL & FAX 0263-95-2526

E-mail furuhata@m-kamikouchi.jp

②徳澤園:支配人・専務取締役

上條 靖大様

〒390-1516 長野県松本市上高地

TEL 0263-95-2508 FAX 0263-95-2512

E-mail tokusawa-en@rouge.plala.or.jp

自宅 TEL 0263-39-2041 FAX 0263-39-2041

③日本大学医学部徳沢診療所:原田智紀医師(日本大学医学部徳沢診療所、日本大学医学部山岳部監督、日本大学医学部機能形態学系生体構造医学分野)

徳澤園のとなり(5 月 27 日学生向け視察報告書参照)

診療所 TEL: 0263-95-2283

内容:上記概要とおり。

以上

## 2018年度 会計収支決算報告

2018年度(2017年11月1日～2018年10月31日)蝶ヶ岳ボランティア診療班の収支決算は以下のとおりになりましたので報告いたします。

第21期会計：梅田翔梧

収入の部		支出の部		(内 H29年度 大学支援金)	(内 H30年度 大学支援金)
前年度繰越金	4,505,903	医薬品費	86,262		(86,262)
(内大学からの支援金)	(132,782)	医療機器費	96,796		
募金	69,960	内訳 (診療用備品費 診療消耗品費等)	58,256		(44,700)
診療寄付	43,000		38,540		(34,074)
寄付	879,551	部室備品費	20,938		
長野県山岳遭難防止対策協会	123,000	一般消耗品費	106,679		
大学からの支援金 (2018.4.1～2019.3.31)	418,000	山用品費	384,662		
2018年度医学会助成金	200,000	保険料	141,651		(141,651)
同行者宿泊経費	7,000	通信・運搬費	128,377		
松本市山岳診療所報償費	200,000	宿泊経費	256,000		
瑞友会 (名古屋市立大学医学部同窓会)	100,000	学術活動費	93,847		
銀行利息	4	運営活動費	59,843		
		積立金	50,000		
		2017年度報告書印刷費	560,328	(132,782)	
		予備費	16,200		
(年度内合計)	(2,040,515)	(年度内合計)	(2,001,583)	(132,782)	(306,687)
(年度内差損)	(38,932)				
		次年度繰越金	4,544,835		(111,313)
	6,546,418		6,546,418	(132,782)	(418,000)

備考)

- 1, 同行者宿泊経費: 班員が家族等を連れて入山し学生と一緒に食事・宿泊した場合は1人1泊1,000円納入  
ヒュッテで食事・宿泊した場合は1人1泊5,000円納入
- 2, 部室用備品費: 含)パソコン修理費
- 3, 山用品費: 含)新入生貸し出し用レインウェア上下12着、ケストレル
- 4, 保険料: 延べ118人分。1人当たりの保険料増額のため予算超過
- 5, 学術活動費: 含)登山医学会経費、講演会謝礼
- 6, 運営活動費: 含)卒業生訪問交通費、挨拶回り経費、振込手数料負担分
- 7, 2017年度報告書印刷費 560,328円のうち、132,782円を大学支援金により支払。20周年記念特集ページのため増額
- 8, 宿泊経費: 含)徳沢ロッジ宿泊補助費
- 9, 予備費: 含)葬儀用献花費
- 10, 診療消耗品費等: 2018年度中に水銀血圧計の処理ができなかったため、2019年度に処理予定

### 2018年度 会計監査報告

2018年11月9日、会計帳簿、現金、郵便振替受払通知書、領収書などの監査を行い、決算報告に誤りの無いことを確認しました。

第21期会計監査：

赤津裕康

# スタッフ派遣日程表

開所期間:2018年7月16日(月)~8月19日(日)

日程	学生			医師	看護師	教職員等
7/14(土)	準備班			酒々井眞澄		松本晴年(薬)/早川智章(薬)
7/15(日)	準備班			酒々井眞澄/村上里奈	明石恵子/鈴木美帆	松本晴年(薬)/早川智章(薬) 桜井春香(理)
7/16(月)	準備班			酒々井眞澄/村上里奈 早川純午(+1)/遠山淳子	明石恵子/鈴木美帆	松本晴年(薬)/桜井春香(理)
7/17(火)				早川純午(+1)/遠山淳子	鈴木美帆	
7/18(水)				早川純午(+1)/遠山淳子		
7/19(木)				間瀬則文/清川達矢	福士博之	幸脇正明(薬)
7/20(金)				間瀬則文/清川達矢	福士博之/愛甲ゆかり	幸脇正明(薬)/大槻愛(救)
7/21(土)				間瀬則文/清川達矢	福士博之/愛甲ゆかり 黒澤昌洋/布目雅博	幸脇正明(薬)/大槻愛(救)
7/22(日)				間瀬則文/清川達矢	黒澤昌洋/布目雅博 福士博之	幸脇正明(薬)
7/23(月)				岡嶋一樹	黒澤昌洋/布目雅博	水野翔太(院)/梅本銀河(院)
7/24(火)				岡嶋一樹	位田あゆみ/佐々木春華 伊芸洋子	水野翔太(院)/梅本銀河(院)
7/25(水)				岡嶋一樹/坂田晴耶	位田あゆみ/佐々木春華 森まりか/伊芸洋子	水野翔太(院)/梅本銀河(院)
7/26(木)				坂田晴耶	位田あゆみ/佐々木春華 森まりか/伊芸洋子	水野翔太(院)/梅本銀河(院)
7/27(金)	臨時班1班			坂田晴耶	森まりか 西垣萌/上田衣理	水野翔太(院)/梅本銀河(院) 佐々木秀志(救)
7/28(土)	臨時班1班			坂口秀弘/今村篤	西垣萌/上田衣理	佐々木秀志(救)
7/29(日)	臨時班1班			坂口秀弘/下方征 今村篤	西垣萌/上田衣理	
7/30(月)	臨時班1班	1班		下方征/中川隆		木下拓也(救)/若島芳介(救)
7/31(火)		1班		下方征/中川隆 上家和中		木下拓也(救)/若島芳介(救)
8/1(水)		1班	2班	上家和中/中川隆		木下拓也(救)/若島芳介(救)
8/2(木)		1班	2班	上家和中		
8/3(金)	3班		2班	上家和中/津田洋幸		黒野正裕(事務)/小熊孔明(検)
8/4(土)	3班		2班	津田洋幸/松浦武志(+1)		黒野正裕(事務)/小熊孔明(検)
8/5(日)	3班	4班	2班	津田洋幸/松浦武志(+1) 浅井清文		黒野正裕(事務)/小熊孔明(検)
8/6(月)	3班	4班		浅井清文/薮隆文(+1)	中村大輔(+3)	
8/7(火)	3班	4班	5班	薮隆文(+1)	中村大輔(+3)	
8/8(水)		4班	5班	小笠原治/青木智史	中村大輔(+3)	
8/9(木)	6班		5班	小笠原治/青木智史 坪内希親	宮本彰子/桑田あゆみ	
8/10(金)	6班	7班	5班	坪内希親/青木康博	宮本彰子/桑田あゆみ	
8/11(土)	6班	7班		坪内希親/青木康博 加藤彰寿/杉山智美	宮本彰子/桑田あゆみ 片桐正恵	
8/12(日)	6班	7班		青木康博 加藤彰寿/杉山智美	片桐正恵	藤堂庫治(理)
8/13(月)	6班	7班	8班	青木康博/三浦裕		藤堂庫治(理)
8/14(火)	臨時班2班	7班	8班	三浦裕		藤堂庫治(理)
8/15(水)	9班	臨時班2班	8班	三浦裕/武田多一		
8/16(木)	9班	10班	8班	武田多一		
8/17(金)	9班	10班		武田多一/高山悟 前田洋平/小濱和貴		
8/18(土)	9班	10班	整理班	高山悟/前田洋平 小濱和貴/坪井謙	浦川陽子/福島弓子	
8/19(日)		10班	整理班	高山悟/前田洋平 小濱和貴/坪井謙	浦川陽子/福島弓子	
8/20(月)		10班	整理班			河辺真由美(薬)(+1)
8/21(火)			整理班			河辺真由美(薬)(+1)

(薬):薬剤師 (理):理学療法士 (救):救急救命士 (検):臨床検査技師

(事務):大学事務職 (院):大学院生 (+):同伴者人数

- ・伊芸洋子看護師は一身上の都合により登山を中止しました。
- ・台風接近に伴い、西垣萌看護師、上田衣理看護師、佐々木秀志救命士、坂口秀弘医師、今村篤医師、小笠原治医師、青木智史医師、坪内希親医師、宮本彰子看護師、桑田あゆみ看護師は登山を断念しました。
- ・台風接近に伴い、中川隆医師、木下拓也救命士、若島芳介救命士は登山を1日延期しました。
- ・台風接近に伴い、中村大輔看護師と同行者3名は下山を1日早めました。
- ・河辺真由美薬剤師と同行者1名は一身上の都合により登山を断念しました。

## 学生登山隊日程表

### 【正規班】

班	日程	リーダー	サブリーダー	班員	班員	班員
準備班	7/14～7/16	M5羽柴文貴	M2田中秀和	M4加藤圭	N2村田香鈴	
1班	7/30～8/2	M6日置啓介	M6小山絢子	M5服部正隆	N4白木伶奈	
2班	8/1～8/5	M5吉田理恵	M3小林礼実	M6内藤裕	M3畑中景	
3班	8/3～8/7	M6神代崇一郎	M3福富妃菜	P6村田彩乃	M5佐藤椋	M5中島晴菜
4班	8/5～8/8	M5加藤悠太	M4船坂珠里	M4石田宗紀	M4桑江優稀乃	
5班	8/7～8/10	M4吉田佐和子	M2永野有紗	M4岩城昂佑	M1藤原昂佑	M1松本史也
6班	8/9～8/13	M5吉田匡伸	M3谷合美南	M2井後咲菜	N1浅野今日子	M1土屋佑太
7班	8/10～8/14	M5瀬古健登	M2中野聖也	N2坂井芙美花	M1三鬼龍馬	N1小原流美香
8班	8/13～8/16	P4堀優華	M2岩瀬正之	M3井上右喬	M1安藤有希乃	P1戸室幸太郎
9班	8/15～8/18	M4成瀬兼人	M2梅村祐美	N3茅野三葉	M1北野暁也	N1萩智佳子
10班	8/16～8/20	P4駒沢穂乃佳	M3藤永拓実	N2藤原ももか	M1安藤魁星	N1増田梨沙
整理班	8/18～8/21	M4鴻野かおり	M2浅田貴登	M3梅田翔梧	M1神田伸一	M1島田里奈
臨時班1班	7/27～7/30	M6中島亮	M6向井彩	M6橋本陽	M6富田早織	M6佐々木謙
臨時班2班	8/14～8/15	M5羽柴文貴	N2浅野友理奈	M1開田晃生	N1横山真由	

M:医学部 N:看護学部 P:薬学部

### 【ポーター】

7/14-7/16 M6 杉山寛明、M5 眞嶋泉、M4 鬼頭陽平、N2 高田遼(準備班ポーター)

7/25-7/27 M6 伊上大毅、M6 野田遥加

7/28-7/29 M6 奥田佳介

8/19-8/21 M6 井村尚斗、M4 服部滉平、N2 古道万誉、M1 古川省三、M1 大藏愛里(整理班ポーター)

- ・台風接近に伴い、正規班 5 班、臨時班 1 班は登山を断念しました。
- ・台風接近に伴い、正規班 1 班、正規班 7 班は登山を 1 日延期しました。
- ・台風接近に伴い、正規班 4 班、整理班、整理班ポーターは下山を 1 日早めました。
- ・台風接近に伴い、正規班 6 班は登山を 2 日延期しました。
- ・正規班 10 班 N2 藤原ももかは一身上の都合により登山を断念しました。
- ・台風接近に伴い、ポーターM6 奥田は登山を断念しました。

学生用カルテ

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 様 性別 男・女

生年月日 大正・昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 歳

本日の宿泊先……テント場 / ヒュッテ内(部屋名 \_\_\_\_\_)

住所  
(〒 \_\_\_\_\_ )

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 職業 \_\_\_\_\_

記載者 \_\_\_\_\_

来診日時 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
\_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 (24時間表記)

備考/使用薬剤・衛生材料

**主訴**

**現病歴**

**行動歴**

前日の睡眠 \_\_\_\_\_ 時間

入山 \_\_\_\_\_ 日目/全行程 \_\_\_\_\_ 日

時刻 場所

登山時間 \_\_\_\_\_ 時間

出発予定時刻 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

今後の予定 下山 / 縦走 ( \_\_\_\_\_ 方面)

水分量 \_\_\_\_\_ mL ( \_\_\_\_\_ )

\_\_\_\_\_ mL ( \_\_\_\_\_ )

食欲/食事

**アレルギー**

(薬物・食物・金属等)

**服薬歴**

**既往歴**

(高山病・登山中の外傷など)

(手術歴・健診の結果)

**生活習慣**

喫煙 \_\_\_\_\_ 本/日 \_\_\_\_\_ 年 飲酒 \_\_\_\_\_ /日

登山歴 \_\_\_\_\_ 年 1年に \_\_\_\_\_ 回 週に ( \_\_\_\_\_ ) 日程度運動する

**AMSスコア**

頭痛	消化器	疲労感	めまい	計	意識	歩行テスト	浮腫	計	総計

飲酒状況

排便/排尿

医師用カルテ

現病歴および身体所見 ふりがな 患者氏名 \_\_\_\_\_

処置・処方等

薬剤等の準備者 \_\_\_\_\_ 調製者 \_\_\_\_\_ 医師確認  (レ点記入)

(使用薬剤、衛生材料を記載、医師の処方後に準備者と調製者はサインを記入、医師のチェックを受けてください)

検査結果 時刻 \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分 \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分 \_\_\_\_\_時\_\_\_\_分

SpO<sub>2</sub> (%) …………… \_\_\_\_\_

O<sub>2</sub> 投与流量 …… \_\_\_\_\_(L/min) \_\_\_\_\_(L/min) \_\_\_\_\_(L/min)

O<sub>2</sub> 投与時間 …… \_\_\_\_\_分 \_\_\_\_\_分 \_\_\_\_\_分

転帰

診断名 \_\_\_\_\_

医師名 (サイン) \_\_\_\_\_

<b>Vital sign</b>	____時____分 ( )
SpO <sub>2</sub> (%)	
脈拍数 (回/分)	
血圧 (mmHg)	/
体温 (°C)	
呼吸数 (回/分)	

<b>血糖検査</b>	____時____分 ( )
血糖値(mg/dL)	

<b>尿検査</b>	____時____分 ( )
白血球	
ウロビリノーゲン	
蛋白質	
pH	
潜血	
比重	
ケトン体	
ブドウ糖	





# 診療記録

No.	日付	時刻	性別	年齢	診断名	使用薬剤・衛生材料
18-001	7月14日	19:10	男	43	電解質異常	アルウエットi×1、OS-1(粉末)×3
18-002	7月14日	19:33	女	65	高山病(軽症)	アルウエットi×1
18-003	7月14日	20:40	男	68	右上腕表皮剥離、 右膝挫創	テルモシリンジ(50ml)×1、ニトリル手袋M×4、ニトリル手袋S×4、ガーゼ小(滅菌 メトル3号)×1、処置用ピンセット×1、優肌パーミロール、滅菌メディガーゼ(4つ 折)×1、ステンレス膿盆300mm×1、アルウエットi×2、生理食塩液PL「フソー」 100mL×1、注射針(18G)×1、テルモシリンジカテーテルチップ50ml×1
18-004	7月15日	6:05	男	64	虫刺症	リンデロンVG軟膏0.12%5g、綿棒×1、アルウエットi×1
18-005	7月15日	6:45	女		虫刺症	リンデロンVG軟膏0.12%5g、綿棒×2、タリオン錠10mg×2、アルウエットi×1
18-006	7月15日	6:45	男	47	虫刺症	アルウエットi×1、綿棒×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g、タリオン錠10mg×2
18-007	7月15日	12:20	女	58	高山病(軽症)	アルウエットi×1、OS-1(粉末)×2
18-008	7月15日	16:45	男	32	右大腿四頭筋腱付着部炎	アルウエットi×1
18-009	7月15日	17:15	女	48	虫刺症	アルウエットi×1、綿棒×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g、タリオン錠10mg×3
18-010	7月15日	17:40	女	74	右眼瞼浮腫	アルウエットi×1
18-011	7月15日	17:47	女	51	虫刺症	アルウエットi×2、綿棒×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g
18-012	7月15日	18:15	男	10	右眼瞼浮腫、虫刺症	アルウエットi×2
18-013	7月15日	18:50	男	52	高山病(軽症)	アルウエットi×1
18-014	7月15日	20:20	女	60	高山病(軽症)	アルウエットi×1
18-015	7月16日	7:30	女	57	虫刺症	アルウエットi×1、綿棒×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g
18-016	7月16日	15:10	女	54	虫刺症	アルウエットi×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g、綿棒×1
18-017	7月16日	17:10	男	34	靴擦れ	アルウエットi×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g、注射針(23G)×1、優肌パーミ ロール、デルマエイド、綿棒×1
18-018	7月16日	18:00	女	40	頭痛	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1
18-019	7月16日	18:00	女	42	軽度高山病	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1
18-020	7月16日	18:50	男	35	高山病	アルウエットi×1、プリンペラン注射液10mg×1、KN3号輸液500mL×1、注射 針(21G)×1、サーフロー針(22G)×1、テルモシリンジ(10ml)×1、テルフェー ジョン三方活栓×1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJYA841L(エア ー針付)×1、オキシジェンカニューラ大人用フレアコネクタータイプ×1、バンドエ イド×1
18-021	7月16日	18:50	女	65	軽度高山病、脱水傾向	カロナール錠300mg×2、ナウゼリンOD錠10mg×1
18-022	7月17日	5:40	女	61	虫刺症	リンデロンVG軟膏0.12%5g、綿棒×1
18-023	7月17日	18:40	男	69	筋クランプ	芍薬甘草湯×2
18-024	7月19日	不明	女	不明	右膝擦過傷	ゲンタシン軟膏0.1%10g、バンドエイド×1
18-025	7月20日	6:10	不明	不明	頭痛	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1
18-026	7月20日	不明	男	77	下唇切創、右手切創	ゲンタシン軟膏0.1%10g、デルマエイド
18-027	7月20日	16:10	男	70	左臀部打撲	セルタッチテープ70×2
(再診)	7月20日	23:00	男	70	左臀部皮下出血	ボルタレンサボ25mg×1
(再々診)	7月21日	6:00	男	70		ボルタレンサボ25mg×1、ロキソニン錠60mg×1
18-028	7月20日	17:50	女	70	便秘	アルウエットi×1、キシロカインゼリー2%30mL、ゲンタシン軟膏0.1%10g
18-030	7月21日	13:55	女	61	脱水、こむらがえり	アルウエットi×1、芍薬甘草湯×1、KN3号輸液500mL×1、ハルトマン輸液 pH8「NP」500mL×1、テルフェージョン三方活栓×1、サフィード延長チューブ ×1、JMS輸液セットJYA841L(エアークン付)×1、注射針(22G)×1、針刺し防 止機能付きサーフ ロー針(22G)×1
18-031	7月21日	15:40	女	36	高山病	アルウエットi×1、オキシジェンカニューラ大人用フレアコネクタータイプ×1
18-032	7月21日	19:35	女	61	こむらがえり	アルウエットi×1、セルタッチテープ70×2、芍薬甘草湯×1
18-033	7月21日	19:40	女	52	こむらがえり	アルウエットi×1、セルタッチテープ70×2、芍薬甘草湯×1
18-034	7月22日	5:55	女	42	右股関節痛	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1、セルタッチテープ70×1
18-035	7月22日	6:20	男	68	右第5指打撲	アルウエットi×1、セルタッチテープ70×1
18-036	7月23日	15:55	男	68	靴擦れ	アルウエットi×1
(再診)	7月24日	5:13	男	68	靴擦れ	優肌パーミロール、バンドエイド×2
18-037	7月23日	17:22	男	83	こむらがえり	アルウエットi×1
18-038	7月23日	19:50	女	65	消化不良	アルウエットi×1、ナウゼリンOD錠10mg×1
18-039	7月23日	20:00	女	62	足痛	アルウエットi×1
18-040	7月24日	3:02	女	63	虫刺症(下口唇)	アルウエットi×1、デキササルチン口腔用軟膏1mg/g、舌圧子×1
18-041	7月24日	7:25	男	70	気管支喘息	アルウエットi×1
18-042	7月24日	13:53	男	56	虫刺症	アルウエットi×1
18-043	7月24日	17:05	女	71	脱水	アルウエットi×1
18-044	7月24日	17:32	女	8	アレルギー鼻炎	アルウエットi×1、タリオン錠10mg×1
18-045	7月24日	17:35	男	64	脱水、高血圧	アルウエットi×1
18-046	7月24日	17:45	男	73	高山病	アルウエットi×1
18-047	7月24日	20:10	男	53	偏頭痛	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×2
18-048	7月24日	20:20	男	69	皮下浮腫	アルウエットi×1、セルタッチテープ70×1
18-049	7月25日	14:00	女	64	軽度高山病	アルウエットi×1
(再診)	7月25日	17:10	女	64	高山病	アルウエットi×1、プリンペラン注射液10mg×1、ハルトマン液pH:8「HD」 500mL×2、OS-1×1、テルモシリンジ(20ml)×1、テルフェージョン三方活栓× 1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJYA841L(エアークン付)×1、舌 圧子×1、注射針(18G)×1、針刺し防止機能付きサーフロー針(22G)×2、オキシ ジェンカニューラ大人用フレアコネクタータイプ×1、ホワイトテープ25mm アルウエットi×2
18-050	7月25日	15:30	男	8	高山病	アルウエットi×2
(再診)	7月25日	18:45	男	8	高山病	アルウエットi×1、ナウゼリンOD錠10mg×1
18-051	7月25日	15:27	男	14	両手掌、右膝擦過傷	アルウエットi×1、ガーゼ小(滅菌メトル3号)×1、スワブスティック×1、ホワイト テープ25mm
18-052	7月25日	16:10	女	35	脱水症、軽度熱中症	アルウエットi×1
18-053	7月25日	16:30	女	15-16	軽度低体温症、脱水症	アルウエットi×1
18-054	7月25日	17:15	男	44	軽度高山病	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1
18-055	7月25日	18:00	女	67	左前腕筋疲労	アルウエットi×1、セルタッチテープ70×1
18-056	7月25日	18:20	男	14	高山病	アルウエットi×2、ロキソニン錠60mg×1
18-057	7月25日	19:45	男	36	軽度高山病	アルウエットi×1、ロキソニン錠60mg×1
18-058	7月25日	20:08	女	17	アレルギー性鼻炎、ハウス ダスト	アルウエットi×1

18-059	7月25日	19:20	女	46	高山病、貧血	アルウエッティ×1、プリンペラン注射液10mg×1、ハルトマン輸液pH8「NP」500mL×1、OS-1×1、テルモシリンジ(10ml)×1、テルフェーション三方活栓×1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJYA841L(エアークン付)×1、優肌パーミロール、ニトリル手袋M×3、注射針(18G)×2、針刺し防止機能付きサーフロー針(22G)×2
18-060	7月25日	23:15	女	50	末梢性めまい症	アルウエッティ×1、ナウゼリンOD錠10mg×1
(再診)	7月26日	6:30	女	50	末梢性めまい症	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×2、プリンペラン注射液10mg×1、メイロン7%20ml×2、ハルトマン輸液pH8「NP」500mL×1、テルモシリンジ(10ml)×1、テルモシリンジ(50ml)×1、テルフェーション三方活栓×1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJYA841L(エアークン付)×1、注射針(18G)×2、針刺し防止機能付きサーフロー針(22G)×1
(再々診)	7月27日	5:30	女	50	末梢性めまい症	アルウエッティ×1、プリンペラン注射液10mg×1、メイロン7%20ml×2、ハルトマン輸液pH8「NP」500mL×1、テルモシリンジ(10ml)×1、テルモシリンジ(50ml)×1、テルフェーション三方活栓×1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJYA841L(エアークン付)×1、優肌パーミロール、注射針(18G)×1、針刺し防止機能付きサーフロー針(22G)×3
18-061	7月26日	7:10	女	15	急性上気道炎	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×2、OS-1×1
18-062	7月26日	14:00	男	19	腱鞘炎	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×1
18-063	7月26日	14:43	男	15	乾燥、軽度日焼け	アルウエッティ×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g
18-064	7月26日	17:30	女	72	軽度熱中症、脱水症	アルウエッティ×1
18-065	7月26日	17:40	女	48	軽度高山病、緊張性頭痛	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×1、ナウゼリンOD錠10mg×1
18-066	7月26日	19:10	男	74	筋疲労	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×2、セルタッチテープ70×2
18-067	7月26日	21:00	女	47	軽度高山病	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×1
18-068	7月31日	17:55	男	34	高山病	ロキソニン錠60mg×2、アルウエッティ×1
18-069	8月1日	19:43	男	64	右靴擦、左足圧迫による疼痛	優肌パーミロール×1、アルウエッティ×1
18-070	8月1日	19:45	女	68	両側大腿部のつり、疲労	アルウエッティ×1
18-071	8月1日	13:30	女	16	高山病	アルウエッティ×1
18-072	8月2日	17:45	女	62	両側大腿部のつり	無し
18-073	8月3日	15:30	男	73	両膝部挫創、左手指挫創	アルウエッティ×1、ガーゼ小(滅菌メル3号)×2、優肌パーミロール、スワブスティック×1、バンドエイド×5、ホワイトテープ、テーピング(伸縮性)、金属ピンセット(滅菌)×1
18-074	8月3日	15:50	女	67	右手首腱鞘炎	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×0.5、テーピング(伸縮性)、保冷剤
18-075	8月3日	15:55	女	61	右足首外傷圧迫による腫脹	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×0.5、保冷剤
18-076	8月3日	16:30	女	67	右眼瞼打撲、皮下出血	アルウエッティ×1、保冷剤
18-077	8月3日	17:00	女	55	虫刺症(左手)、右足首捻挫	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×1、保冷剤
18-078	8月3日	19:00	男	69	手足指のこむら返り	無し
18-079	8月3日	19:20	男	59	靴擦れ	アルウエッティ×1、テーピング(伸縮性)、ガーゼ小(滅菌メル3号)×2、バンドエイド×1
18-080	8月3日	19:15	男	64	軽度高山病	アルウエッティ×1
18-081	8月3日	20:15	女	71	軽度高山病	アルウエッティ×1
18-082	8月4日	16:52	男	38	軽度高山病	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×1
18-083	8月4日	17:16	女	57	睡眠不足、疲労	アルウエッティ×1、ノンスリップシューズ×1
18-084	8月4日	17:22	女	62	半月板損傷	アルウエッティ×1、テーピング(非伸縮性)、ロキソニン錠60mg×2、ノンスリップシューズ×1、保冷剤×1
18-085	8月4日	18:15	男	69	脱水	アルウエッティ×1、ノンスリップシューズ×1、ナウゼリンOD錠10mg×1
18-086	8月4日	19:05	女	49	虫刺症	アルウエッティ×1、リンデロンVG軟膏0.12%5g、舌圧子×1
18-087	8月4日	19:00	男	42	高山病	アルウエッティ×1、カロナール錠300mg×1
18-088	8月5日	12:10	男	64	高山病	アルウエッティ×1、ノンスリップシューズ×1
18-089	8月5日	15:10	女	55	左膝擦過傷	優肌パーミロール×1、デルマエイド×1、アルウエッティ×1
18-090	8月5日	15:20	女	51	左下腿前部の打撲	セルタッチテープ×1、ゴージョー×1、伸縮性筒状ネット包帯 膝、脚×1、アルウエッティ×1
18-091	8月5日	16:45	男	42	高山病(軽度)	アルウエッティ×1
18-092	8月5日	17:55	男	10	高山病	ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1、カロナール錠300mg×1、ラミネートコップ×1、アルウエッティ×1
18-093	8月5日	20:44	男	66	右膝関節痛	セルタッチテープ×1、アルウエッティ×1
18-094	8月5日	20:55	女	33	左第4指爪床出血	セルタッチテープ×1、伸縮性筒状ネット包帯 膝、脚×1、アルウエッティ×1
18-095	8月5日	21:00	女	21	感冒	カロナール錠300mg×4、KN3号輸液×1、注射針23G×1、サフィード延長チューブ×1、JMS輸液セットJY-A841L(エアークン付)×1、優肌パーミロール×1、アルウエッティ×1、ノンスリップシューズ×1、ホワイトテープ25mm×1
(再診)	8月7日	5:10	女	21	軽度腫れ、風邪疑い	カロナール錠300mg×6、ピオフェルミンR錠×6
18-096	8月6日	5:10	女	19	上気道炎	ロキソニン錠60mg×3、タリオン錠10mg×3、舌圧子×1、アルウエッティ×1
18-097	8月6日	17:15	女	65	軽度高山病	アルウエッティ×1
18-098	8月6日	17:45	女	56	軽度腫れ、疲労	カロナール錠300mg×3、アルウエッティ×1
18-099	8月10日	14:00	女	42	左前脛骨部打撲擦過	アルウエッティ×1、ガーゼ小(滅菌メル3号)×1、生理食塩水100ml×1
18-100	8月10日	16:20	男	74	手背表皮剥脱	アルウエッティ×1、ガーゼ小(滅菌メル3号)×1、注射針18G×1、生理食塩水100ml×1
18-102	8月10日	20:20	女	36	疲労、軽度高山病	アルウエッティ×1、舌圧子×1
18-101	8月11日	13:30	男	52	左足首外側靭帯損傷	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×1
18-103	8月11日	14:38	女	28	高山病疑い、脱水症	アルウエッティ×5、ナウゼリンOD錠10mg×3、生理食塩水500ml×1、ニトリル手袋M(250枚)×1、ニトリル手袋S(250枚)×4、サーフロー針22G×1、針刺し防止機能付きサーフロー針22G×1、テルフェーション三方活栓×1、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1
18-104	8月11日	17:15	女	50	高山病疑い	アルウエッティ×1、ナウゼリンOD錠10mg×2
18-105	8月11日	20:33	男	34	感冒又は熱中症疑い	アルウエッティ×1、舌圧子×1、カロナール錠300mg、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1、ニトリル手袋S(250枚)×1
18-106	8月11日	22:18	女	19	虫刺症疑い	アルウエッティ×1、舌圧子×1、ガーゼ小(滅菌メル3号)×1、リンデロンVG軟膏×1、ホワイトテープ
18-107	8月12日	5:40	女	37	感染症の疑い	アルウエッティ×1、舌圧子×2、ニトリル手袋S×2、クワビト点眼液1.5%(5ml)スワブスティック×1、ゴージョー60ml、優肌パーミロール、アルウエッティ×2、処置用ハサミ×1、金属ピンセット(滅菌)×2、注射針(18G)×2、生理食塩液PL「フソー」100mL×1、ガーゼ小(滅菌メル3号)×1、ステリスリップ×2
18-109	8月12日	14:30	女	18	右環指挫創	

18-110	8月12日	15:10	男	74	右長母指屈筋痛	アルウエッティ×1
18-111	8月12日	16:10	女	16	疲労	舌圧子×2、アルウエッティ×2、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSGL×1、ニトリル手袋M×2
18-112	8月12日	18:30	男	40	こむら返り	芍薬甘草湯×1、アルウエッティ×1
18-113	8月13日	14:00	女	70	脱水症	アルウエッティ×1、ニトリル手袋M×4、検尿テープ×1、ラミネートコップ×1
18-114	8月13日	16:36	男	38	筋肉痛	セルタッチテープ70×2、アルウエッティ×1
18-115	8月13日	16:36	男	59	マダニ咬症	アルウエッティ×4、ケアリープ×1、注射針21G×1、処置用ピンセット×1、ニトリル手袋M×1
18-116	8月14日	5:35	男	19	擦過傷	アルウエッティ×1、優肌バーミロール
18-117	8月14日	6:00	女	58	頭痛、肩こり	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×1
18-118	8月14日	8:30	女	47	靴擦れ	アルウエッティ×1、優肌バーミロール、テーピングテープ(非伸縮性)
18-119	8月14日	14:50	女	27	筋肉痛又は肉離れ疑い	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1、ニトリル手袋M(250枚)×4
18-120	8月14日	14:20	女	42	擦過傷	アルウエッティ×1、優肌バーミロール、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1、ニトリル手袋M(250枚)×3、
18-121	8月14日	15:05	女	49	虫刺症	アルウエッティ×1、タリオン錠10mg×1、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSG-L(検尿テープ)×1、ニトリル手袋M(250枚)×5、綿棒×1
18-122	8月15日	0:40	男	55	筋緊張性頭痛、脱水症	アルウエッティ×1、ロキソニン錠60mg×1、ニトリル手袋M×4、ラミネートコップ×1、ウロラプスティックスSGL×2
18-123	8月15日	15:00	女	55	高山病	オキシジエンカニューラ大人用フレアコネクタータイプ×1、アルウエッティ×1、カロナール錠300mg×2、ナウゼリンOD錠10mg×2、ステンレス膳盆300mm×1
18-124	8月15日	15:48	男	20	高山病、SAS疑い	アルウエッティ×2、カロナール錠300mg×2、ナウゼリンOD錠10mg×2
18-125	8月15日	18:52	女	47	右膝捻挫	アルウエッティ×1、テーピング(伸縮性)×(0.1+0.9)
18-126	8月16日	16:00	男	17	高山病、手指趾チアノーゼ	オキシジエンカニューラ大人用フレアコネクタータイプ×1、アルウエッティ×1、カロナール錠300mg×2、ナウゼリンOD錠10mg×2、酸素ボンベA
18-127	8月17日	16:40	男	13	高山病	カロナール錠300mg×2、アルウエッティ×1
18-128	8月17日	16:40	男	44	高山病	カロナール錠300mg×2、アルウエッティ×1
18-129	8月17日	17:21	男	9	高山病	カロナール錠300mg×2、アルウエッティ×1
18-130	8月17日	18:30	女	64	高山病	アルウエッティ×1
18-131	8月17日	20:10	男	57	右肩こり	セルタッチテープ70×1、アルウエッティ×1
18-132	8月18日	9:50	男	52	右拇指爪周囲炎	アルウエッティ×1、セフカペンピボキシル錠100mg×3
18-133	8月18日	13:26	女	59	アキレス腱炎	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×2
18-134	8月18日	16:18	女	56	高山病・筋緊張性頭痛	アルウエッティ×1、セルタッチテープ70×2
18-135	8月18日	16:52	女	73	熱中症	アルウエッティ×1、ナウゼリンOD錠10mg×2
18-136	8月19日	7:25	男	33	右足関節捻挫	アルウエッティ×1、キネシオテープ5cm×25cm(看護師持参)×3

## 2018年度使用薬剤等集計

### A. 薬剤

	薬品種類	薬品名	単位	初期値	発注点	開所時	総使用数	使用日数	補給数	補給回数	2015年	2016年	2017年
A-1	内服薬	ブスコパン錠10mg	T	10	5	10	0	0	0	0	1	0	0
A-2	内服薬	ロキソニン錠60mg	T	70	30	73	27	12	0	0	45	18	24
A-6	内服薬	ホスミン錠500	T	30	20	30	0	0	0	0	6	0	0
A-7	内服薬	ダイアモックス錠250mg	T	20	8	20	2	1	0	0	0	8	0
A-9	内服薬	ニトロペン舌下錠0.3mg	T	10	5	10	0	0	0	0	0	1	0
A-11	内服薬	プルゼニド錠12mg	T	20	10	20	0	0	0	0	0	0	0
A-14	注射薬	プリンペラン注射液10mg	A	15	8	15	5	3	0	0	5	3	5
A-15	注射薬	ラシックス注20mg	A	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0
A-16	注射薬	セルシン注射液10mg	A	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0
A-17	注射薬	ソル・コーテフ注射用100mg	本	10	5	10	0	0	0	0	0	1	0
A-19	注射薬	ネオフィリン注250mg	A	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0
A-21	注射薬	アミカマイシン注射液100mg	A	8	5	8	0	0	0	0	0	0	0
A-22	注射薬	ブドウ糖注50%(20mL)PL	本	20	8	23	0	0	0	0	1	3	9
A-24	注射薬	グリボーゼ注(300ml)	本	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0
A-25	注射薬	キシロカイン注ボリアンプ1%10mL	本	9	5	10	0	0	0	0	0	2	0
A-28	注射薬	ペルジピン注射液10mg10mL	A	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0
A-30	注射薬	ホスミンS静注用2g	本	5	3	8	0	0	0	0	0	0	0
A-31	注射薬	生理食塩液PL「フソー」100mL	本	20	8	5	3	2	0	0	10	7	5
A-32	外用薬	ボルタレンサポ25mg	T	10	5	30	2	1	0	0	0	0	0
A-33	外用薬	リンデロン-VG軟膏0.12%5g	本	15	5	10	2	1	0	0	4.5	2	1.5
A-34	外用薬	デキサルチン口腔用軟膏1mg/g 5g/本	本	5	3	15.5	1	1	0	0	0	1	0
A-35	外用薬	ゲンタシン軟膏0.1% 10g	本	10	5	5	0	0	0	0	2.5	0	0.5
A-36	外用薬	キシロカインゼリー2% 30mL	本	5	3	10	0.5	1	0	0	0	0	0
A-44	消毒液	消毒用エタノールIP「ケンエー」	本	2	1	5	0	0	0	0	0	0.5	0.5
A-48	医療材料	ウロラプスティックスSG-L (検尿テープ)	瓶	2	1	2	0	0	0	0	0.5	0.5	0.5
A-49	注射薬	ドパミン塩酸塩点滴静注100mg5mL 「アイロム」	A	8	1	2	0	0	0	0	0	0	0
A-50	医療材料	血糖試験測定チップ (メディセーフ用)	箱	2	1	8	0	0	0	0	0	0.5	0
A-51	医療材料	採血用穿刺針 (メディセーフファインタッチ用)	箱	1.5	1	1.5	0	0	0	0	0	0.5	0
A-53	注射薬	アデホス-Lコーワ注20mg	A	10	5	1.5	0	0	0	0	0	0	0
A-54	内服薬	カロナール錠300	T	70	30	10	30	8	0	0	16	43	63
A-55	注射薬	KN3号輸液(500mL袋)	本	20	10	75	3	3	0	0	4	2	6
A-56	注射薬	アトロピン注0.05%シリンジ 「テルモ」(1mL)	本	5	3	34	0	0	0	0	0	0	0
A-57	注射薬	アドレナリン注0.1%シリンジ 「テルモ」(1mL)	本	8	4	5	0	0	0	0	0	0	0
A-59	内服薬	タリオン錠10mg	T	40	20	8	12	4	0	0	4	3	5
A-61	外用薬	セルタッチテープ	枚	126	49	44	28	14	0	0	14.5	25	30
A-62	眼科薬剤	クラビット点眼液1.5%(5ml)	本	5	3	126	0.5	1	0	0	0	3	1.5
A-63	消毒液	ゴージョー60ml	本	10	5	5	2	1	0	0	1	2.5	0.5
A-64	処置用	注射用水 広口開栓 500mL	本	5	1	10	0	0	0	0	1	0	1
A-65	内服薬	ナウゼリンOD錠10mg	T	70	30	5	21	10	0	0	29	36	20
A-66	内服薬	ネキシウムカプセル20mg	T	20	8	77	0	0	0	0	7	0	4
A-67	内服薬	ピオフェルミンR錠	P	50	30	20	6	1	0	0	9	5	2
A-68	注射薬	メイロン7%20ml	本	20	10	50	4	2	0	0	0	0	0
A-69	注射薬	生理食塩液PL「フソー」500mL	本	10	0	20	1	1	0	0	2	4	2
A-70	内服薬	セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg「日医工」	T	30	10	12	3	1	0	0		6	0
A-71	注射薬	ハルトマン輸液pH8「NP」(500mL)	本	20	10	30	7	4	0	0		0	16
A-72	経口補水液	OS-1	包	50	25	50	4	2	0	0			
A-73	内服薬	ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒	包	21	10	21	6	3	0	0			

## B.衛生材料

整理番号	材料種類	衛生材料名	単位	初期値	発注点	開所時	総使用数	使用日数	補給数	補給回数	2015年	2016年	2017年
B-1	医療材料	ラミネートコップ(100個入り)	箱	4	1	4.5	0.5	1	0	0	0	0	0
B-2	医療材料	フェースマスク酸素マスク	個	10	5	10	0	0	0	0	3	7	2
B-3	医療材料	注射針(21G)	個	20	10	21	2	2	0	0	1	1	1
B-4	医療材料	注射針(23G)	個	20	10	20	2	2	0	0	1	3	1
B-6	医療材料	サーフロー針(18G)長針→B-98	個	10	0	4	0	0	0	0	0	1	0
B-7	医療材料	サーフロー針22G×1 1/4→B-99	個	50	0	10	1	1	0	0	13	3	6
B-8	医療材料	テルモシリンジ(10ml)	個	15	8	16	4	3	3	1	4	4	2
B-9	医療材料	テルモシリンジ(20ml)	個	15	8	12	2	2	0	0	3	6	8
B-10	寄付品	テルモシリンジ(50ml)	個	4	0	4	2	2	0	0	1	3	0
B-11	医療材料	テルフェージョン三方活栓	個	20	10	20	7	5	0	0	8	7	2
B-12	医療材料	サフィード延長チューブ	個	20	10	18	8	6	10	1	8	5	14
B-13	医療材料	ナイロン縫合糸45" 20mm針付	個	6	3	6	0	0	0	0	0	1	0
B-14	医療材料	滅菌手袋 61/2	袋	20	10	20	0	0	0	0	0	1	0
B-15	医療材料	滅菌手袋 71/2	袋	20	10	20	0	0	0	0	0	0	0
B-16	医療材料	滅菌手袋 8	袋	20	10	20	0	0	1	1	0	0	0
B-19	医療材料	胃管カテーテル	本	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0
B-20	医療材料	尿バルンカテーテル12Fr	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-21	医療材料	尿バルンカテーテル16Fr	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-22	医療材料	JMS輸液セットJY-A841L (エア針付)	本	35	20	46	8	6	0	0	10	9	14
B-23	医療材料	JMS小児用輸液セット	本	10	5	10	0	0	0	0	0	1	0
B-24	医療材料	テーピング(伸縮性)	巻	3	2	2	1	1	3	2	0	2.1	0.1
B-25	医療材料	テーピング(非伸縮性)	巻	3	2	2.1	0	0	1	1	1	3	0.1
B-26	医療材料	アンダーテーピング	巻	3	2	2.1	0	0	1	1	0.9	0.1	0
B-27	医療材料	らくのみ	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-28	医療材料	処置キット	個	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0
B-29	医療材料	カテラン針(23G)	本	5	2	5	0	0	0	0	0	0	0
B-30	医療材料	ディスプレイのメス	本	10	5	10	0	0	0	0	0	0	0
B-31	医療材料	滅菌メディガーゼ(4つ折)	袋	15	8	36	0	0	0	0	6.1	7	13
B-32	医療材料	三角巾	枚	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0
B-33	医療材料	舌圧子	本	50	25	50	11	7	0	0	32	24	16
B-34	医療材料	伸縮性筒状ネット包帯 手先、手首	巻	1	0.5	1.1	0	0	0	0	0	0	0
B-35	医療材料	伸縮性筒状ネット包帯 膝、脚	巻	1	0.5	1.2	0	0	0	0	0.9	0	0
B-36	緊急BAG	エアウェイ(経鼻)7.0mm	本	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0
B-37	緊急BAG	エアウェイ(経鼻)8.0mm	本	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0
B-38	医療材料	尿取りパット	枚	5	0	17	0	0	0	0	0	2	0
B-39	医療材料	氷枕	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-40	医療材料	ソフトシーネ(大)	個	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
B-41	医療材料	ソフトシーネ(中)	個	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0
B-42	医療材料	肋骨バンド	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-43	医療材料	伸縮包帯ソフラスコレッチNo4	個	10	5	13.3	0	0	0	0	2.1	0	2.9
B-44	医療材料	駆血帯	本	3	2	3	0	0	0	0	0	1	0
B-45	医療材料	綿包帯ソフクライム3裂	個	6	3	6.5	0	0	0	0	0	0	0
B-46	医療材料	尿器男性用	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-47	医療材料	尿器女性用	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-48	医療材料	テルモシリンジ カテーテルチップ50ml	個	10	5	10	0	0	0	0	1	0	1
B-49	医療材料	ウロバック	袋	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-50	医療材料	ガーゼ小(滅菌メトル3号)	個	30	15	36	9	4	0	0	15	13	11
B-52	医療材料	スタイレット	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-53	医療材料	吸引カテーテル14Fr	本	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
B-54	医療材料	吸引カテーテル12Fr	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-55	緊急BAG	気管内チューブ(7mm)	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-56	緊急BAG	気管内チューブ(8mm)	本	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-57	緊急BAG	バックバルブマスク	個	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0
B-58	緊急BAG	バックバルブマスク用チューブ	本	3	1	2	0	0	0	0	0	1	0
B-61	医療器材	ディスプレイ電極(心電図)	個	40	20	48	0	0	0	0	0	0	0

整理番号	材料種類	衛生材料名	単位	初期値	発注点	開所時	総使用数	使用日数	補給数	補給回数	2015年	2016年	2017年
B-63	医療材料	内診用ロールシート	巻	2		3.5	0	0	0	0	0	0	2
B-64	医療器材	テルモ耳式体温計 交換用プローブカバー	個	20		31	0	0	0	0	0	0	0
B-65	医療器材	替え電球(マグライト1、2)	個	1		2	0	0	0	0	0	0	0
B-66	医療器材	替え電球(喉頭鏡・緊急ボックス)	個	1		1	0	0	0	0	0	0	0
B-67	医療器材	心電図記録用紙(50m)	巻			12.1	0	0	0	0	0	0	0
B-68	医療器材	電極用クリーム	個	1		1.5	0	0	0	0	0	0	0
B-69	医療器材	酸素ボンベ3.5L	本	0		0	0	0	0	0	0	0	0
B-74	緊急BAG	経口エアウェイ	個	5		5	0	0	0	0	0	0	0
B-76	医療器材	黄色い箱(中)	個	5	2	6	0	0	0	0	2	2	2
B-77	医療器材	酸素ボンベA	本	1		1	0.5	1	0	0	0	1	0
B-78	医療器材	酸素ボンベB	本	1		1	0.5	1	0	0	0	1	0
B-79	医療器材	酸素ボンベC	本	1		1	1	1	0	0	0	1	0
B-80	医療器材	酸素ボンベD	本	1		0	0	0	0	0	0	1	1
B-81	医療器材	酸素ボンベE	本	1		1	0	0	0	0	0	0	2
B-82	医療器材	優肌パーミロール	箱	1	0.5	1.5	0	0	0	0	0	0	0
B-83	医療器材	デルマエイド	枚	30	15	29	5	3	0	0	10	1	1
B-85	医療器材	ステリストリップ	枚	5	2	5	2	1	0	0	1	1	0
B-86	医療器材	ソフトシーネ(指用)	個	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0
B-87	医療器材	ソフトシーネ(上肢用)	個	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
B-88	医療器材	JMSシート	個	5	3	5	0	0	4	1	5	3	1
B-89	医療器材	処置用持針器	本			8	0	0	0	0	0	3	0
B-90	医療器材	処置用ハサミ	丁			8	1	1	4	1	1	2	1
B-91	医療器材	消毒用鉗子	本			2	0	0	0	0	0	0	0
B-92	医療器材	処置用ピンセット	本			2	1	1	0	0	1	0	1
B-93	医療材料	ニトリル手袋M(250枚)	箱	2	1	2	0	0	0	0	0	0.5	0
B-94	医療材料	ニトリル手袋S(250枚)	箱	2	1	2.5	0	0	0	0	0	1	0
B-95	医療材料	スワブスティック	本	30	10	30	3	3	0	0	11	4	8
B-96	医療材料	アルウェッティ	本	3	0.5	3.5	1	1	0	0	0.5	1.5	1.5
B-97	医療材料	注射針(18G)	本	10	3	9	10	4	11	2	16	11	13
B-98	医療材料	針刺し防止機能付きサーフロー針 (20G)	本	10	5	10	0	0	0	0	0	0	1
B-99	医療材料	針刺し防止機能付きサーフロー針 (22G)	本	50	25	50	10	4	0	0	0	10	7
B-100	医療材料	オキシジェンカニューラ大人用フレアコ ネクタータイプ	本	10	5	8	5	5	2	1			5
B-101	医療材料	ノンスリップシート	枚	30	10	3.5	0	0	0	0			15
B-102	医療材料	酸素ボンベF	本	1		1	0	0	0	0			0
B-103	医療材料	ポケットマスク	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-104	医療材料	舌鉗子	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-105	医療材料	バイトブロック	個	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
B-106	医療材料	フルイドシールドマスク	枚	5	2	5	0	0	0	0			
B-107	医療材料	縫合糸	個	6	3	6	0	0	0	0			
B-108	医療材料	縫合針	個	6	3	6	0	0	0	0			

薬剤の新規採用・継続採用・変更・不採用の経緯について(2018年度)

規格変更	B-13 針付きナイロン縫合糸	髪などの体毛と見分けが付きやすいよう糸の色を黒色から青色に変更した。
新規採用	A-72 OS-1	例年患者の3割ほどが高山病と診断される。その理由として水分不足・電解質不足があるので、補水を促す目的で導入した。
	A-73 ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒	例年3～5件むら返りの症例があるが、WHOのModel List of Essential Medicinesではないため、2018年度は試験的に導入した。
	B-106 フルイドシールドマスク	縫合の際などに使用することを想定し、血液・体液が処置者の目や口に入ることを防ぐために導入した。
	B-107 縫合糸	創の大きさに合わせて針を使い分けて処置ができるように、針付き縫合糸の規格変更と併せて導入した。針付き縫合糸よりも長い針で、皮膚などを縫うのに適した角針を採用した。また、糸は針付き縫合糸と同様に青色のものを採用した。
	B-108 縫合針	

2017年度の参加者アンケート、過去の採用経緯を基に優先度を決め、薬剤の検討を行いました。以前の薬剤の新規採用・継続採用・変更・不採用の経緯については、過去の報告書を参照してください。

## 処方および薬剤等の準備(調剤)時の注意事項

名古屋市立大学病院 薬剤部  
早川智章(薬剤師)  
蝶ヶ岳ボランティア診療班  
薬剤部門 船坂珠里(M4)

### ① A 材オーダー表を用いた処方および準備

《整理番号を用いた準備の指示》

スタッフが薬品名を聞き間違えることを防ぐ為に、医師は A 材オーダー表(2017 年度に新たに作成)に基づき「整理番号」および「商品名」の 2 項目でスタッフに指示を出す。

《医師の指示の復唱と、準備時のダブルチェックの徹底》

医師の指示を受けた薬剤等の準備者(以下準備者と略)は、医師に対して「整理番号」、「商品名」、「薬剤カテゴリ」を声に出して確認する。準備者は確認した後、薬剤配置表の「整理番号」に基づき準備する。

準備者は準備した薬剤および A 材オーダー表を、必ず医師に示して医師に目視で確認してもらう。

注射剤を調製する場合は、準備した薬剤を薬剤師・看護師などの注射剤を調製する医療スタッフ(以下調製者と略)に渡す。調製者は調製前の薬品と調製後の薬品を、必ず医師に示して医師に目視で確認してもらう。

⇒手順については次項の処方および準備手順参照。

### ② 準備に関わる行為の署名欄および確認チェック欄の追記

準備に関わった者が責任を持って仕事を果たす為に、カルテに準備者と調製者の署名欄を設ける。また最終確認者である医師のチェック欄(レ点チェック)も設ける。準備者と調製者は作業完了時に署名し、医師は医師確認欄にチェックする。

※医師が一人で診療を行う場合はこの限りではない。

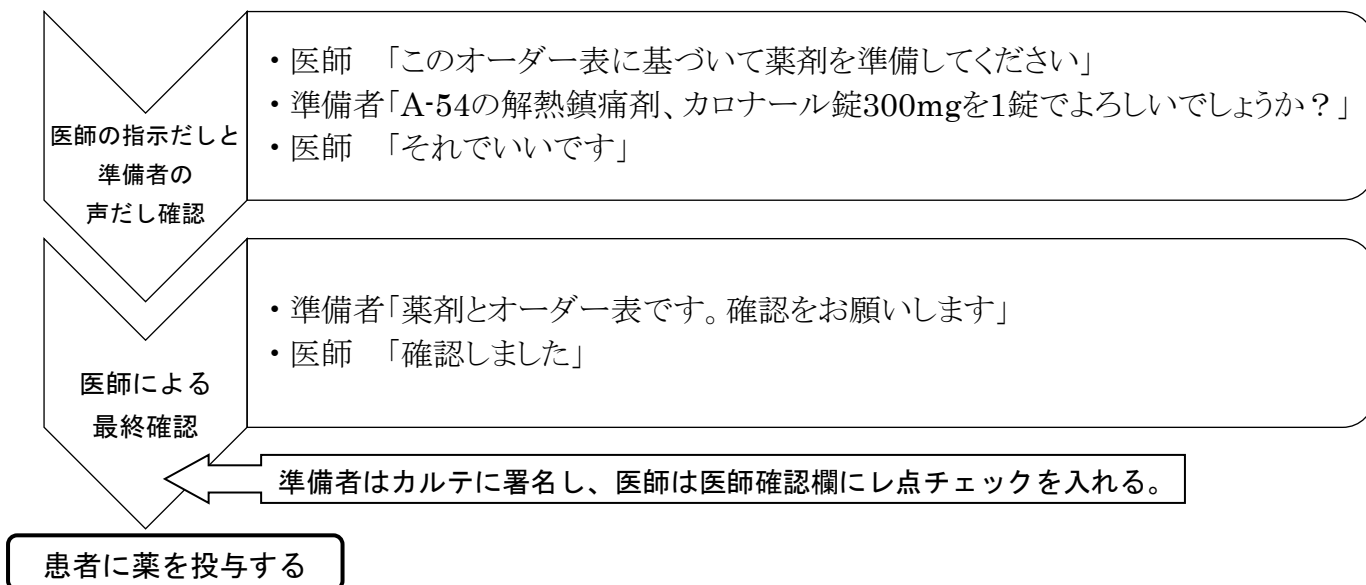
※看護師・薬剤師が準備者である場合は調製者も兼ねてよい。

※以上の注意事項は A 材のみを対象としている。B 材・C 材・D 材を使用する際にこの手順を踏む必要はない。

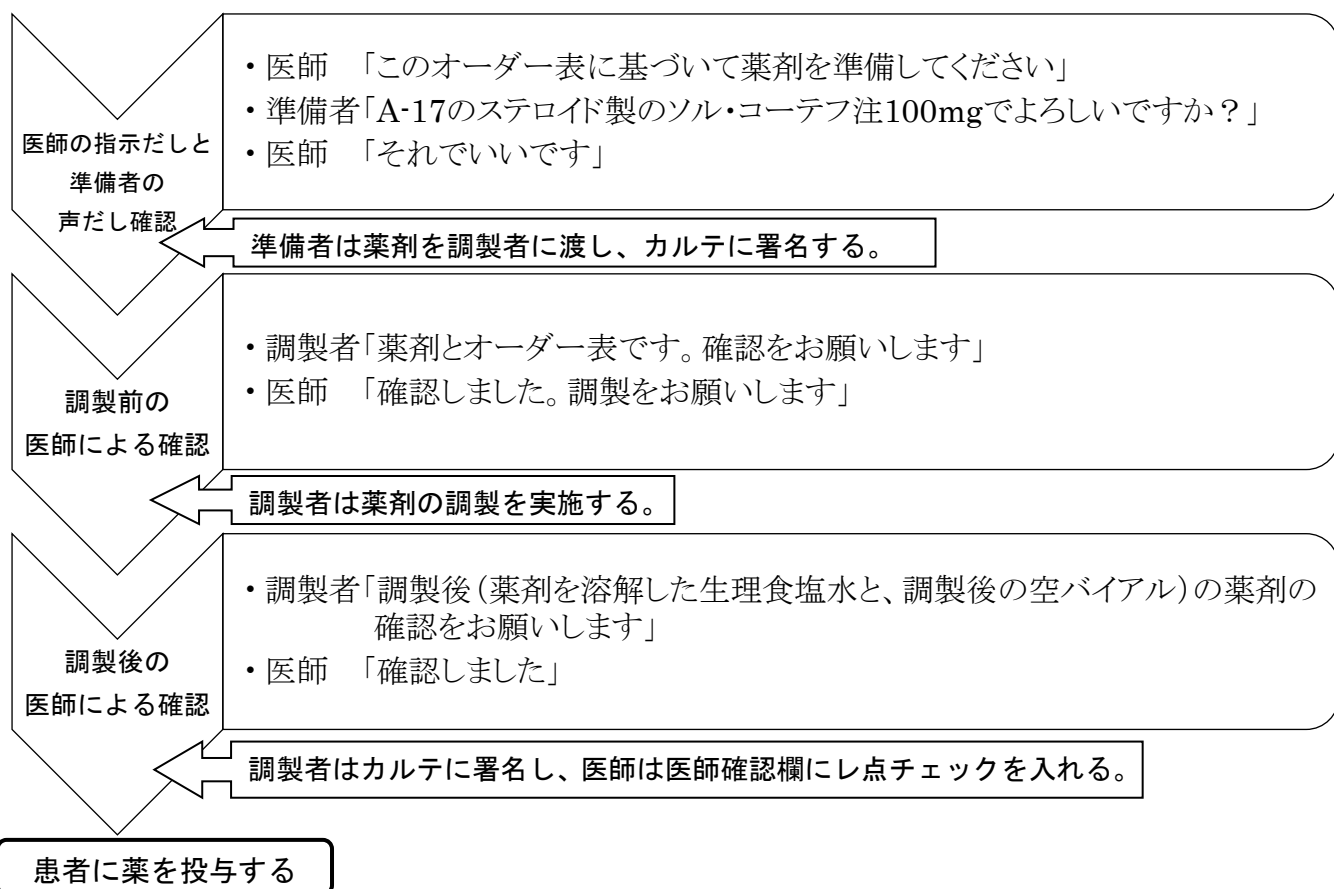


## ○処方および準備手順

### A) 内服薬の処方および準備、医師による確認(外用薬もこの手順に準じる)



### B) 注射剤の処方および準備、医師による確認



# 酸素ボンベについて

蝶ヶ岳ボランティア診療班  
薬剤部門 福富妃菜(M3) 加藤睦菜(N4) 眞嶋泉(M5)

## 【酸素不足に対する対応の経緯】

2016 年度の酸素ボンベ不足の事態を受け、2017 年度に行った対応を示す。

### ①酸素ボンベ新規購入およびメンテナンス時期の調整

#### 【目的】

2017 年度診療所開所時に満タンの酸素ボンベが 5 本ある状態にする。また所有するすべての酸素ボンベのメンテナンスを開所期間とずらす(例えば 9 月にメンテナンスに出すことでその 3 年後の 8 月までは問題なく使用できるようにする)。

#### 【経緯】

2017 年 6 月時点で診療班が所有する酸素ボンベのメンテナンス状況を以下に示す。

#### 〈酸素ボンベメンテナンス状況〉2017 年 6 月時点

	前回メンテナンス時期	次回メンテナンス時期	保管場所と対応	残量	2017年11月時点の保管場所と残量
A	2016年8月	2019年7月31日	部室、荷上げ	満タン	山頂、満タン
B	2016年8月	2019年7月31日	部室、荷上げ	満タン	山頂、満タン
C	2014年8月	2017年7月31日	部室、荷上げ	満タン	山頂、56L
D	2014年8月*	2017年7月31日*	診療所、使用后荷下げ	使いかけ(134L)	業者により回収済み
E	確認できず*	確認できず*	診療所、使用后荷下げ	満タン	部室、満タン (2017年10月メンテナンス済み)

\*診療所にあるため山頂報告を確認した結果を示す。

・酸素ボンベメンテナンスについて:酸素ボンベのメンテナンス期限は前回メンテナンスから 3 年後の 1 か月前までである。メンテナンス期限を過ぎた酸素ボンベについては充填の際にメンテナンスが必要になる。メンテナンスには約 1 か月かかる。

・使用順について:メンテナンス時期と残量を考慮しボンベ D、E、C から優先的に使用する。

メンテナンス状況、ボンベ使用順などを考慮した結果、開所期間中に酸素不足の事態に陥る可能性が考えられた。そのため酸素不足の予防として、ボンベを 1 本新規購入し(ボンベ F)開所時に満タンのボンベが 5 本ある状態にした。

また所有するボンベのメンテナンス時期を開所時期とずらすことで、開所期間中に充填に出したとしてもメンテナンスされることなくすぐに使用できる。そのため今年度よりボンベのメンテナンスは閉所後の 9 月以降に出すこととする。今年度はボンベ D、E について 2017 年 9 月にメンテナンスに出した。他のボンベについても来年度以降順次メンテナンス時期を調整していく。

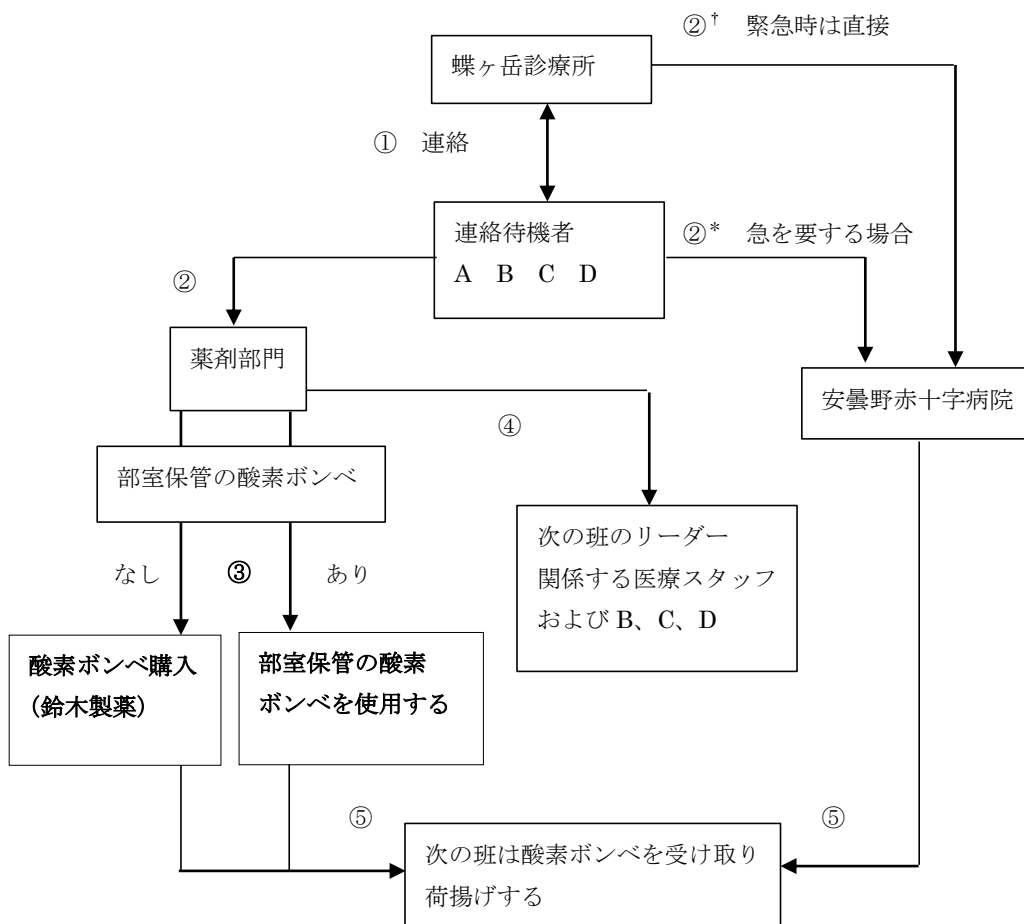
### ②「酸素ボンベ不足への対応」の改定

2016 年度報告書に掲載したのから 2017 年度版として一部変更した。

#### 【変更点】

フローチャート内の③について、2016 年度報告書に載せたものでは鈴木製薬からボンベのレンタルを行うことになっていた。しかし本診療班が所有している容量の酸素ボンベはレンタルを行っている会社がないことが分かった。そのため新規購入したボンベ F を部室保管とし、酸素不足時に素早く対応できるようにした。また部室保管のボンベが荷揚げされ部室に無い場合などはボンベの新規購入を検討する。

## ○酸素ボンベ不足への対応



### 連絡の流れ

継続的な酸素投与が必要な際に、診療所にある酸素ボンベが 5 本のうち 2 本の残量がゼロになった。

①診療所から連絡待機者(※)に電話または Skype を用いて連絡。

(※)診療所から薬剤部門長(A)、運営委員長(B)、診療班代表(C)、診療所長(D)に連絡する。

②第一報を受けたものが薬剤部門の部にその旨を伝達する。

②\*②†ただし酸素ボンベの名古屋から安曇野への輸送には時間がかかるため、それが間に合わない場合は連絡待機者(②\*)あるいは診療所から直接(②†)安曇野赤十字病院総務課に電話し酸素ボンベを借りる手配をする。時間外の場合は事務当直にその旨を伝える。

安曇野赤十字病院 代表 TEL:0263-72-3170

③薬剤部門は部室保管の酸素ボンベがある場合は、それを使用する。また、部室保管の酸素ボンベがない場合は、鈴木製薬(TEL:052-881-2745/1434:留守番電話による 24 時間対応)より酸素ボンベを購入する。目安として、購入の連絡をしてから在庫がある場合は 1~2 週間、在庫がない場合は、1~2 ヶ月かかる。

④薬剤部門が、次に出発する班のリーダー(ポーターの場合は最上級生)、関係する医療スタッフに連絡する。

⑤次の班が酸素ボンベを受けとり診療所へ荷揚げする。

(安曇野赤十字病院より酸素ボンベを借りる場合は、診療所から連絡がきた時点で安曇野にいる学生、安曇野にいる学生がいない場合は診療所の学生が下山して荷揚げする、ポーターの場合は 1 本のみ荷揚げでもよい。その場合その次の班がもう 1 本を荷揚げする)

薬剤部門は診療班所有の酸素ボンベが荷下げされ次第充填を手配し速やかに荷揚げできるように進める。

★安曇野赤十字病院等への対応では、班員の安全を第一に考え天候不順、班員の体調不良などがある場合は無理をしないようにする。

[2018 年度に行ったこと]

①ボンベ新規購入

酸素ボンベ D について、2017 年度閉所後にメンテナンスに出したところ使用期限の製造後 15 年が経過していたため鈴木製薬により回収となった。所有するボンベが 1 本減ることとなるため新規購入した。

②メンテナンス時期の調整

2017 年度同様、他のボンベについて調整を行う。

〈酸素ボンベメンテナンス状況〉2018 年 9 月時点

	前回メンテナンス時期	次回メンテナンス時期	残量	2018 年 9 月時点での保管場所
A	2016 年 8 月	2019 年 7 月 31 日	充填後満タン	鈴木製薬にて充填中
B	2016 年 8 月	2019 年 7 月 31 日	224L	山頂
C	2014 年 8 月	2021 年 8 月 31 日	メンテナンス後満タン	メンテナンス中
D	2018 年 5 月購入	2021 年 4 月 30 日	満タン	山頂
E	2017 年 10 月	2020 年 9 月 30 日	満タン	山頂
F	2017 年 6 月購入	2020 年 5 月 31 日	満タン	山頂

※注意

2018 年は三股登山口へのアクセス道路崩落のため、学生は上高地から登山・下山した。このため必要に応じて迅速に検討することとした。(スタッフマニュアル p27 参照)



# 登山での経口補水液 OS-1(オーエスワン)摂取後の聞き取り調査

(2017年～2018年)

佐々木貴久、松本 晴年、酒々井眞澄

## 目的

(1) 登山者がOS-1を登山中の飲料として選択し得るか、(2) 選択されるあるいは選択されないとしたらその理由(判断基準)はなにか、(3) AMS予防につながるような効果が期待できるか

## 対象と方法

対象者は、名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班に所属する学生で、2017年8月14日から8月20日の間(16名)、および2018年7月14日から8月20日の間(7名)に蝶ヶ岳山頂(2,677 m)に登った計23名とした。登山ルートは2017年は「三股登山口(1,350 m)～蝶ヶ岳山頂(標高差:1,327 m、移動距離:7,050 m、標準コースタイム:5時間5分)」、2018年は三股登山口へのアクセス道路の崩落に伴い、①「徳澤キャンプ場(1,562 m)～蝶ヶ岳山頂(標高差:1,115 m、移動距離:5,150 m、標準コースタイム:4時間40分)」、②「①に上高地バスターミナル(1,504 m)～徳澤キャンプ場(標高差58 m、移動距離:7,200 m、標準コースタイム:1時間55分)を加えたルート(標高差:1,173 m、移動距離:12,350 m、標準コースタイム:6時間35分)」とした。学生は自由意思により本研究に参加した。個別に研究責任者(酒々井眞澄)より本研究に関する説明を研究責任者の研究室で受け、アンケート用紙(表1)、およびOS-1(株式会社大塚製薬工場から無償提供されたもの)を1～2本受取った(500～1,000 mL/人)。学生は登山開始時から診療所に到着するまでの間(約6～7時間)に自由意思でこれを摂取した(自由意思により学生は必ずしも全てを飲まなくてもよい。自己判断によりOS-1摂取を中止してもよい。他の飲料を自由に摂取できる)。登山中にOS-1を摂取した学生は診療所に到着後または下山後にアンケート用紙に記入し、研究責任者の研究室で回収した。本研究は名古屋市立大学倫理委員会の承認を受けた(研究課題名:登山での経口補水液 OS-1 摂取後の聞き取り調査、2017年8月9日承認60-17-0015)。

## 結果と考察

2018年は三股登山口へのアクセス道路の崩落によって学生班はすべて上高地ルートに変更した。また、台風(12、13、19号)接近に伴い2回の診療所閉所となった。これらの影響により、2018年のデータ数は当初の予測よりも少なくなった。今回のアンケートでは、徳澤キャンプ場あるいは上高地バスセンターのどちらから登山を開始したかの質問項目がないので、登山時間および距離を区別することはできない。各質問項目に対する回答の概要を表2、表3および図1～10に示す。各回答者の水分摂取量を100%とした場合、各回答者は32.0%をOS-1で摂取した。つまり、OS-1を登山中の飲料として選択し得ることを示している。全回答者23名中、「OS-1はおいしかった」は8名(2017年、7名/16名(43.8%); 2018年、1名/7名(14.3%))、「登山中に尿意あり」は5名(2017年、3名/16名(18.8%); 2018年、2名/7名(28.6%))、「登山中に頭痛あり」は4名(2017年、3名/16名(18.8%); 2018年、1名/7名(14.3%))、「登頂後に頭痛あり」は7名(2017年、5名/16名(31.3%); 2018年、2名/7名(28.6%))、「登山中に汗をかいた」および「登頂後に食欲あり」の回答は共に23名(2017年、16名/16名(100%); 2018年、7名/7名(100%))、「登山中に筋肉の痙攣あり」は1名(2017年、1名/16名(6.3%); 2018年、0名/7名(0%))、「登頂後に疲れ

あり」は17名(2017年, 11名/16名(68.8%); 2018年, 6名/7名(85.7%))、「登頂後に手や足の筋肉の痛みあり」は8名(2017年, 7名/16名(43.8%); 2018年, 1名/7名(14.3%))、「登頂後に吐き気あり」は1名(2017年, 0名/16名(0%); 2018年, 1名/7名(14.3%))であった。

登山中に中程度～大量に発汗した21名(2017年, 15名/16名(93.8%); 2018年, 6名/7名(85.7%))は体内の水分および電解質がある程度失われたと想定される。「今後、飲料にしたい」と回答した12名(2017年, 8名/16名(50.0%); 2018年, 4名/7名(57.1%))は、理由として「体に必要なものを取り込めている、味より内容物を重視したいなど」をあげた。OS-1は一般的なスポーツドリンクよりも電解質濃度が高く、それらを素早く補給できる飲料水である。一方、「おいしくない」は6名(2017年, 4名/16名(25.0%); 2018年, 2名/7名(28.6%))、「今後登山中の飲料水にたくない」は2名(2017年, 1名/16名(6.3%); 2018年, 1名/7名(14.3%))であり、その理由が「味がよくない、あるいは効果を実感することができない」であった。学生を対象にした結果では、OS-1選択の判断基準は期待される効果と味であると考えられる。登山中の水分摂取量とAMS(頭痛、吐き気、嘔吐、めまいなど)発症との関連について、私たちはすでに報告した<sup>(1~4)</sup>。本調査はOS-1を用いた介入研究ではないので「OS-1による効果」としての判定はできない。今後は症例数を蓄積することでOS-1摂取量と症候の有無との関連を検証したい。

## 文献

- (1) 酒々井眞澄, 佐々木貴久, 松本晴年, 坪井謙, 薊隆文. 蝶ヶ岳での登山中の水分接種量(mL/kg/h)と急性高山病発症との関連. 第38回日本登山医学会学術集会, 東京, 2018年6月2日
- (2) 酒々井眞澄, 佐々木貴久, 松本晴年, 坪井謙, 三浦裕, 薊隆文. 蝶ヶ岳での登山中の水分接種量と急性高山病発症との関連. 第4回アジア・太平洋登山医学会と第37回日本登山医学会合同学術集会, 松本, 2017年6月3日
- (3) 松本晴年, 佐々木貴久, 坪井謙, 三浦裕, 薊隆文, 酒々井眞澄. 登山中の水分摂取量と急性高山病発症との関連. 第36回日本登山医学会学術集会, 宇都宮, 2016年6月4日
- (4) 酒々井眞澄, 佐々木貴久, 松本晴年, 坪井謙, 三浦裕, 薊隆文. 蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量と急性高山病発症との関連. 登山医学, vol 37, 144-149, 日本登山医学会, 2017

表 1 アンケート用紙

平成 年 月 日  
天候:(晴・曇り・雨 他: )

【アンケートのお願い】

アンケートにお答え下さい。

Q.1 「OS-1」(オーエスワン)を飲んだ方はその量を、他の飲料を飲んだ方はその飲料名と量を、両方飲んだ方は両方とも記入して下さい。  
「OS-1」を飲んだ(飲んだ量:約 \_\_\_\_\_ mL)  
「他の飲料」を飲んだ(飲料名 \_\_\_\_\_、飲んだ量:約 \_\_\_\_\_ mL)

Q.2 飲んだ方は、「OS-1」はおいしかったですか？  
とてもおいしかった おいしかった ふつう おいしくなかった

Q.3 登山中、尿意がありましたか？ あった方は、どの程度の尿意でしたか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.4 登山中、頭痛がありましたか？ あった方は、どの程度の頭痛でしたか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.5 登頂後、頭痛がありますか？ ある方は、どの程度の頭痛ですか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.6 登山中、汗をかきましたか？ かい方は、その程度はどのくらいでしたか？  
かいた(□高 □中 □低) かかなかった

Q.7 登山中、筋肉が痙攣することがありましたか？ あった方は、その程度はどのくらいでしたか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.8 登頂後、疲れがありますか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.9 登頂後、手や足の筋肉の痛みがありますか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.10 登頂後、食欲がありますか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.11 登頂後、吐き気がありますか？  
あり(□高 □中 □低) なし

Q.12 今後 OS-1 を登山中の飲料にしたいと思いますか。  
飲料にしたい 飲料にしたくない 現時点ではわからない

Q.13 その理由はなんですか。よろしければお聞かせください。  
( \_\_\_\_\_ )

アンケートの結果は今後の研究に使用する目的以外においては使用しません。  
ご協力ありがとうございます。

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班アンケート担当 松本晴年、酒々井眞澄




表 2 登山中に飲んだ OS-1 あるいは他の飲料の量 (mL)

①OS-1」の量	他の飲料の飲料名	②他の飲料の量	合計(①+②)
500	ポカリスエット, ソルティライチ	1,000	1,500
200	アクエリアス, お茶	1,000	1,200
500	ポカリスエット, 麦茶	1,000	1,500
500	お茶, ウィダー	600	1,100
500	アクエリアス	500	1,000
500	ポカリスエット	500	1,000
500	ポカリスエット	1,000	1,500
500	ポカリスエット, グリーンダカラ, 麦茶	2,000	2,500
500	ポカリスエット, グリーンダカラ, アクエリアス	1,500	2,000
500	アクエリアス, 茶	1,000	1,500
500	水	500	1,000
100	アクエリアス, 茶	1,500	1,600
500	グリーンダカラ, ソルティライチ	1,000	1,500
500	アクエリアス	700	1,200
500	ポカリスエット, グリーンダカラ, ソルティライチ	1,500	2,000
500	グリーンダカラ, 水	1,000	1,500
500	グリーンダカラ, 爽健美茶	1,500	2,000
1,000	麦茶	500	1,500
200	アクエリアス, 爽健美茶	1,000	1,200
500	ポカリスエット	1,000	1,500
500	アクエリアス, ウィダー	450	950
100	ポカリスエット, 麦茶	1,000	1,100
500	ポカリスエット	750	1,250

表 3 今後 OS-1 を登山中の飲料にしたいと思うか、その理由はなにか

今後、飲料にしたい	大量に汗をかいた際に良いと感じた
	体に必要なものを取り込めている気がする
	登っているときに飲むとおいしい
	飲みやすかった
	普通に飲むと塩味が強いが、登山中には飲める味だった
	味が下界で感じるほど薄くなく、思っていたより美味しかった
	甘すぎない。でもやや高価なのがネックである
	登山の間に飲む分は味より内容物を重視したい
	補水に適していると言われており、安心感がある
	喉が渇くとおいしく思える。渇いてなければ水分補給をためらった(まずくて)
	登山中、おいしく飲めた
飲料にしたくない	糖分を制限する意義が私にはないので甘くておいしいものの方がよい
	機能性は高いが、やはり味は良くないので飲む気がしない
現時点ではわからない	アクエリアスなどの飲料水と比べてしまい味がおとると感じた
	他の飲料との違いがあまり分からなかった
	OS-1 がどれくらい効いているのか分からない
	正直、後味が微妙
	効果があったのかよくわからなかった
	他の飲料水でも別に良いと思った



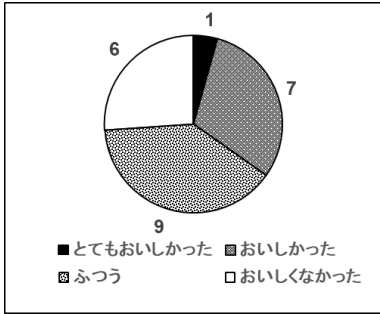


図1 美味しさ

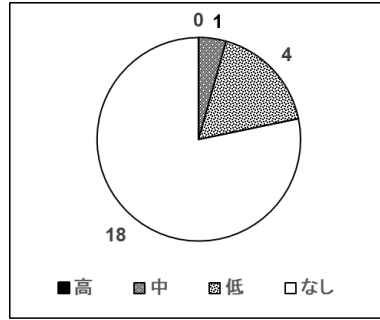


図2 尿意

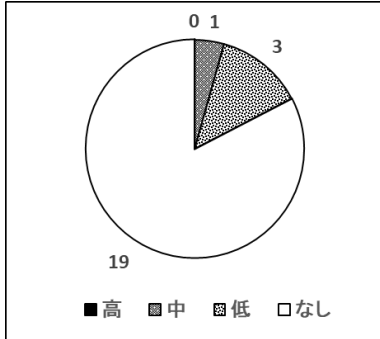


図3 登山中頭痛

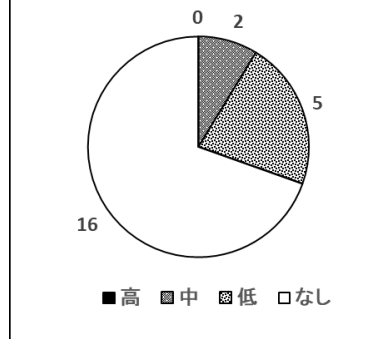


図4 登頂後頭痛

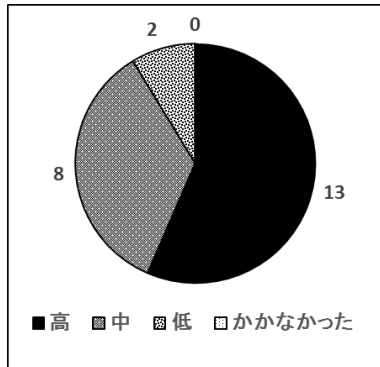


図5 登山中汗かいた

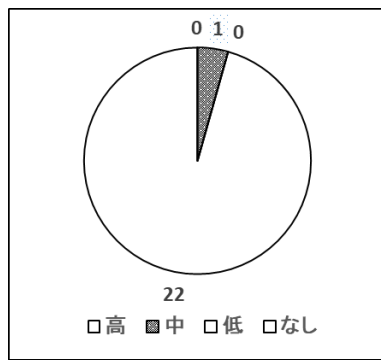


図6 登山中筋肉痙攣あり

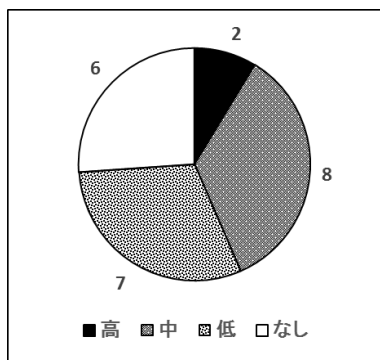


図7 登頂後疲れあり

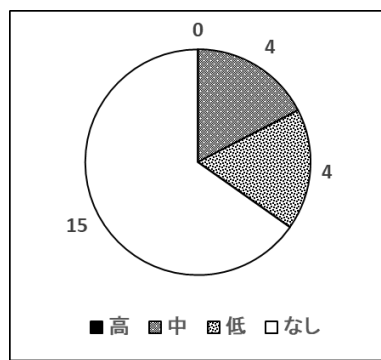


図8 登頂後手足筋肉痛あり

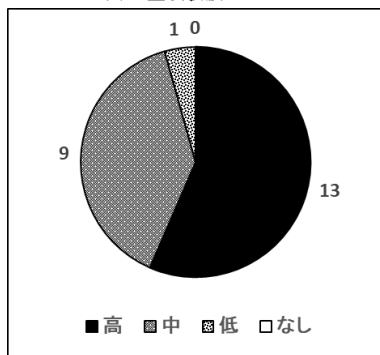


図9 登頂後食欲あり

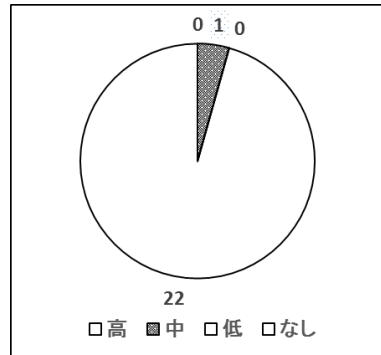


図10 登頂後吐気あり

# 予防的介入活動の結果報告

蝶ヶ岳ボランティア診療班  
診療環境部門 医学部 3 年 藤永拓実

## 1. 背景と目的

蝶ヶ岳ボランティア診療班では、2005年に起きた高校生の死亡事故をきっかけに「予防的介入活動」と称して登山者に対して高山病の予防啓発を行ってきた。2007年から蝶ヶ岳ヒュッテでの雲上セミナー参加者を対象としたアンケート調査を行い、これを予防的介入活動の成果の評価や今後の対策に活かしている。たとえば、2016年に蝶ヶ岳ヒュッテ内に高山病予防啓発ポスターを掲示した(図1)。2017年に三股登山口に同様のデザインのポスター(A3サイズカラー、ラミネート包装)を1枚、2018年には2枚をそれぞれ掲示した。さらに、予防的介入カードの内容をわかりやすいものに直した(図2)。2017年に、ポスターおよびカードの設置効果を検証した結果、明確な効果が得られなかった(2017年報告書 p39~41)。また、2018年は三股登山口(以下、三股ルート)へのアクセス道路の崩落に伴いすべての学生班は上高地から登山(以下、上高地ルート)したため、上高地ルートと三股ルートにおける登山者の水分摂取量の状況について比較検討した。

## 2. 対象と方法

私たちが高山病予防啓発運動として蝶ヶ岳ヒュッテ内で行う雲上セミナー参加者へのアンケート(図3)の有効回答821名分を対象とした(2017年386名、2018年435名)。調査期間は2017年7月16日~2018年8月20日とし、つぎの3項目を集計した。①回答者の属性および登山経路、②三股ルートでポスターを見た人の数、見ていない人の数、③ポスターを見たことによる水分量調節の有無と頭痛の有無。水分量調節と頭痛との関連を検証するために、カイ二乗検定を用いて解析し $P<0.05$ を有意差ありと判定した。また、2018年の上高地ルートと三股ルートの有効回答238名分(上高地167名、三股71名)を対象とし、十分な水分量を摂取しているかどうかを検討した。水分摂取の目安量を求める計算式: 体重(kg)×登山時間(h)×5、および私たちの研究<sup>(1)</sup>で明らかになった非縦走者の水分摂取量の水分摂取係数2.76(mL/kg/h)を用いた。

## 3. 結果

図4と図5に対象者(821名)の属性および登山経路を示す。2017~2018年で、三股ルート204名中、ポスターを見た人は63名、見ていない人は141名(69%)であった(表1)。ポスターを見て水分量を調節した21名中、頭痛を自覚した人は5名、自覚しなかった人は16名であった。ポスターを見て水分量を調節しなかった42名中、頭痛を自覚した人は4名、自覚しなかった人は38名であった(表2)。これらの値を用いてカイ二乗検定を行った結果、有意差はなかった( $P=0.127$ )。2018年の上高地ルートの有効回答167名分について、目安量以上に水分摂取した人は9名、目安量未満の人は158名であった。また、私たちの研究で得られた水分摂取係数以上の人は88名、

水分摂取係数未満の人は79名であった。一方、三股ルートの有効回答71名分について、目安量以上に水分摂取した人は7名、目安量未満の人は64名であった。また、水分摂取係数以上の人は44名、水分摂取係数未満の人は27名であった(表3)。

#### 4. 考察

本調査から、少なくとも雲上セミナー参加者のうち、三股ルートの約7割がポスターを見ていない。ポスターを見た人について水分量調節と頭痛との有意な関連は認められなかった。これは、登山口までのアクセス道路の崩落に伴い三股登山口からの登山者が減少したことに原因があるかもしれない。2017年の調査に比べると*P*値が減少しているのはデータ数が増えたためであると考えられる(2017年では*P*=0.197)。しかし、水分調節量は個人差が大きく、評価が難しいため評価方法を再検討する必要がある。上高地ルートと三股ルートの登山者の水分摂取量を検討した結果、上高地ルートでは登山者の約5%が目安量以上に、約53%が水分摂取係数以上に水分を摂取していた。一方、三股ルートでは登山者の約10%が目安量以上に、約62%が水分摂取係数以上に水分を摂取していた。三股ルートの登山者は、上高地ルートに比べ、必要な水分摂取ができていない人の割合が多かった。その理由がポスター掲示の効果であるかどうかを確かめることに加えて、上高地ルートは登山の主要ルートであるため、啓発活動を進めるにあたり今後は上高地ルート(上高地バスターミナル、徳沢ロッジ、徳澤園など)にもポスターを掲示したり予防的介入カードを置いたりすることが効果的であろう。実際に、2018年は許可を得て徳沢ロッジに予防的介入カードを置かせていただいた。2019年以降もアンケートデータの蓄積とともに、ポスターのデザインおよび設置を検討することによりポスターや予防的介入カードの認知度を向上させる工夫がいる。

#### 文献

(1)酒々井眞澄, 佐々木貴久, 松本晴年, 坪井 謙, 薊 隆文 蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量(mL/kg/h)と急性高山病発症との関連, 日本登山医学会, 2018年(東京都)

表 1 三股登山口に掲示したポスターの認知度(人)

	ポスターを見た		ポスターを見ていない	計
	水分量を調節した	水分量を調節していない		
三股登山口からの登山者	21	42	141	204

表 2 水分量調節と頭痛との関連(人)

		頭痛		計
		あり	なし	
水分量	調節あり	5	16	21
	調節なし	4	38	42
計		9	54	63

表 3 上高地・三股口からの登山者の水分摂取量の実態(人)

ルート	目安量以上 (体重×登山時間×5 mL)	目安量未満 (体重×登山時間×5 mL)	水分摂取係数以上 (2.76 mL/kg/h)	水分摂取係数未満 (2.76 mL/kg/h)	有効回答数
上高地	9	158	88	79	167
三股	7	64	44	27	71

## 高山病について

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

**1. 登山中の水分量と高山病**

高山病では水分量もその発症に関係していることが私達の研究で分かってきました。例えば、体重50kgの人が6～7時間かけて蝶ヶ岳を登る場合は1.5から2L程度の水分摂取が推奨されます。

十分な水分摂取にも心がけて高山病予防につなげましょう。

**2. 高山病の症状**



高山病には、**頭痛**や**吐き気**以外にも、**食欲不振**、**疲労感**、**めまい**、**息苦しさ**、**不眠**などの症状があります。心配な症状があれば医師の診察を受けましょう。

蝶ヶ岳ボランティア診療班では、登山客の皆様を対象としたアンケートを行っています。気軽にお答えいただければ幸いです。

図1 高山病予防啓発ポスター


	<p style="text-align: center;"><b>名古屋市立大学 蝶ヶ岳ボランティア診療班</b></p>  <p style="text-align: center;"><a href="http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm">http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm</a></p>
<p style="text-align: center;"><b>蝶ヶ岳ヒュッテには名古屋市立大学 蝶ヶ岳ボランティア診療所があります</b></p> <p style="text-align: center;">開所期間: 7月中旬～8月中旬</p> <p style="text-align: center;">～高山病の予防～</p> <p>☆ゆっくりと深い呼吸を!!</p> <p>☆こまめな水分補給を!! 蝶ヶ岳登山では1.5～2Lの水分補給を心がけましょう</p>	<p style="text-align: center;">～高山病の症状～</p> <p>頭痛・不眠・食欲不振・吐き気・むくみ 空咳・息切れ・疲労・脱力感</p> <p>☆☆特に注意する症状</p> <p>安静時の息切れ 泡を伴った咳 トンチンカンな応答</p> 

図2 予防的介入カード(上:外側、下:内側の二つ折りカード)

# 蝶ヶ岳登山者アンケート

このアンケートは、登山者を対象に、登山中の水分量や高山病の発生頻度について調べることにより、安全な登山・高山病予防の啓発、教育・研究に使用することを目的としています。プライバシー保護に十分に配慮し、個人が特定されるような形で集計並びに分析は行いません。また、このアンケートの回答の有無によって不利益を被ることは一切ありません。皆様、ご協力をお願いします。

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

以下、当てはまるものに○をつけ、( )には直接、数値をお書き下さい

1. 年齢 ( )歳
  2. 性別 a)男 b)女
  3. 体重 ( )kg
  4. 本日の登山時間の合計 合計( )時間
  5. 本日の登山経路  
a)長埴 b)横尾 c)常念岳 d)三股 e)徳本峠 f)その他 ( )
  6. 登山中に飲んだ水分量 ( )mL  
\*自動販売機で売っているペットボトル1本が500mLです
  7. 以下に示す高山病の症状のうち、今感じるものはありますか。  
※複数回答可  
a)頭痛 b)食欲不振 c)吐き気 d)疲労 e)脱力感  
f)めまい・ふらつき g)不眠 h)意識障害 i)むくみ j)空咳  
k)息切れ l)その他の症状 ( )
  - ※三股登山口から登山された方のみ以下の質問にお答えください。
  8. 三股登山口のポスターを参考に水分量を調節されましたか。  
a) はい b) いいえ c) ポスターをみていない
- ※研究、学会発表等での使用を希望されない方はチェックをお願いいたします。( )  
ご協力ありがとうございました。  
ご意見などございましたら、裏面にご自由にお書きください。

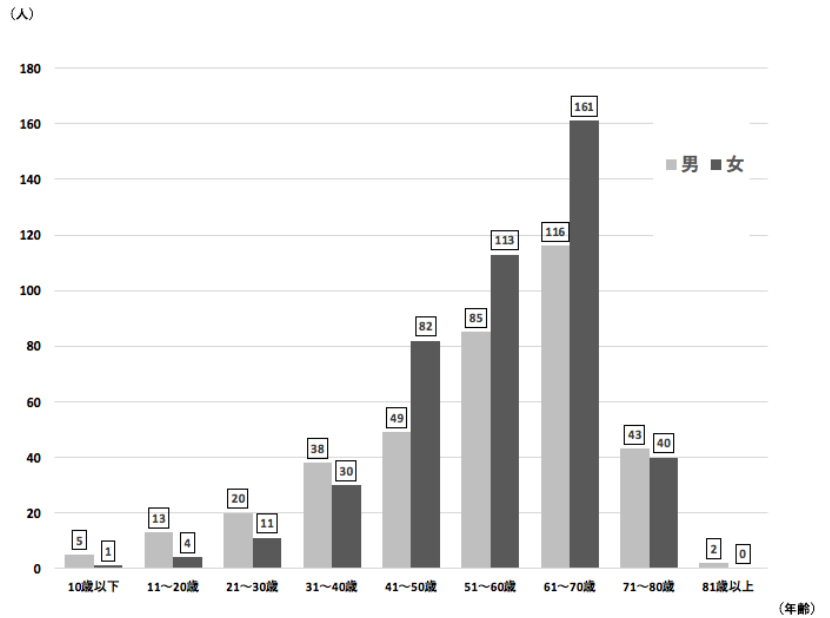


図3 登山者アンケート

図4 年齢・男女別登山者数(人)

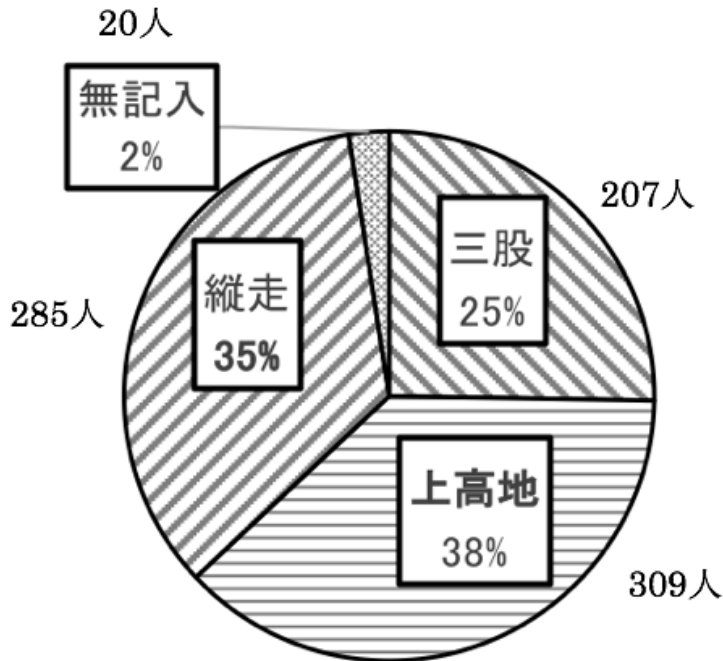


図5 経路別登山者数とその割合(人, %)

## 第 38 回日本登山医学会への参加報告

蝶ヶ岳ボランティア診療班  
情報技術部門 医学部 2 年 田中秀和

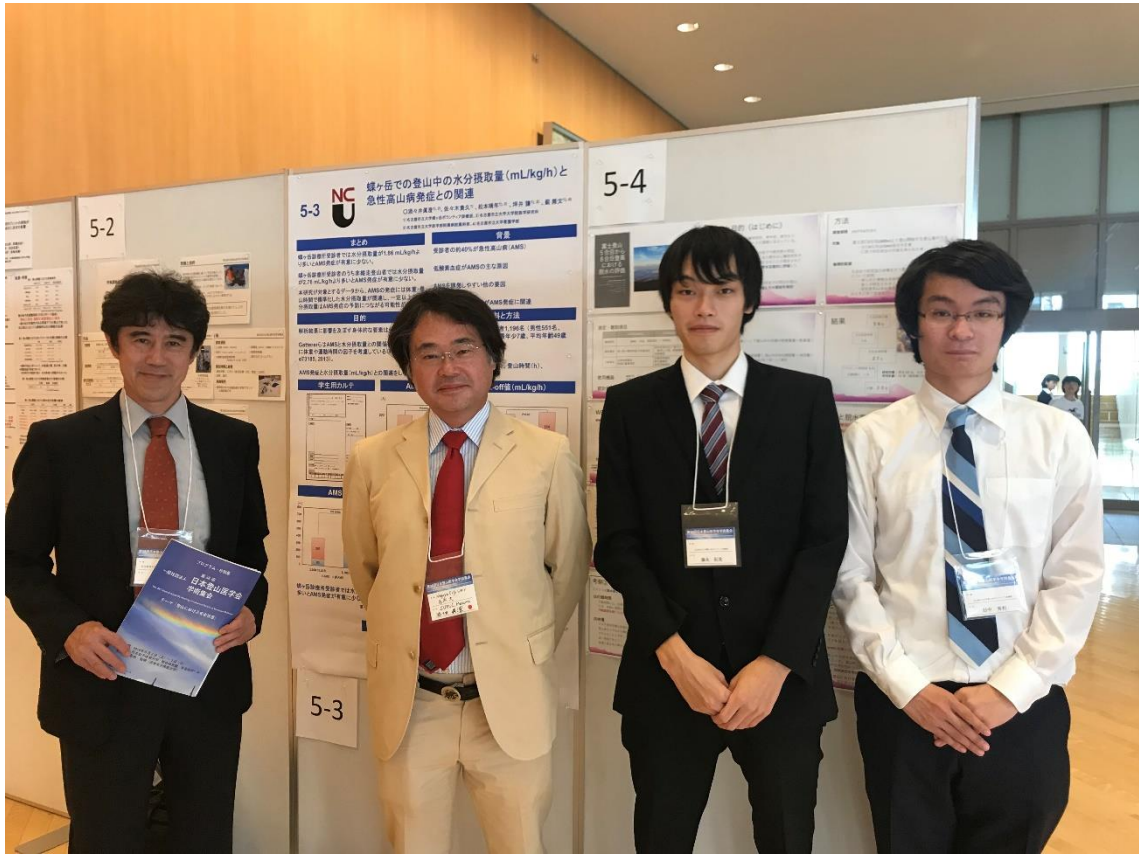
2018 年 6 月 2 日(土)から 3 日(日)にかけて東京都世田谷区の日本女子体育大学で開催された第 35 回日本登山医学会に M3 藤永拓実、M2 田中秀和が参加した。運営委員から酒々井眞澄診療班代表、薊隆文診療所長、名古屋市立大学附属病院から松本晴年薬剤師が参加した。

学会では、酒々井代表が「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量(mL/kg/h)と急性高山病発症との関連」を口頭発表し、藤永拓実(M3)と田中秀和(M2)が同演題にてポスター発表を行った。

6 月 2 日には夏井裕明大会長(日本女子体育大学)の講演「学校集団登山帯同 25 年の経験から」、特別講演では、浅川伸先生(日本アンチドーピング機構)による「2020 年に向けてのアンチ・ドーピング」に加えて、一般演題の発表が行われた。同日夕に懇親会が開かれ、酒々井代表、松本晴年薬剤師、藤永、田中が参加した。懇親会では、大橋教良教授(帝京平成大学)、花岡正幸教授(信州大学)、山本正嘉教授(鹿屋体育大学)、臼杵尚志先生(香川大学)、原田智紀先生(日本大学診療所)にご挨拶し、山岳医療について情報交換および今年の上高地ルートへの変更について報告した。同時に、藤永と田中は日大、信州大、香川大の学生と交流した 6 月 3 日は一般演題の発表と樋之津史郎教授(岡山大学)による教育講演「登山医学研究にも必要な統計学」、共催セミナー(株式会社 大塚製薬工場)及び、シンポジウム「学校集団登山における安全管理—学校と医療の連携—」(佐藤史伸先生(学校法人自由学園)、千島康稔先生(国際認定山岳医)、大高有希先生(諏訪赤十字病院)、稲越利夫先生(堀金登山案内人組合)、赤沼健至先生(燕山荘))が行われた。一般演題には計 40 の発表があり、例えば、「高地肺水腫の症例報告」(生山裕一先生(信州大学医学部内科))、「若年者のトレッキングポールの使用による疲労度に関する研究」(松井容(昭和大学医学部白馬診療部))、「経皮的酸素飽和度計の指用機器と耳介用機器による測定値の相関性に関する高地での実証研究」(忠地駿(香川大学医学部))など多彩な内容であった。また、高山病の評価に重要であるレイク・ルーズスコアについて、評価項目からの「睡眠」の削除などの変更が加えられたことが伝えられた。

第 39 回登山医学会は 2019 年 6 月 22 日(土)から 23 日(日)にかけ、茨城県つくば市のつくば国際会議場にて開催される予定であり、大会長は大橋教良教授であることが発表された。今回の大会は非常に有意義なものであり、登山医学研究に対する意欲を掻き立てるものであった。最後に、旅費のサポートをいただいた名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班に感謝いたします。

酒々井眞澄, 佐々木貴久, 松本晴年, 坪井謙, 三浦裕, 薊隆文, 「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量と急性高山病発症との関連」 登山医学 Vol.37:144-149, 2017



ポスター発表にて(向かって左から薊先生、酒々井先生、藤永、田中)



会場の様子



## 蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量(mL/kg/h)と急性高山病発症との関連

○酒々井眞澄<sup>1),2)</sup>、佐々木貴久<sup>1)</sup>、松本晴年<sup>1),3)</sup>、坪井 謙<sup>1),2)</sup>、薊 隆文<sup>1),4)</sup>

1)名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班、2)名古屋市立大学大学院医学研究科、3)名古屋市立大学医学部附属病院薬剤部、4)名古屋市立大学看護学部

### 【背景と目的】

我々は名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所を受診した登山者のうち 1,064 名を対象に登山中の水分摂取量と急性高山病(AMS)発症との関連を解析した結果、水分摂取量が 1,100 mL より多いと AMS 発症率が有意に少ないことを明らかにした(登山医学, 37: 144-149, 2017)。本研究では、水分摂取量の算出について縦走・非縦走の影響、各人の体重および登山時間での標準化、症例数を増やすことにより統計学的により詳細な解析をめざした。具体的には、カイ 2 乗検定により AMS 発症と水分摂取量との関連を解析した。

### 【対象と方法】

2008~2017 年に当該診療所を受診した登山者 1,515 名を対象とした。診療録より、AMS と非 AMS の患者数、縦走・非縦走登山者数、登山時間・体重および各患者の水分摂取量などの情報を抽出した。解析に必要な情報がそろった患者のデータを用いて解析した。ROC 曲線にて AMS 発症に関わる水分摂取量の cut-off 値を算出し、この値を基にカイ 2 乗検定を行うことで AMS 発症と水分摂取量との関連を解析した。

### 【結果と考察】

縦走登山者(n=292)での ROC 曲線から水分摂取量(mL/kg/h)の cut-off 値は、1.86 であることが分かった。水分摂取量 1.86 以上での AMS 患者数は 52 名、非 AMS 患者数は 149 名、水分摂取量 1.86 未満での AMS 患者数は 39 名、非 AMS 患者数は 52 名であった。カイ 2 乗検定の結果、水分摂取量が 1.86 より多いと AMS 発症が有意に少ないことが分かった(P=0.00432)。非縦走登山者(n=533)での ROC 曲線から水分摂取量(mL/kg/h)の cut-off 値は、2.76 であることが分かった。水分摂取量 2.76 以上での AMS 患者数は 87 名、非 AMS 患者数は 173 名、水分摂取量 2.76 未満での AMS 患者数は 119 名、非 AMS 患者数は 154 名であった。カイ 2 乗検定の結果、水分摂取量が 2.76 より多いと AMS 発症が有意に少ないことが分かった(P=0.0206)。

これらの結果から、本研究の対象データでは AMS の発症には体重・登山時間で標準化した水分摂取量が関連している可能性がある。今回の解析では解析に必要な情報がそろった患者のデータに限られていることから今後は体重・登山時間の正確な把握に努め、症例数を蓄積することで頭痛と水分摂取量との関連をより正確に調べたい。

# 症例報告

至学館大学健康科学部栄養科学科教授

三浦裕医師

7 班学生:M5 瀬古健登 M2 中野聖也 N2 坂井芙美花 M1 三鬼龍馬 N1 小原流美香

8 班学生:P4 堀優華 M2 岩瀬正之 M3 井上右喬 M1 安藤有希乃 P1 戸室幸太郎

## 【患者】

70 歳女性

## 【主訴】

気分が悪い

## 【現病歴】

入山 1 日目燕岳登山中に頭痛と嘔気を自覚し、燕岳診療所で高山病と診断された。酸素吸入を行い、症状の改善がみられた。入山 2 日目、大天井岳、常念岳へ縦走し、症状が悪化したため常念岳診療所で再度酸素吸入を行った。入山 3 日目、蝶ヶ岳へ縦走中に再び頭痛と嘔気を自覚し、ヒュッテ到着後 14 時に来診した。

## 【食事】

朝食:食欲あり 昼食:梅干し

## 【登山時水分量】

水(500 mL)

## 【登山時間】

8 時間

## 【初診時所見】

嘔気と頭痛があり、嘔吐はなかった。排尿なし。経口での飲水は可能であった。

## 【バイタルサイン】

呼吸数:測定せず SpO<sub>2</sub>:88%(→深呼吸後 96%) 脈拍:88 回/分 血圧:138/88 mmHg  
体温:35.5 °C

#### 【尿所見】

白血球:(1+) ウロビリノーゲン:0.1 蛋白質:(-) pH:5.0 潜血:(3+) 比重:1.025  
ケトン体:(3+) ブドウ糖:(-)

#### 【AMSスコア】

8点(頭痛:1 消化器:2 疲労感:2 めまい:0 睡眠:1 意識:0 歩行テスト:0 浮腫:2)

#### 【既往歴】

高山病(2017年)、低血圧症

#### 【登山歴】

12回/年 2年

#### 【薬剤アレルギー歴】

特記事項なし

#### 【経過、転帰】

聴診で異常所見認めず、深呼吸でSpO<sub>2</sub>の改善がみられたこと、行動8時間で水分摂取量500mLであることから脱水症と診断した。症状は脱水によるものと説明し、深呼吸と水分摂取の指導を行った。翌日上高地方面へ下山した。

#### 【学生からの考察】

脱水発症の要因として、行動8時間で水分摂取量500mLのみであったことが挙げられる。水分摂取量に関して患者様は「すごくたくさん飲んだ」と話されていた。十分な水分摂取量であれば症状増悪を防ぐことができた可能性がある。水分摂取や高山病についての知識は、診療班が予防的介入や雲上セミナーを通して登山者に伝えることができる。今後も安全登山の啓発活動を続けていく意義を実感する症例であった。

#### 【三浦裕医師からの考察】

脱水症と診断した。ただし尿ケトン体(3+)となった病態を考える必要がある。エネルギー源としての炭水化物などの糖質が不十分であると、体内の脂肪がエネルギー源として分解されケトン体が血中に放出される。ケトン体の血中濃度が高まると、吐き気、頭痛、腹痛を催し、嘔吐中枢を刺激する。ケトン体は尿へ排泄されるので、脱水状態では排泄効率が低下して、症状が悪化する。つまり本症例は脱水が背景にあり、ケトン血性嘔吐症の病態が悪化したと考えられる。嘔吐があれば点滴による補水が必要になる。この患者さんは過去に「高山病」と診断されて酸素投与を受けた経験があるにもかかわらず、またこの症状を繰り返した。患者さん自身に、酸素投与よりも水分摂取と糖質補給が有効であることを理解していただき、今後の登山で発症予防ができることを期待する。

## 臨時班について

臨時班1班リーダー 医学部6年 中島亮

臨時班2班リーダー 医学部5年 羽柴文貴

### 臨時班1班

#### <背景と目的>

現在診療班では、カリキュラムの都合により7月中の登山が困難な学生が多い。2018年は開所後、2週間程度学生が不在になり、医療スタッフのみが診療所に滞在し、その後学生がサポートをする予定であった。しかし、2018年のカリキュラムでは最上級生である医学部6年生、看護学部4年生に海の日以降に登山が可能な者がいた。彼らをメンバーにして臨時班を組織し、7月末の正規班が登山をするまでの「繋ぎ」として活躍してもらうこととした。臨時班の存在により、学生が診療所にいないことで7月中の参加を躊躇される医療スタッフや、臨時班員をよく知るOBOGの方に参加していただきやすくなると考えた。

#### <登山日程>

7月27日(金)～7月30日(月)

#### <成果と反省点>

登山自体は台風の接近により中止になった。期間中の医療スタッフは、相澤病院の坂口秀弘医師、診療班OBの下方征医師および今村篤医師(H30卒)やOGの西垣萌看護師・上田衣理看護師(共にH29卒)が参加してくださった。大学を卒業して診療班を一度離れると、診療班の情報を得ることが難しく、携わる学生についても分からないことがある。このように日程の空いている上級生を班員とした場合は繋がりが残っていることが多く、関係者の間で連絡を取りやすい。2019年は、カリキュラムによると学生不在期間は1週間以内であると予想される。医師不在期間が見込まれる場合には、OBOGや大学院生の参加を考慮する。

### 臨時班2班

#### <背景と目的>

診療班では卓上水銀血圧計の廃棄を進めている。並行して、診療所にある使用していない水銀血圧計も処分する方向である。荷下げを条件に三浦裕医師(至学館大学教授)に引き取っていただいた。荷下げ時の破損を防ぐために、丁寧な梱包と取り扱いが必須であるため、水銀血圧計の荷下げを目的とした臨時班を編成した。また、新入生の臨時班員が診療所での経験を積む事で、来年以降の診療活動の質の向上を目指した。

#### <登山日程>

8月14日(火)～8月15日(水)

#### <成果と反省点>

短い滞在であったが臨時班員が正規班と同様に経験を積むことができ、来年以降の活動につながると思われた。

## 2018 年度雲上セミナー記録

安全登山の啓蒙や登山者との交流を目的として、私たちは蝶ヶ岳ヒュッテ内の食堂にて、午後 7 時から 1 時間程度の雲上セミナーを継続して行っている。雲上セミナー後に血圧測定や経皮的血中酸素飽和度測定を行うことで登山者の体調管理に役立っている。

日付	標題	発表者
7月15日	高山病の症状と予防	酒々井眞澄医師
23-25日	高山病	水野翔太大学院生
	かんたん！肩こり解消！	梅本銀河大学院生
8月2日	骨盤を使って楽に登ろう	M6 内藤裕
	山の上での水の事故	上家和子医師
3日	がん予防物質の追求---介入研究によるラクトフェリンの同定	津田洋幸医師
5日	ペルセウス座流星群	M5 中島晴菜
	高山病について	P6 村田彩乃
6日	呼吸－地上・エベレスト・水中動物 様々な環境での適応	薊隆文医師
11日	高山病	M1 土屋佑太
	流星について	N1 浅野今日子
	トリカブト毒:アコニチンアルカロイドを究める	青木康博医師
14日	全身持久力の加齢変化、熱中症	三浦裕医師
15日	ライチョウ	M1 安藤有希乃
	高山病	P1 戸室幸太郎
16日	温泉	M1 北野暁也
	高山病について	N1 萩智佳子
	テロに遭遇した時の対応	武田多一医師
17日	高山病	M1 安藤魁星
	蚊	N1 増田梨沙
18日	高山病について	M1 神田伸一
	金沢のオススメスポット	M1 島田里奈
19日	高山病について	M1 古川省三
	山について	M1 大藏愛里

2017 年より、セミナーの内容を名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班のホームページに載せていますので適宜ご参照ください。

## 高山病についての雲上セミナー

### ○総括

今年度は山頂にて学生が高山病についてのセミナーを計7回行った。いずれのセミナーも、症状・対処法・予防法を中心に高山病の概要を説明し、あわせて診療所の紹介をすることで診療所の存在を周知する好機ともなった。診療所に来診される患者の約28%が高山病であることから、雲上セミナーにて高山病について知ってもらい予防を促す活動は、登山者に安全な登山をして頂くために肝要である。

### ○聴講者からの質問

以下に今年度挙げた質問を記載する。

#### 〈水分〉

Q.水分はどのようなタイミングでとるのがよいか。

Q.OS-1 やポカリなどは登山に有効か。

#### 〈酸素〉

Q.SpO<sub>2</sub> はどれくらい以下だとまずいという判断基準はあるか。

Q.登頂後に SpO<sub>2</sub> を計ってもらって低かったが、高山病との関係はあるのか。

Q.診療所では酸素を投与してくれるか。

#### 〈対処〉

Q.なぜ高山病の処置として保温がいいのか。

Q.下山できないときはどうすればいいか。

Q.携帯酸素ボンベは効果があるのか。

#### 〈その他〉

Q.過呼吸と高山病は違うか。

Q.高山病と熱中症は違うか。

Q.深呼吸を登山前することは有効か。

Q.食事などを登山前に工夫することで高山病は回避できるのか。

Q.なぜ医学部に入り、ここで高山病の講義を行おうと思ったのか。

## スタッフによる雲上セミナーおよび学生による高山病以外についての雲上セミナー

7月15日

### 高山病の症状と予防(酒々井眞澄医師)

高山病についての基本的な知識や予防法、対処法を紹介した。学生による発表とは異なり、医師としての視点に基づいた内容であった。



7月23-25日

### 高山病(水野翔太大学院生)

高山病とはどのような病気なのか、どのような症状があるのかを中心に発表した。特に登山に必要な水分量の説明をしているときに聴講者は驚いていた。

### 3. 最適な水分量は確保

目安としては・・・

**水分量(ml)**  
**=体重(kg) × 登山時間(h) × 5**

Q. 体重50kgの人が6時間登山する場合は？  
50kg × 6時間 × 5ml = 1500ml

水やお茶だけでなくスポーツドリンクを飲む！

Q. ダイアモックスは診療所にあるか。効果はあるか。

Q. 小さい酸素吸入器は意味があるか。

### かんたん！肩こり解消！（梅本銀河大学院生）

参加者と一緒にストレッチをして和やかな時間をすごした。特に呼吸をしながらストレッチをする場合には高山病予防と肩こり予防ができると好評であった。



8月2日

### 骨盤を使って楽に登ろう(M6 内藤)

骨盤を解剖学的に説明することによってわかりやすく導入し、独自の観点も加えた楽な山の登り方を伝授した。参加者は熱心に耳を傾けている様子で、廊下でヒュッテスタッフも聴講していた。

### 骨盤をうまく使う下準備が大切！

- ①荷物の適切なパッキング  
→体の軸を安定させる
- ②腰ベルトをしっかり締め、体にフィットさせる  
→ザックは肩で担ぐのではなく、骨盤で持ち上げる

Q. ザックを背負ったまま胸を開くのは大変じゃないのか。

### 山の上での水の事故(上家和田子医師)

山の上での水の事故は少なくない。溺水したときは助けを求めるとはならず、服はそのまま、大の字になって浮いて待つことが基本である。命に関わるような重要な内容だったため、参加者は熱心に耳を傾けて聞いているようだった。

8月3日

### がん予防物質の追求--- 介入研究によるラクトフェリンの同定(津田洋幸医師)

自身の研究でラクトフェリンががん予防に効果を示すことが明らかになったことを紹介した。たまにジョークを使って笑わせるなどして、真面目かつ楽しい雰囲気でのセミナーだった。



Q.ラクトフェリンは子供も飲んでよいのか。

Q.サプリ以外でラクトフェリンを取り入れたいときはどうすればよいか。

8月5日

### ペルセウス座流星群(M5 中島)

ペルセウス座流星群の観察方法として、夜中を過ぎてから街灯のない場所で空の広い範囲を見渡すのが良いと発表し、参加者は興味津々な様子で聞いていた。

8月6日

### 呼吸一地上・エベレスト・水中動物様々な環境での適応(薊隆文医師)

登山と呼吸について紹介した。酸素について基本的なことから医療への応用について説明した。参加

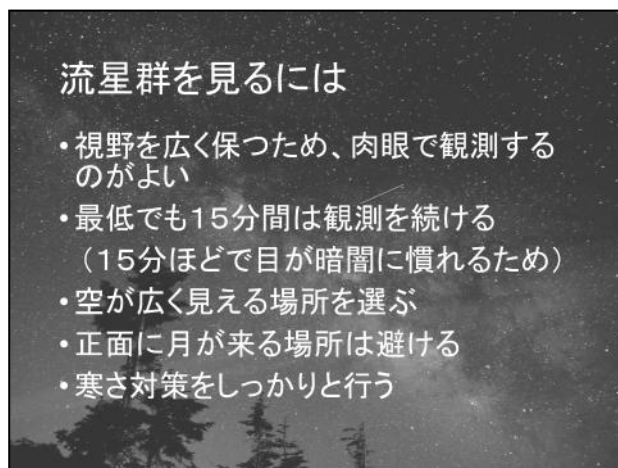
者は登山における重要な呼吸生理について、より深い理解を得られたようであった。



8月11日

### 流星について(N1 浅野)

流星群の概要や特徴、流星群と流星の違い、ペルセウス座流星群、ペルセウスに関するギリシャ神話について発表を行った。



Q.流星はどうして生じるのか。

### トリカブト毒:アコニチンアルカロイドを究める(青木康博医師)

難解な内容にもかかわらず、咀嚼した内容で、多くの聴衆が聴き入っていた。トリカブトの話では、蝶ヶ岳にも咲いている身近な植物であることに加え、過去の事件も絡めた内容で、参加者の多くが興味を示していた。

Q.トリカブトは触れるだけでも毒なのか。



8月14日

全身持久力の加齢変化・熱中症(三浦裕医師)

トレーニングを続けることで60代でも20代並の体力を維持できるという内容や、遺伝的に熱中症で亡くなるリスクの高い人が日本人の15%いるという話があった。

**トレーニングを続ければ、  
人間は18歳から63歳まで同等の持久性の  
運動能力を維持できる。**

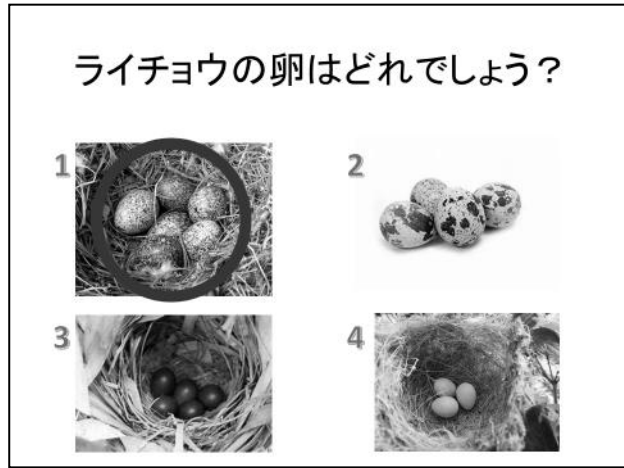
**トレーニングを止めれば、  
60歳で体力は1/3に激減する。**

Q.登山中に汗が多くなり尿が減るのは大丈夫なのか。

8月15日

ライチョウ(M1 安藤)

生態(鳴き声、オスとメスの見分け方、毛の生え方、主食など)、天敵、名前の由来、人工ふ化(絶滅危惧種のため)について紹介した。



- Q.ふ化したライチョウはどうやって育てているのか。
- Q.ふ化したライチョウはどうするのか。山へ戻すのか。
- Q.オスのライチョウはあまり見たことがないが、どうしているのか。

8月16日

温泉(M1 北野)

蝶ヶ岳周辺の温泉の中で、3つの温泉をピックアップして具体的に説明を行った。

そこで、いくつか個人的に  
ピックアップして紹介します！

1つ目 安曇野しゃくなげ温泉  
2つ目 豊科温泉 湯多里山の神  
3つ目 安曇野みさと温泉  
ファインビュー室山

Q.3つの温泉を選んだ基準は何か。

テロに遭遇した時の対応(武田多一医師)

日本では、外務省が個人のテロ対策として「伏せる・隠れる・逃げる」などを教育しており、東京オリンピックも控えているためこれらの普及が必要であるという内容を発表した。

**・銃撃・ナイフ・爆弾テロに遭遇した場合、**

日本	米国	英国
伏せる 隠れる 逃げる	Run Hide Fight	Run Hide Tell

8月17日

蚊(N1 増田)

蚊の活動の活発になる温度帯、日本にいる蚊、どんな場所に生息しているのか、蚊が寄ってくる人の特徴、刺された際に痛みを感じない理由、蚊の危険性について発表を行った。聴衆は終始真剣に聞き入っており、蚊と注射針の太さの比較をした際には、大きな反響が得られた。

## 対策

・環境を整える

・汗をこまめに拭く。

・運動をするとき、お酒を飲んだ後は虫よけスプレーなどで予防。



山岳部の大会とは...

体力 知識 炊事 設営 植生 気象 読図

目的▷▷▷安全な山行力を身に付ける

特徴▷▷▷女子17kg男子21kgの歩荷レース  
装備品もチェックされる

Q.蚊は体温でも近づいてくると聞かすが、スパッツやアンダーウェアなどは効果があるのか。

Q.おすすめの山小屋はどこか。

8月18日

### 金沢のオススメスポット(M1 島田)

金沢出身として、金沢に行ったときに訪れるべき場所、個人的におすすめの場所などを実際に写真を見せながら発表を行った。

来週は金沢へ！



8月19日

### 山について(M1 大藏)

高校時代に山岳部に所属していた経験を活かし、過去に訪れた山や山岳部で参加した大会について紹介した。また、その際に宿泊した施設の感想などを発表した。



## 参加者感想文(登山順)

### 【9年目の蝶ヶ岳診療所】

深夜にやまと館着(平湯温泉)、早川先生と松本先生の3名で登山始め、古畑支配人と原田先生、上條社長と上條支配人に挨拶、準備班、準備班ポーターの班員と一緒に活動。鈴木千恵様と日高理彩様に挨拶、村上先生、明石教授、鈴木様、桜井様と合流、班員は皆元気、増田教授(知の市場)と意見交換、雲上セミナー、週末で受診者計15名。酒井支配人に挨拶しようとして大滝山荘へ行くもオープン前。皆様どうもありがとうございました。

(診療班代表 医師 酒々井眞澄)

### 【毎年新鮮/活動5回目】

1)高山夕食/平湯前泊 2)徳沢-長堀山;5月の視察で出会ったタクシー運転手と再会。酒々井代表/早川先生と上高地BCへ。梓川から見上げた明神岳の勇壮な光景が脳裏に刻まれた。登りたい 3)焼うどん;1時間炒めた玉葱が絡まり美味 4)散歩;クルマユリに癒された。大滝山頂からの上高地/穂高岳/槍ヶ岳の初眺望 5)横尾にて;槍ヶ岳(7h)/横尾大橋-涸沢(3h)。登りたい 6)せせらぎ街道;おかげ様で事故なく帰宅。

(薬剤師 松本晴年)



### 【徳沢ルートからの挑戦】

蝶ヶ岳診療班への参加は4回目になるが、今年三股ルートが崩壊の危険があるということで、初めて徳沢ルートから蝶ヶ岳へアプローチすることになった。今回も1泊2日と滞在時間は短い、徳沢ルートの調査という意味では十分に意味のある山行になったと

思う。また天気にも恵まれ、山頂では天の川と日の出を写真に収めることに成功し、個人的にも満足できた。この素晴らしい景色を写真に収める為に、来年もまた来たいと思う。

(運営委員 薬剤師 早川智章)

### 【14年目にして、ようやく参加!】

着任当初から「いつかは…」と思っていた蝶ヶ岳。整形外科医と理学療法士という最高の同行者、そして最後の数百メートルを迎えに来てくれた学生のおかげで無事に山頂到着。穂高連峰や槍ヶ岳を眺め、学生のカレーライスを味わい、ほんの少し診療所のお手伝い。夜空を楽しむ余裕のなかったことが心残り、下山後は下肢の浮腫みと眠気、筋肉痛で悩まされました…。でも、とっても素敵な時間でした。ありがとうございました!

(看護師 明石恵子)

### 【お留守番】

今年の夏は、はじめて山上で一人留守番をすることになりました。海の日(三連休)。「何かあったらどうしよう」とちょっとだけドキドキしていましたが、素晴らしい景色をバックに、ベンチで本を読んだり、心地よい風を感じながら、お昼寝したりと、山上を満喫。のんびりと過ごさせていただきました。ありがとうございました。

(看護師 鈴木美帆)

### 【ヘルスプロモーションと診療所】

ヘルスプロモーションの観点から皆さんの取り組みを見ると、高山病などの雲上セミナーや、パンフレットの作成は、病気を知り予防するためのヘルスリテラシーに関わり、テント場などを見て困っていないかをみるのは、アウトリーチであるのかなと思います。これに、なぜ夜行で来て無理して登り、不調になる人を個人的な問題にしないで、その背景を探る健康の社会的決定要因も考えてはどうかと思います。これからの医療人の姿です。

(医師 早川純午)

### 【安心のオアシスと診療班の活躍】

今年は好天にも恵まれ、早川、遠山の両医師に同行いたしました。往路は、徳本峠⇒大滝山、復路は長堀山⇒徳澤園と一筆書きで、三股往復とは全く違う感動の連続でした。例年、学生さんに医学系進学の動機や夢などを聞く事と野点珈琲で集うのが楽しみでしたが、学生不在で残念。診療班の活動は、山行時には安心安全の心のベースキャンプ。その診療班から多くの「赤ひげ」輩出と、班運営で「継続は力なり」の実践を今後も望みます。

(早川医師同行者 河本俊和)

### 【蝶ヶ岳の思い出】

天候に恵まれて、三日月、金星、大接近の火星と、穂高、槍の夕焼けを見ることができ、ラッキーでした。放射線科の私は高山病といえば肺水腫、可逆性脳梁膨大病変の画像しか見たことなかったです。高山病とは高い山で発症する脱水と電解質異常に不適切な補水によるものと考えると各症状、肺水腫、脳梁膨大病変の説明がつくと納得しました。次回は学生さんのいる時に登りたいです。

(医師 遠山淳子)

### 【例年とは異なる、カンソウ文】

月曜日は、観相に反して閑窓ではなかった。重症はなかった。山頂では歓送会にむけての動画撮影。

登山道は、出鱈目に暑くて標高が上がると暑くなる。下山と共に尚暑くなる。下界では、大雨被害甚大、山頂は降水不足で乾燥している。蝶沢からベンチの辺りは雨の形跡がある。空には火星、近くにあるから、ヒボシになるのか。

北海道は、大雪、低温、大雨、早魃で乾草の質が悪い。観想を換装した。完走と間奏には無縁である。

(医師 岡嶋一樹)

### 【2年ぶり6度目】

「なんでカルピス(原液)を2Lも買ってしまったんだろう」初の徳澤-長堀ルート、最初の急登でこれだけを

ずっと考えていました。なんとか切り切ってホッとしたのも束の間、翌日、位田看護師のザックから現れたのは、なんと、カルピス。結局、寝ても覚めても、診療中も、単純計算 12.5L(希釈後)のカルピスをひたすら飲み続ける感慨深い山頂となりました。なんていうか、まあ、来年も登れたらいいな。

(大学院生 水野翔太)



### 【山頂で誕生日を迎え、、、】

誕生日プレゼントとして M6 野田からアルウエッティの空袋をもらった修士 2 年の梅本です。様々なハプニングがありましたが「神は乗り越えられる試練しか与えない」と言う様に、蝶ヶ岳をよく知る OB・OG と M6 の学生とともに無事困難を乗り切ることができました。来年から東京で会社員生活が始まりますが、奇しくも水野君との腐れ縁(会社が隣の駅)は続くので、予定を合わせて一緒に登れたらなと思っています。それでは、また。

(大学院生 梅本銀河)

### 【今年の蝶ヶ岳】

今年にはトラブルもあったが、皆様の協力があり、無事に参加することが出来た。去年は台風で参加できなかったため、2年ぶりであった。素敵な先生、学生さんたち、ヒュッテのスタッフさんたちに恵まれ、充実できた日々だった。特に、常念までお散歩に行っている途中で雷鳥の親子(なんと親1羽、子7羽!)に出会えて最高だった。また登るぞ!

(看護師 位田あゆみ)

### 【スタッフとして初参加しました】

学生の時、同じスケジュール部門の森看護師と卒業したら一緒にスタッフとして登ることを約束しました。その約束を今年の夏山で果たすことができるとも懐かしく、嬉しい気持ちでいっぱいです。山頂では医師は私だけだったので不安もありましたが、運営委員の先生方、頼もしく成長した後輩たち、そして同期の看護師たちに支えられながら無事に活動できたことに感謝しています。今後も診療班の活動に参加していきたいと思います。

(医師 坂田晴耶)



### 【♡皆さんありがとう♡】

登る前から、大好きな診療班の皆に会えることをとても楽しみにしていました。さまざまなトラブルや予想外に多い重症患者さんたちにびっくりしましたが、このメンバーだったからこそ乗り越えることができたと思います。多くの患者さん達から「ありがとう」の言葉をいただけたことを糧にして、これからも看護のお仕事を頑張っていきたいと思います。また蝶登らせてください～～～！

(看護師 森まりか)

### 【危険な猛暑の地上を離れて】

幸い重篤患者も出ず、1班2班のみなさんと、最高気温 21-22 度、昼間は穂高連峰を臨み、夜は大きな火星や流星も見える天上生活を楽しむことができました。順天堂大の表敬も受けて情報交換もできました。数少ない受診者でしたが、なかに、高校山岳部生がいました。子どもへの対応には、少し工夫が必要と思

われました。それも含め、学生にはいい経験になったと思いました。

食事は毎回おいしく、特に巨大プリンがプチ贅沢でした。

(医師 上家和本)

### 【山頂活動を終えて】

診療所並びにヒュッテスタッフの皆様、今年も大変お世話になりました。

これを書いている9月4日も台風21号で大荒れですが、診療所で活動を予定していた前日も台風12号の影響を受け、予定を変更せざるを得ない状況でした。その結果、山頂一泊となりました。来年こそは山頂二泊で、自慢のフルーツポンチを振る舞いたいです。今年も本当にありがとうございました。

(救急救命士 若島芳介)

### 【Super MARS の夜】

今年は、豪雨や台風で三俣の登山道が崩れ通行が危ぶまれるなどのハプニングがありましたが、天気もよく埃が少なく、天文ショーが美しかった。南の空にオレンジ色に輝く火星や天の川を楽しむことができました。山頂では、お忍び？で来ていた三浦総務課長とも合流、大自然の中で豊かな時間を持つことができました。事務といえば直接医療に関わりませんが、先生の話し相手、荷物運びくらいはできます。引き続きお願いします。

(大学事務職 黒野正裕)



### 【今年も皆様に感謝】

今年もスタッフとして参加できたことを関係者の皆様に御礼申し上げます。今年は天候に恵まれ曇も殆ど無く、連日の登山日和でした。登山者が寝静まった夜中、天の川撮影のために津田先生と二人で小屋周辺をウロウロしていたことも良い思い出になりました。来年に向け、更なるランニング強化で体力作りに励んでいきます。

(臨床検査技師 小熊孔明)

### 【夏山に想う】

今年も夏山診療に参加することが出来た。12年のブランクから昨年復帰することができ、2年連続の参加となった。自身の学会発表と家族サービスの合間のスキマ時間を使っただけの登山であったが、天候にも恵まれ、また、適度にお役にも立てたようで、大変充実した夏休みとなった。

毎年思うことだが、ここに参加する学生さんの今後の素晴らしい活躍を願わずにはいられない。そしてその活躍の合間にぜひまた戻ってきてほしいと思う。

(医師 松浦武志)

### 【21年目の活動】

今年も、三股登山口への林道に危険箇所があり、上高地経由で入山した。2006年に林道の路肩が崩落して以来のことになる。朝4時に名古屋を出発、東海北陸自動車道経由で平湯温泉に車を止め、上高地・徳沢・長堀山ルートで入山した。これまでの診療のなかで、深夜に遠方から車で来て、すぐ入山し調子を崩す人を多く診てきたが、もう少しで自分も仲間に入りそうであったところ、長堀山頂の下まで迎えに来てくれた佐藤椋君のおかげで、山頂までたどり着くことができた。今年も暖かく迎えてくれた蝶ヶ岳の自然に感謝。

(医師 浅井清文)

### 【3匹の天狗を見た!!】

8/6,7と参加しました。台風13号接近に伴い、7日

から一時閉所となりました。6時半、徳沢へ向けて下山を開始。けっこういいペースで下って行きましたが、8時頃、上の方がガサガサします。振り返ってみると、白っぽい服で何かを背負って、すごい勢いでこちらへ向かってくる3匹(人)、「薊先生!!」。後から降りてきた学生さんたちでした。徳沢のテントをたたむので急いで駆け降りていたのでした。「3匹の天狗を見た!!」。(診療所長 医師 薊隆文)

### 【蝶ヶ岳に遊ぶ】

台風に見舞われ、2年続けて一時閉鎖中の診療所に赴くことになりました。今年も台風通過直後の登山で、道中雲の中を歩いている感じで、期待していなかったのですが、稜線に出たら穂高連峰が一望でき、疲れが吹き飛びました。診療にはあまり貢献せず、加藤さん、杉山さんにはもうしわけなかったのですが、雷鳥とトリカブトが歓迎してくれ、学生さんとも楽しい時間を過ごせました。この場をお借りして御礼申し上げます。

(運営委員 医師 青木康博)

### 【せわしい山】

滞在3日間は忙しかった。学生さん達は、休診後の立ち上げで荷物チェックなど忙しく、1年生も初めての参加とは思えないフットワークで働いていました。私は、強風に飛ばされたWBGT温度計を探し続けていました。翌日は医師交代までの合間に、娘の薬を求めに父親が来て班長が慌ただしく対応していました。そのような中で適切に対応することができたのは、ヒュッテ勤務の日高理彩さんのおかげです。ありがとうございました。

(理学療法士 藤堂庫治)





### 【星空】

私は10年前に神谷圭子さんと相談して、学生・山小屋従業員が星空を観望して楽しめるように、蝶ヶ岳ボランティア診療所設立記念として天体望遠鏡を設置した。この経緯は完全に忘れられて、架台まで分解されて誰も使おうとしない現状を見て寂しかった。私は望遠鏡を組み立て直して、火星、土星、木星、金星、明け方の水星、新月のペルセウス座流星群を観た。蝶の星空は健在だった。白鳥座デネブ周囲の銀河が特に美しい。

(特別運営委員 医師 三浦裕)

### 【蝶ヶ岳で過ごして】

2018年8月に2泊3日で登山しました。お盆休み過ぎでしたが患者さんは少なくのんびりしました。私が登った後で昼過ぎから雷雨、翌日は寒冷前線の風雨で荒れ模様でした。学生達はズブ濡れで手足が冷え、山の厳しさを経験し成長していました。自炊は工夫が凝らされ美味しかったです。3日目朝は槍穂稜線がきれいに見え、高山植物や森林歩きをのんびり楽しみました。蝶ヶ岳診療所と学生教育のより一層の発展を期待しています。

(医師 武田多一)

### 【予防的介入】

私自身も、登山者の様子観察を兼ねて、パルスオキシメーターを手に持ち、登山者へお声かけし診療所の宣伝&予防に対する啓蒙活動をさせて頂きまし

た。学生さんによる雲上セミナーも予防的介入として素晴らしいセミナーでした。今年は多くの登山者とは関わられたものの学生さん達との時間が少なくなってしまったのが心残り。来年の自分の課題となりました。

御一緒させて頂いた皆様、ありがとうございました。  
(看護師 浦川陽子)

### 【蝶ヶ岳診療所】

今回、浦川さんのお声掛けで蝶ヶ岳診療所の活動に参加することになった。

診療所に着くと、学生スタッフが出迎えてくれ、美味しい食事や世話をしてくれ本当に感謝している。

小屋内でSpO<sub>2</sub>の測定をし、登山者と話していると、次々『私も...』と声がかかる。皆、自分の身体に関心を持っていると思うと嬉しかった。自分の健康状態を把握することは事故予防につながる。今後も山岳事故を対症療法ではなく、予防していきたい。

(看護師 福島弓子)



## 学生感想文

### 【気になる日々】

夏山期間、ほぼ毎日、たくさんのメーリスが流れる。班員が無事に登山下山できたか、どんな患者さんが来たか、山頂はどんな一日だったか……。いろいろなことが気になる。天気予報、特に台風も気になる。幹部学年の夏山期間はこれまでと違うものだった。開所前は夏山に向けて抜けないように準備してきたつもりでも直前になってやり忘れていることに気づくことや、開所中に予想外の事態が起こって慌てることもあった。それでも診療班が無事に今年の活動を終えることができたのはたくさんの方々に助けていただいたからに他ならない。感謝である。

今年は例年に比べて幹部学年の人数が少なく、一人でも欠けていたら円滑な運営はできなかった。本当に頼りになる仲間ばかりで、このメンバーで無事やり遂げることができて嬉しく思う。

個人的な話を少しだけ。山頂生活は班員にも天候にも恵まれてとても充実していた。今年もまた、来年戻ってきたいと感じる夏山であった。

(医学部学生代表 2班 M3 畑中景)

### 【下界での夏山】

私は今年、夏山に登ることはできませんでした。他部活と兼部していることもあり、登れないことはわかっていたはいましたが、これまで2年間登ってきていたので寂しくもありました。しかし、今年は幹部学年であり、私は看護学部代表と薬剤部門を兼任しているため、なかなか忙しい夏山期間を過ごしました。登れなくても下界でできることはあると思い、看護代表として、そして薬剤部門の一員として、みんなが安全に楽しく夏山期間が過ごせるようにしていけたらいいなと思って取り組んでいました。今年は登山ルートが変わったり台風が多かったりとバタバタの夏山期間でしたが、無事に今年度の夏山期間を終えることができほっとしています。

幹部として裏方に徹して過ごしたこの今年の夏山期間を通し、私たちの活動は、多くの皆様の助力が

あり成り立っているということを改めて感じました。今後もより良い活動を目指していきたいです。今後ともよろしくお願い致します。

(看護学部学生代表 N3 大谷友里香)

### 【7月と8月のダブル登山】

毎年の準備班と久しぶりの8月登山。2回登りましたがどちらも充実した夏山でした。準備班は4年目となり、後輩に教えつつ作業をこなすことの難しさを実感しました。患者さんも多かったですが、準備班とポーターの班員総出で乗り切りました。臨時班は1泊滞在でしたが、夜や下山日の朝は天気にも恵まれ、密度の濃い夏山でした。また臨時班2班や山頂で被った8班の優秀な後輩にも助けられました。ありがとうございました。

(準備班リーダー 臨時班2班リーダー

M5 羽柴文貴)

### 【初めての準備班を通して】

羽柴先輩率いる準備班として夏山登山を経験して実感したことは、準備活動のいかに大変たるか、サブリーダーの仕事の幅広さ、そして先輩方や同期のサポートの力強さです。情報技術部門と薬剤部門のみで構成された精鋭揃いの準備班とポーターの先輩方と同期のおかげで、自分は果たしてサブリーダーの仕事を果たせたのか分からない程仕事が楽に感じられ、山頂生活を楽しく送ることが出来ました。この班で登れてよかったです。

(準備班サブリーダー M2 田中秀和)





### 【クソ忙しい準備活動で】

今年は二年ぶり、二回目の準備班登山でした。準備班は全員僕と同じ情報技術部門で普段から馴染みのある人々だったので、コミュ障の僕も楽しくふるまえました。ただでさえ2泊3日と短いのに今年は患者さんが多く、準備活動と加えてとてもやる事が多かったです。しかし、班員全員で分担しながら山頂報告や薬剤カウントを行ったりしたため、結果班でワイワイする時間が多くて良かったと思います。

(準備班 M4 加藤圭)



### 【2018年の夏山】

2度目の夏山は準備班として参加しました。2泊3日という短い期間でしたが、準備活動と診療活動で忙しくも充実した日々を過ごすことができました。一緒に山頂で過ごした同期、先輩、スタッフの方々は素敵な人ばかりで「こうなりたい」と思う瞬間が沢山ありました。また来年、成長して夏山に登ってきたいです。欲を言えば、来年こそは流れ星が見たいです。

(準備班 N2 村田香鈴)

### 【心強い班員】

2年ぶりに蝶ヶ岳で、まさかの準備班の活動に参加し、初めて上高地からの登山も経験することとなりました。微力なサポートしかできませんでしたが、班員の成長がみられ嬉しくもあり、自身も頑張る活力となりました。

今年は虫が多く、虫刺症の患者が連続する蝶ヶ岳ではありましたが、山頂での2泊が短く感じられるほど天気とメンバーに恵まれた良い夏山となりました。ありがとうございました。

(準備班ポーター M6 杉山寛明)

### 【4年目の準備活動】

毎年準備班として参加していますが、今年はずいぶん準備班経験者としては最上級生で臨んだ夏山。そして準備活動であたふたしている中での沢山の来診。正直、結構大変な山頂生活でした。そんな中でも楽しい夏山を過ごせたのは、班員の存在が大きかったなと思います。

班員、先生方、幹部の子たちのおかげで、何とか今年も無事に開所を迎えられました。本当にありがとうございました。

(準備班ポーター M5 眞嶋泉)

### 【濃密な4日間】

今年の夏山は初めて準備班ポーターとして臨んだ。準備班と聞いて、体力と仕事の精鋭揃いの専門集団のようなイメージがあったので不安があったが、夏山では忙しい中も和気あいあいと遊び心も忘れずに過ごすことができ良かった。準備班ならではのヒュッテや各施設のスタッフの方々との交流も楽しめた。もし来年もご縁があれば今年先輩方のように主導的に仕事を回していきたいと思う。

(準備班ポーター M4 鬼頭陽平)

### 【二年目の夏山】

去年よりも一か月以上早い夏山でした。去年は開所式を、今年は開所式を見ることができ、天候にも恵まれ、とても運が良かったと思います。また、準備活動やヒュッテ食、診療班としてはトラブルではありましたが上高地からの登山など、多くのことを経験することができました。班の先輩方、準備班の方々にはお世話になりました。多くの先生方やスタッフの方々とも関わることができ、楽しかったです。ありがとうございました。

(準備班ポーター N2 高田遼)



### 【学生最後の夏山】

今年は学生として登る最後の夏山でした。例年たくさん患者さんを診させていただきましたが、今年度は輪をかけて多く、6年生4人でひいひい言いながら夜中まで山頂報告を書いたことはいい思い出になりました。同期に恵まれ、大好きなOBOGの先輩方の手厚く優しい指導を受け、まだまだと至らない点も多く反省すべき点が見つかった夏山でしたが、来年度以降は医師としてあの場所に再び戻れたらと思えました。6年間ありがとうございました。

(ポーター M6 伊上大毅)



### 【学生最後の夏山】

今年は学生として登る最後の夏山でした。山頂では、中高校生の団体がいたこともありどの日も多くの高山病の患者さんが来診されました。今までの夏山で一番といえるくらい問診や診察にたくさん参加させていただき、周りの方々に支えられながらとても充実した山頂生活を送ることができました。山頂でお世話になったOBOGのスタッフの方々、同期、後輩に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(ポーター M6 野田遙加)

### 【温かい対応に感謝】

今年は(台風の影響で1泊とはなってしまったもの)診療活動に参加させていただくことができました。突然の参加だったにも関わらず、先生方をはじめ先輩そして同期が温かく迅速かつ的確な対応をしてくださったことにより、大変充実した山頂生活を送ることができました。とても幸せな気持ちでいっぱいです。

来年はスケジュール係に早く自分の予定を提出して正式な班員として登らせていただきたいです。

(M2 小野大樹)

### 【また登りますので】

結局今年も1日短くなり、2泊3日の正規班でした。少し短かったなあとは思ったけど、登るだけで幸せ者だと思います。班員にも恵まれて、ずっと笑って山頂を過ごしていましたし、2班とのプロレスも上級生ならではの感じで楽しくやれました。プリンもおいしいし、火星も綺麗だし、お仕事は完遂したし、どこを振り返っても幸せだったなあって思います。なんか自身に言い聞かせてるみたいだね。あ、また来年登るつもりです。

(1班リーダー M6 日置啓介)

### 【6回目の正規班】

今年は私を含め班員3人が卒業生だったので、思い残すことなく夏山を満喫しようと意気込んでいたところ、台風で1日出発が遅れ、初日でいきなり熱を出し、実際に活動出来たのは2日間のみとなってしまいました。しかし賑やかかつ優秀な班員のお陰で素敵な山頂生活を送ることが出来ました。この感謝を忘れずに、来年以降は医師として蝶ヶ岳に貢献したいです。

今までお世話になりました皆様、本当にありがとうございました。

(1班サブリーダー M6 小山絢子)

### 【プリンをめぐる争い】

今回は5回目にして初めて後輩が班にいるという夏山だった。後輩といっても4年生なのでなにかを教える必要もなく、班のメンバーも6年2人、5年4年が一人ずつという上級生班なので、夏山のルーティンワークをサクサクこなし、台風により1日滞在が短くなったのを残念に思いながらも、のんびりとした夏山を過ごすことができていた。次班が来るまでは。

(1班 M5 服部正隆)

### 【蝶ヶ岳 4年間ありがとう！】

早いもので、入学してから4年が経ち、今年も夏山に参加することができました。蝶ヶ岳は、私に、試練、忍耐、思い出、そして、感動を与えてくれた山です。蝶ヶ岳と歩んだ4年間は人生を豊かにしてくれました。毎年見る御来光や星空は、何度見ても綺麗で、飽きません。卒業してからも山頂が恋しくなりそうな予感がします。山頂で一緒にいたスタッフの方々、班員の皆様、診療班に携わる皆様、ありがとうございました。

(1班 N4 白木伶奈)



### 【今年も最高の夏山】

毎年思いますが、今年の夏山が今までで最高でした。初めてのリーダーで、学年もバラバラで少し不安でしたが、知識豊かで料理上手な6年生と、優しくて一生懸命、明るい後輩達のおかげでどの時間を切り取っても素敵な思い出となりました。蝶ヶ岳は毎年新たな発見があつてたくさん登るほど楽しくなる部活ですね。来年は卒業生だし、今年で終わりかなと思つていましたが、また来年も登りたいーい！ありがとうございました。

(2班リーダー M5 吉田理恵)

### 【2班の夏山を振り返って】

今年の夏山で一番印象深いのは、2班の全体を通しての安定感です。班発表から夏山終了まで、しっかりしてるけど優しい先輩方と同期のおかげで、色んなことを伸び伸びとやらせてもらえました。体験でき

た全てが良い思い出です。無事に山頂生活が終わり、その安心感と下山(特に約7キロの平地...)でくたくたになったはずなのに、帰りの車内でワイワイ喋っていた時がすごく楽しかったです。充実した夏山ありがとうございました！

(2班サブリーダー M3 小林礼実)



### 【西瓜】

2班は出発から帰名までずっと会話の途切れのない、とても楽しい、互いに支えあうことができたチームでした。夏山はまだ慣れないことも多かったです、メンバーのお陰で、全力で活動することができました。今度は大玉西瓜を荷揚げすると言ってしまったので、ちゃんと研修医になって、体力も維持し、また登りたいと思います。他大からの参加で、迷惑をかけることも多かったと思いますが、色々な経験ができ、本当に感謝しています！

(2班 M6 内藤裕)

### 【夏山ラスト】

学生最後の、6回目の夏山が終わりました。1年生の頃は何もわからず常におどおどしていた自分でしたが、毎年登るうちに少しずつ医療面接バイタルが上手くなり、少しか頼もしくなっていました。6年生の今でも頼りない面はありますが、前よりは成長できたかなと思います。私にとって夏山はそんな成長を感じられる場でした。最後にこれまで6年間関わって下さった皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(3班リーダー M6 神代崇一郎)

### 【幹部としての夏山】

今年は幹部として夏山に関わっていたので、1、2年の時とは違った視点で診療活動に関われたのかな、と思います。私は薬剤部門なので特に、薬剤カウントはちゃんと楽になっているだろうか、ダブルチェックはスムーズに行われているだろうか、など心配でした。少しでも皆さんの役に立てていたら嬉しいです。今年は初めて4泊5日フルで山頂にすることができ、長くも充実した山頂生活でした。また来年も良い思い出を作りたいです。

(3班サブリーダー M3 福富妃菜)



### 【最後の夏山】

最後の夏山は正規班として登らせていただきました。わたしの夏山史上最高に天気がよく、毎日星空を見ることができました。またメンバーにも恵まれ頼りになる同期、しっかりとした後輩に頼ってしまうことも多くありましたが、医学部とはまた違った視点で診療活動を行うことができたと感じています。来年からは薬剤師として何らかの形で診療班に貢献できるよう努めたいと思います。

(3班 P6 村田彩乃)

### 【5年目の蝶】

2年ぶりに普通の正規班で夏山に登りました。今年はずっとまるっきり景色も違いメンバーも違う夏山で、後輩が同じ班にるのが5年生なのに初めてで新鮮でよかったです。メンバーにも恵まれ気持ち的には三股からの登山よりも楽に登れましたが、先輩方と登る山が最後かと思うと少し悲しい気持ちになりました。

た。お世話になったスタッフの方、先生方ありがとうございました。

(3班 M5 佐藤椋)

### 【やり残したことあったかな。】

登山当日に発生した台風13号の進路に怯えながらの夏山でしたが、多くのスタッフ・先輩や後輩に恵まれ濃ゆい5日間を過ごせました。お世話になった皆様ありがとうございました。個人的に昨年購入したカメラでようやく綺麗な景色や班員の姿を撮ることができて嬉しかったです。5年になっても「初」後輩と登山、「初」山頂でコンタクトレンズとまだまだ初めての体験ができる夏山で、登るたびに思い出が増えていくなあとと思います。

(3班 M5 中島晴菜)

### 【5年目の夏山】

今年度の夏山も上級生ばかりの夏山で山頂の生活はとても充実していました。台風で下山が早まり一時閉所で少し忙しい山頂生活でしたが、無事に次の班に引き継ぐことができよかったです。また今年度は5年目にして初めて上高地側からの登山することができたのは良い経験になったと思います。来年は6年になり忙しくなると思いますが、また参加したいと思える夏山でした。

(4班リーダー M5 加藤悠太)

### 【夏山を終えて】

今年度は例年よりも筋トレを積んでから臨んだにも拘らず山頂で風邪をひいてしまい、診療活動もせず山頂からの美しい眺望を楽しむこともなく、大半を寝て過ごして夏山を終えてしまいました。心残りは多くありますが、先輩や同級生の気遣い、優しさが心に沁みる思い出深い夏山となりました。来年は筋トレ以外のメニューも導入して夏山に臨みます！

(4班サブリーダー M4 船坂珠里)

### 【一時閉所とお肉】

台風接近により、非常に残念でしたが予定より1日早く下山することになり、夏山滞在期間は2泊3日ととても短かったです。しかし、一時閉所の仕方を学ぶという貴重な体験ができたのも事実です。また、登山前に焼肉を食べ、下山後には焼肉とすき焼きを食べるといっても豪華な食事をしました。これも三股ではなく上高地から登る恩恵だと思います。飛騨牛は、口に入れた瞬間にとろけてしまうような美味しさで、とても満足でした。

(4班 M4 石田宗紀)



### 【もう来年が楽しみ】

台風で下山が早まりましたが、登れたことがありがたいことだと実感しました。大好きなげんちゃんとはお別れですが新たにごろちゃんと仲良くなれました。星はピントを合わせるのが難しかったのもっといろんな所に行って練習したいです。また来年あの星を寝転がって眺めたいです。優しい先生方、ヒュッテの方、すごく頼れる先輩、おもしろい、のほほん同期、可愛い後輩に感謝の気持ちでいっぱいです。来年も登れますように。

(4班 M4 桑江優稀乃)

### 【ノスタルジー】

ここに来ると思い出す。空が近いこの感じ、冬季小屋の扉の重さ、独特な時間の流れ。毎年同じ、でも毎年どこか少し違う。振り返るとなんだかノスタルジー。今年はどうな夏山になるのだろう。新しいものに触れるような恐さ、けどちょっと楽しみ。一年生の頃

からこの気持ちだけは変わらない。今年でもう五年生、もしかしたらこれが最後の夏山かも、来年はどんな気持ちになるのだろう、考えるとちょっと切ない。

(6班リーダー M5 吉田匡伸)

### 【二年ぶりの夏山】

今回の夏山が一昨年以来の二度目の夏山で、久しぶりの夏山に不安と期待でドキドキしながら参加しました。台風の影響で二泊三日という短い山頂滞在となってしまったのが残念でしたが、リーダーの先輩や後輩たちに支えられながら濃厚で楽しい山頂生活を過ごすことができました。今年は山頂で晴れた景色を見ることができなかったのが来年度以降に期待したいと思います。最後になりますが、関わって下さった全ての皆様に感謝します。

(6班サブリーダー M3 谷合美南)

### 【充実した夏山生活】

今年台風の影響で本来より2日間短い夏山となりましたが、充実した夏山生活を送ることができました。今年初めて経験することが多く、色々なことを学ぶことができて良かったです。医療面接、バイタルをとり、当直も経験し、満天の星空や日の出を見ることができて、盛りだくさんでした。メンバーにも恵まれ、幸せな夏山だったと思います。また来年も登りたいです。

(6班 N2 井後咲菜)

### 【診療班の一員として】

二泊三日の山頂滞在中、私は初めて医療者の立場で人と相對しました。この経験を通じて私は、診療活動の大変さや責任の大きさを改めて認識すると同時に、この部の活動の貴重さを痛感しました。

今回お世話になった先生、職員の方々、診療班の先輩方、同期、すべての人への感謝を忘れず、来年はより成長してまた山頂に向かいたいと思います。

(6班 M1 土屋佑太)



### 【蝶ヶ岳での診療活動を通して】

私はこの3日間で、初めて医療者として人と接しました。診療所での医療面接やバイタル測定は、思い通りに行えず、医療行為の難しさを実感しました。しかし、患者の方々のほっとした表情を見た時や、感謝の言葉を頂いた時には、胸がいっぱいになり、やりがいを感じました。先輩方や同期にも沢山助けて頂いたからこそ診療所での活動ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。来年はより成長した姿で山頂での活動を行いたいです。

(6班 N1 浅野今日子)

### 【貴重な機会に感謝。】

今夏は2つの貴重な体験をした。一つはヒュッテスタッフ・OB/OGの方々と診療班について話せたこと。各立場からの思いを知ることができた。感じたことを還元していきたい。もう一つは1・2年生の動きがすばらしかったこと。頑張ってくれた後輩たちが、充実した夏山だったと思ってくれたら嬉しい。他に流星群やブロッケン現象、日の出も見ることができた。充実の夏山だった。また来年も登りたい、強くそう思った。

(7班リーダー M5 瀬古健登)

### 【そしてまた...】

登山当日、早朝に目が覚めパンパンに膨れたザックを見る。はあ、こんな重い荷物を持って上がるのか。しばらくして山の中。鉛のような足を気遣いつつ思う。「しんどい。正直、来年はもう体力的にきつくな

いか？」その後、山頂で頼れる先輩方や同期、後輩と助けあいながら診療活動に励んだ。空き時間に散歩に出たり満天の星空に息を呑んだり、気付けば下山当日。辛かった登山中のことなど忘れ去り、早くも来年に思いを馳せている。

(7班サブリーダー M2 中野聖也)

### 【初めての診療活動】

山頂では、先生方から医療面接やバイタル測定のアドバイスを頂いたり、他の山での診療活動についてお聞きしたりと、色々なことを学ぶことが出来ました。

また、勉強会や登山の準備など、登山をする前から先輩方や同期、後輩にお世話になりました。改めてたくさんの人に支えられて、診療班の活動に参加させて頂いているんだなと感じました。本当にありがとうございました。

(7班 N2 坂井英美花)

### 【心躍る蝶ヶ岳】

台風の影響で一日ずれた初蝶ヶ岳、山頂での生活が想像できず不安だらけであったが、山頂に着くと、美しい景色と先輩方によって、そんな不安は払拭されていった。蝶ヶ岳から望む穂高連峰、安曇野の街、満天の星空は心を癒やし、先輩方の頼れる姿は安心感を与えてくれた。私もこんな仕事はしっかりこなすが遊びも大事にし、後輩にも気遣える、心に余裕のある先輩になりたいと心から思った。来年の夏山が待ち遠しい。

(7班 M1 三鬼龍馬)



### 【初めてだらけの蝶ヶ岳】

家を5日も空けること、山に登ること、医療面接バイトルをとること、流れ星を見ること、それら全てが私にとって初めてのことでした。行く前にたくさんあった不安や緊張は一つ一つ経験していくごとに達成感や充実感へと変わっていき、最後にはもう終わってしまうという寂しさに包まれました。私がそのような実りある経験をするにあたり尽力してくださった先輩方、ヒュッテの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(7班 N1 小原流美香)

### 【台風を呼ぶ...?】

今年で4度目の夏山ですが、今までに2度も台風により山頂1泊で早期下山という事例を体験しており、台風を呼ぶと自負していました。今年は台風こそ来なかったものの、下山時に台風並みの暴風雨に見舞われ、ジンクスから抜け出せたかは分かりません…。幸い山頂では満点の星空の中で流れ星を見たり、大滝山へお散歩に行ったりと充実した時間を過ごせました。来年は台風や暴風雨と無縁の夏山を目指します。

(8班リーダー P4 堀優華)

### 【2回目の夏山】

2年生となり、サブリーダーとして登った夏山は先輩方や後輩の助けを頂き大きな事故なく終えられました。徳沢や、蝶ヶ岳山頂で雷雨にあたり、下山の時にも大雨で下山道が川のようになっていたりと、今年の異常気象を痛感させられました。そんな中でも夜の雲間に見えた満点の星空や、日の出の様子は相変わらずとても美しく、今年も感動しました。また診療活動においては、少しでも成長を実感でき嬉しく思いました。

(8班サブリーダー M2 岩瀬正之)

### 【異常気象を実感した夏山】

今年度の夏山は例年とは大きく異なるものでした。三股ルートは土砂崩れで上高地からの登山となり、山頂では、雷雨や暴風もありました。テントが飛ば

されて避難してきた登山客もいるほどでした。自然の恐ろしさを強く感じた夏山となりました。

今後も異常気象が起こると思うので、より一層の危機管理の意識を持って活動に参加していきたいと思いました。

(8班 M3 井上右喬)



### 【初めての夏山】

私は今年初めて夏山に参加し、様々なことを経験しました。登りの途中で足を攣り、先輩にザックを持たせてしまったので、来年までにはもっと体力をつけようと思いました。私は自炊係だったのですが、先輩や同輩の協力のおかげで毎食美味しいものが楽しく作れました。診療所の方では、医療面接は一回しかできなかったので、もっと積極的にやればよかったと思いました。先輩方には本当にお世話になりました。来年も登りたいです！

(8班 M1 安藤有希乃)

### 【初めてなつやま】

山頂ではたくさんの星を見ることができました。ちょうど、ペルセウス座流星群が極大の頃に登ることができたので、流れ星もたくさんたくさん見ることができました！

暴風の中下山するのはとても大変でしたが、無事に降りてくることができよかったです。蝶に入っほとんどに良かったなあと思える夏山でした。来年以降も、今年の経験を生かして頑張りたいと思います。

(8班 P1 戸室幸太郎)

## 【2年目の夏山】

去年とは違い、後輩がいてサブリーダーという役割を背負っての夏山で緊張していました。今年は1泊滞在でも去年楽しませてもらった分を後輩に同じように返してあげたい！という気持ちでいましたが、それ以上に頼れる先輩や同期、元気な1年生に助けられながら、楽しませてもらう3日間となりました。天気にも恵まれ、1泊でも充実した夏山だったと胸を張って言えます。今年の経験を生かして来年も貢献できればと思います。

(臨時班2班サブリーダー N2 浅野友理奈)



## 【初めての夏山】

8月13日～15日で蝶ヶ岳に上りました。初日に徳沢に着くと雨が降り出し、翌日も天候に不安を抱えながらの登山となりました。しかし、夜には幸運にも晴れてきれいな星空と流れ星を見ることができました。人生初の流れ星ですごく感動しました。翌朝も快晴で、美しい日の出も見ることができました。短い期間でありながらも充実した登山でとても楽しかったです。本当にありがとうございました。

(臨時班2班 M1 開田晃生)

## 【初めての夏山をとおして】

今回初めて蝶ヶ岳に登りました。登山は、傾斜が急なところが続く、距離が長かったのが疲れましたが、頂上からの景色は最高で、きれいな星空と、ご来光を見られたので本当に良かったです。また、医療面接とバイタル測定、尿検査を患者さんにすることができました。とても緊張したし、反省することがたくさん

ありますが、貴重な体験をさせていただきました。短い期間でしたがたくさんの方のおかげで楽しく、充実した夏山でした。

(臨時班2班 N1 横山真由)

## 【今年も夏山へ】

今年からは立場も班長となり少し責任も感じるようになりました。頼れる後輩に恵まれ夏山を無事に乗りきることができたと思います。4年生になったせいか症状から病気を推測したり、投与する薬剤を考えたりすることが可能になってきたなと思います。今後は必要な情報を漏れなく聞くことを心がけたいです。また多くの後輩がいることも忘れずに楽しく安全な山頂ライフが送れればと思います。お世話になった方々に感謝申し上げます。

(9班リーダー M4 成瀬兼人)

## 【イレギュラーな夏山】

昨年は医療面接を経験できず、今年こそはと意気込み臨んだ今年の夏山。長野入りの日は大雨で乗鞍のホテル泊となり、いざ登ったらひどい雷雨に見舞われ、あまり無い経験になったと思います。肝心の医療面接は2例行い、先生方に沢山アドバイスを頂けて大変勉強になりました。初めてのサブりで未熟なばかりに色々な方々のお世話になりましたが、充実した夏山となり楽しかったです。支えてくださった皆様、ありがとうございました。

(9班サブリーダー M2 梅村祐美)





### 【3年目の夏山】

幹部として関わる夏山は1、2年生の時より、深く診療班に関わり、より診療班を知ることができました。多くの方に支えて頂き、学びも非常に大きかったです。そして、正規班で登れることの有り難さを年々強く感じます。今年の山頂生活も関わった皆さんのおかげで楽しく充実していました。周りへの感謝を忘れずに、今年の自分の中の反省点を生かしながら、日々の活動へ取り組んでいきたいと思えます。

(9班 N3 茅野三葉)

### 【初めての夏山山行】

初めての夏山山行はスタートから色々と非常事態に見舞われました。豪雨のため徳沢に行けず旅館泊となり、登山中は雷雨に遭遇したりと大変でした。しかし、山頂から見える素晴らしい景色と優しい先輩方のおかげで充実した山頂生活を送ることができました。今年はカメラを持って行かなかったため夜景などが上手に撮れなかったので来年は一眼レフを持って、また蝶ヶ岳に登ってみたいと思えます。

(9班 M1 北野暁也)

### 【初めての夏山】

上高地出発で雨と雷で徳沢まで行けず、ホテルに泊まりました。登山途中も天気に恵まれませんでした。次の日からきれいな星空や日の出やブロッケン現象が見れてよかったです。自炊は美味しいものばかりで大満足でした。頑張って荷揚げした甲斐がありました。医療面接は2回、バイタルは1回できました。実際の患者さんとやるととても勉強になりました。初めての夏山でいろんな経験ができてとてもいい思い出になりました。

(9班 N1 萩智佳子)

### 【過酷な登山あつての感動】

4年目の夏山は、今までで1番山頂の景色に感動したかもしれません。それは雲ひとつない穂高連峰や安曇野の夜景を見ることができただけでなく、過酷で景色のけの字もないような登山があったからでしょう。引き返そうかと考えるほどの強風に煽られながら

のラストスパートを乗り越えた班員はとても頼もしく、きっと今年の思い出を後輩に話しながらまた登ってくれるだろうと思えます。夏山で関わった皆様、ありがとうございました。

(10班リーダー P4 駒沢穂乃佳)



### 【盛りだくさんの夏山】

今年の夏山はイレギュラーが多く、心配なことが沢山ありましたが、大きな事故なく終えることができてほっとしています。登りの日以外は天気に恵まれ、積極的に予防的介入をしたり、閉所に立ち会って整理活動に参加したり貴重な経験をすることができました。天気に振り回された夏山となりましたが、慌ただしくも充実した日々でした。夏山を通してお世話になった多くの方々に感謝したいと思います。

(10班サブリーダー M3 藤永拓実)

### 【初蝶ヶ岳】

初めての夏山登山中は天候に恵まれず、あまり楽しむことはできませんでしたが、山頂滞在期間中は天候にも恵まれ、診療活動に参加し、先輩や先生方から貴重なアドバイスを頂いただけでなく、ブロッケン現象も体験することができ、とても充実していました。4泊5日の山頂生活があつという間に感じられるくらい楽しかったです。山頂でお世話になった方にはとても感謝しています。来年度も頑張ろうと思えます。

(10班 M1 安藤魁星)

### 【初めての山頂生活】

山頂では自然と多くの人とコミュニケーションをとることができました。普段の生活とは違い、知らない人同士でも挨拶をしたり景色の感動を共有できたりする環境はとても気持ちがよかったです。予防的介入やバイタル測定会では、勉強会で学んだことを生かしながら登山者と交流をしました。声掛けの際に戸惑うこともありましたが、先輩方のサポートのもとで円滑に活動ができたと思います。貴重な経験をありがとうございました。

(10班 N1 増田梨沙)



### 【快晴の整理班】

今年の整理班は徳沢でのテント崩壊から始まりました。あるはずの場所で崩れているテント。初めてのリーダーでプレッシャーの中起こってしまった事件に焦りました。様々な方の助けにより、無事登山することができました。山頂は、4年間で一番といっても良いほどの快晴で、下界であった大変なことを忘れるほどでした。残念ながら台風の影響で1日早くお終りこととなってしまいましたが、充実した山頂生活を送ることができました。

(整理班リーダー M4 鴻野かおり)

### 【初めての整理班】

自分は今年初めて整理班として夏山に登りました。最初は不安でしたが楽しい班員と優しい先生やヒュッテの方々のおかげでとても楽しい夏山となりました。また来年も夏山に登りたくなりました。関わっていただいた方、ありがとうございました。

(整理班サブリーダー M2 浅田貴登)

### 【徳澤園で見たのはライチョウ】

今年の夏山は三股方面の道路崩落に始まり、私の班が徳澤キャンプ場着の時にはテントが崩壊していました。(徳澤園の方にテントを貸していただきました。ありがとうございます。)台風接近に伴い下山が1日早まりました。以上のようにアクシデントが多かったですが、それを補ってなお余りある快晴が続き、北アルプスの山々、満天の星空を楽しむことができました。また、班員にも恵まれ、非常に楽しい山頂生活を過ごすことができました。

(整理班 M3 梅田翔梧)

### 【嫌いなもの「山」、好きなもの「山】

今年の夏山が初めての本格的な山登りでした。重い荷物を背負って急な山道を登っていく最中は、とても辛く、一番嫌いなものが「山」になりました。しかし頂上についてみると、そこに広がるのは雲一つない絶景。途端に一番好きなものが「山」になりました。景色だけでなく、先輩やスタッフの方を含めた頂上で出会った方々もいい人ばかり。ありがとうございました。

(整理班 M1 神田伸一)

### 【初めての夏山】

知らないことだらけで不安もありましたが、先輩方や先生方、ヒュッテの方々のおかげで蝶ヶ岳での生活はとても楽しいものとなりました。また、山頂生活を通して、自分の未熟な部分を多く発見することができたので、来年パワーアップして夏山に戻ってこれたらいいなと思います。ありがとうございました。

(整理班 M1 島田里奈)



### 【晴れ男、学生最後の夏山】

今年も昨年と同様、整理班ポーターで登りました。個人的には最後まで晴れ男になれるかどうか最大のポイントでしたが、台風の接近もギリギリ回避し、やはり晴れ男と我ながら思っていました。前日までは。テントの中で下山を一日早めるとの連絡を受け、最後の夏山は一泊二日となりました。晴れ男でも九州に接近まではカバー出来なかったです。6年間晴れ登山、下山は続けられたので、来年以降も晴れ男目指して登ろうと思います。

(整理班ポーター M6 井村尚斗)



### 【濃い夏山】

今年でもう四度も夏山に登らせてもらいましたが、一度も正規班になったことのない僕は山頂に計六泊しか滞在していません。しかし、この六泊の内容の濃さは誰にも負けていないと思います。特に今年は台風の影響で一泊になってしまいましたが、整理活動の合間に山頂に遊びに行き、充実した時間を過ごせました。

今年は頼りになる後輩にも恵まれました。少しでも自分の経験を託せていたらと思います。ありがとうございました。

(整理班ポーター M4 服部滉平)

### 【夏山を振り返って】

今年は整理班ポーターという立場で夏山を過ごしました。正規班として蝶ヶ岳に登り、診療活動や自炊などをした去年とはまた違って整理活動という経験が

できてとても良かったです。今年の診療班にとって三度目になる台風の影響で24時間足らずだった山頂生活は、振り返ってみると慌ただしくあっという間に過ぎていきました。今年学んだことをしっかり来年に繋げてもっと診療班に貢献できるよう頑張りたいと思います。

(整理班ポーター N2 古道万誉)

### 【幸せな経験へ感謝】

山行を終えて、山が大好きな私が整理班ポーターとして、蝶ヶ岳ボランティア診療班に携われたことをとても幸せに感じています。台風の影響により蝶ヶ岳での滞在が1日短くなってしまいましたが、整理活動を無事に終えることができ本当に良かったです。また、雲上セミナーで様々な登山者の方々にお会いし、お話できたこともとても良い経験になったと感じています。皆さん、素敵な経験を本当にありがとうございました。

(整理班ポーター M1 大藏愛里)

### 【初めての登山】

私は、今回の蝶ヶ岳がほぼ初めての登山でした。登りきれぬか若干の不安を抱いていましたが、先輩方のおかげで無事に登頂できました。山頂では、整理班ポーターの一員として整理活動を無事に終わらせることができました。また雲上セミナーと血圧測定会を行わせていただきました。これらも無事に終えることができよかったです。今年は初めての経験ばかりでしたが、この経験を生かして来年度の活動も頑張っていきたいです。

(整理班ポーター M1 古川省三)



## 患者さんからの言葉

(はがきより)

カルテ番号:18-002 7月14日

体調不良につき、診て頂きましてありがとうございます。丁寧な親切な問診でその場でも心もいやされ、体調も楽になっていった気がします。その後、先生に診て頂き、高山病との診断と、その治療法。まず下山、水分、呼吸法、すいみんが大切と指導を受け、その後の山行の時は意識に守るようにしています。今の私は呼吸法が一番効いているような気がします。のぼるのも楽な気がします。実際に体調不良になった現場で診ていただけて、自分でも納得出来て、また楽しみが増えました。

18-006 7月15日

山の山頂での出来事だったので困ってましたが診療所があって大変助かりました。ありがとうございます。

18-007 7月15日

前夜の常念小屋では一睡もできず(3階の屋根裏部屋の熱帯感、左右両隣の巨漢男性にはさまれ寝返り攻撃、雷の様なイビキに、奴隷船の船底で魚雷をくらい撃沈の思い)、一の沢からの登山の疲れを癒す事なく、8時間の縦走はキツかったです。診療所に入った時は、それだけで、もう大丈夫と安堵感に満たされました。フラフラで支離滅裂なおばさんに、優しく、ていねいに接していただきましてありがとうございました。肥満とイビキは、自己申告しないと他人の命を奪いますよ、ほんとうに。

18-009 7月15日

登山中の体調管理には十分気をつけていたつもりですがまさかの虫刺され。右目の上が腫れた時はどうしようかと思いました。下山するまで何もできないのかと心配していましたが山小屋内に診療所があり、丁寧に診ていただいた時には心から安心、感謝の気持ちがありました。また、学生さんの言葉使いや態

度に誠実さを感じました。よき医療者になってくださいね。村上先生、色々アドバイスして下さいありがとうございました。

18-011 7月15日

とても親切で、丁寧に説明して頂き、安心感がありました。学生さんは慣れない感じでしたが、一生懸命でしたし、よく話をきいて下さいました。山の上でのこと、とても不安でしたが診ていただき大変心丈夫でした。ありがとうございました。

18-012 7月15日

あの時は色々ありがとうございました。おかげで今ではすっかり元気になりました。また蝶ヶ岳に行きたいです。

18-014 7月15日

蝶ヶ岳登頂後に体調不良で心配していましたが先生や学生スタッフの皆様からとても親身に診察していただき助かりました。お陰様で気持ちも楽になり、体調回復するまでかかりました。本当に感謝しております。今後は先生に教えていただいた注意点を守りながら登山を楽しみたいと思っております。蝶ヶ岳ボランティア診療所の皆様今後の活躍をいよいよお祈り申し上げます。ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。



18-015 7月16日

お世話になり、ありがとうございました。7/17(火)夜に帰り、ひどい痒みが続いたため、計3回受診して、飲み薬と塗り薬を頂きました。痒くて辛くてたまらなかつた山小屋で丁寧に診て頂いて感謝しています。

18-016 7月16日

初めての北アルプス登山で、今までにない強いかゆみと腫れで大いに不安でしたが、山小屋で受診できてとても助かりました。迅速・丁寧な対応で、ボランティアである点にも感動しました！！今後もぜひ続いてほしいと思います。本当にありがとうございました。

18-017 7月16日

みなさま親切な対応ありがとうございました。職場のせがれにも名古屋市立大学はすごくいいぞ!!言ってみます。レベルが高くて誰も受からなさそうですが…。

18-021 7月16日

先日はお世話になりありがとうございました。おかげさまで無事下山し、次の日は上高地に行きました。ありがとうございました。

18-022 7月17日

山頂で医療の方がおられ、心強かったです。ありがとうございました。

18-023 7月17日

翌日常念岳登山時、念のため頂いた薬を服用し、無事下山できました。大変助かりました。ありがとうございました。

18-027 7月20日

常念岳に較べ、蝶が岳はややマイナーな山ですが、診療所があり、本当に有難い存在だと思います。各大学医学部で夏山臨時診療所を各地の山小屋で設けていてくれていますが、今後も継続していただくと夏山登山者にはありがたいです。

18-030 7月21日

先生、看護師さん、ありがとうございました!!「夜も開いてるから何かあったら又どうぞ」と言って下さったのが、大変安心になり嬉しかったです。手当てして頂かなかつたら(診療所がなかつたら)念願のコースは歩けてなかつたと思います。私の経験を話して友人にも注意喚起していこうと思います。大変だと思いますが、先生方も頑張ってください。大変お世話になりました!

18-031 7月21日

気持ち悪く、あまりうまく話せない中優しく丁寧に対応してくださいました。夜には元気になり、素晴らしい山の景色を楽しむことができました。

診療所があるということだけで安心して過ごせました。本当にありがとうございました。

18-034 7月22日

山頂に診療所があると心強く安心できます。  
ご丁寧な対応とご丁寧なありがとうございました。  
お世話になりました!

18-036 7月23日

対応が良かった。山小屋で診療所が有ることで気分的に助かります。

18-037 7月23日

親切、ていねいで、有難かったです。

18-038 7月23日

過日は大変お世話になり有難うございました。お陰様で翌日には回復し、長堀尾根を徳沢に下りました。お盆を前に帰省、受診しました。結果は上記の通りです。ボランティア診療のお陰で、体調回復が早まったと思います。厚く御礼申し上げます。酷暑の折、皆様呉々もご自愛下さいませ。遅くなりましたが、ご報告と御礼まで。

18-040 7月24日

前日の夜に開催された「高山病について」の講座に参加していたので、診察を受けることがスムーズに頭に浮かびました。

18-041 7月24日

血中酸素濃度や聴診で適格なご指導いただき、自信をもって下山できました事、ご親切に思いやりのある診断賜り篤くお御礼申し上げます。

18-043 7月24日

とても親切にして頂き、又夜の高山病の講習会(水分の摂取量)計算大変役立ちました。今後のご活躍お祈りしています。

18-044 7月24日

ありがとうございました。ぶじに、おりてくれました。

18-045 7月24日

軽い高山病だったにもかかわらず、明るくやさしく丁寧に診察していただき、とてもうれしく感謝しております。おかげ様で翌日無事下山することができました。蝶ヶ岳ヒュッテのような診療所が山の上にあることは他の登山者にとってもとても心強いのではないかと感じましたし、教えていただいた事は今後の登山時の高山病予防に役立てていきたいと思っております。これからも皆様が活躍されることを祈っております。ありがとうございました。

18-046 7月24日

親切に応待していただいた学生さんに感謝いたします。寄付金に領収書はいらないので、近くに募金箱でも設置したほうが簡単でいいと思います。

18-048 7月24日

丁寧に説明、丁寧に処置していただき、安心して翌日も行動できました。ありがとうございました。

18-052 7月25日

先日は大変お世話になりました。体調に不安を抱えながらの登山でしたので、学生さんの登山道でお声掛け頂き、診療所存在を教えて頂いた時にとてもホッとしたのを覚えています。ソロ登山ではなかったため、仲間に申し訳ないという気持ちから翌日も常念岳まで行くこと決めていましたが、先生はじめ学生の皆様方から下山のアドバイスをもらい、無理せずに下山する事ができました。いじから御礼申し上げます。

ご協力ありがとうございました。



18-053 7月25日

特に、登山をする時はお茶ではなくスポーツドリンクを飲んだり、塩分をしっかりとってないと思った。

18-054 7月25日

頭痛中のインタビューがややつらい。書く方が楽な気がする(自分で)。ありがとうございました。

18-056 7月25日

ロキソニンを処方していただき、子どもも安心したようでした。看護師さんに「深呼吸」の方法を丁寧に教えていただき、安心しました。ありがとうございます。

18-061 7月26日

今後の対応(下山後、下山方法など)まで、丁寧に教えて下さり、本当に助かりました。山で不安の中、子どもも安心していました。ありがとうございました。

18-065 7月26日

たいへん丁寧に対応していただき感謝しております。元気に下山することができました。ありがとうございました。

18-066 7月26日

此度は常備薬(ロキソニン)を持参するのを忘れて、腰痛発生でお伺いしましたが、充ちなるご診療を頂き、心から感謝致しております。7/27夜の高山病セミナーも素晴らしいものでした。貴診療班が、登山者にとって大変心強いありがたい機関であることを実感しました。御礼とともに、皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。

18-067 7月26日

恐るおそる、ドアをノックしたところ、すぐに若い方が出て来て、気軽に相談できる雰囲気だったのが良かった。あれが、いきなりドクターだとまた違ったと思う。翌日、ご来光をみていたら、若い男性が、体調について聞いてきてくれて、きめ細かさや責任感を頼もしく感じ、きっといい医師になるだろうと感じました。坂田先生が「台風も来ているし、明朝調子が順応できてなければ」と下山を提案して下さい、気が楽になりました。同行者に気がねしていたので、言い出しやすくなりました。お弁当の包み紙の絵と字がステキで調べたら、先生とのこと!!すごく楽しませてもらいました。

18-068 7月31日

丁寧に対応して頂きありがとうございました。皆様の様な診療班の方がおられることで、とても安心致しました。大変感謝しております。ありがとうございました。

18-069 8月1日

その節はお世話になりました。診察の翌日に大天荘まで縦走(約13時間歩行)したため悪化しました。ご指摘の通り登山靴の不応を今後の課題と感じました。先生の診察は登山に精通したものでしたので安心出来ました。学生さんも一生懸命で好感を持ってました。登山靴を甘く見ていた私の反省を今後活かしたいと感じました。有難うございました。

18-071 8月1日

学生の方も医師の方も、優しく丁寧に診察してくださり、自分が今どんな状況にあって、どうしていいのかなどを詳しく教えていただいたことで、安心することもできました。本当にありがとうございました。

18-073 8月3日

大変お世話になりました。親切、丁寧な対応に感謝します。ありがとうございました。

18-074 8月3日

滅多にある事ではないのですが、山でのケガや病気は、とても心細いものです。山小屋に貴大学のように診療所を開設して下さるのは、とても心強くありがたいと思います。立派な医療人になって下さる事を心から願っています。ありがとうございました。

18-076 8月3日

ご高齢の先生が山に登って来られ、診察をする、たいへんなことです。そして学生さんも自炊をし、お風呂にも入れない中を医療に頑張ってます。ボランティアで開いている診療所は登山者の強い味方です。

私も「目に異状なし」で、とても安心を致しました。皆様、ありがとうございました。

18-081 8月3日

丁寧な対応ありがとうございました。

18-082 8月4日

丁寧に診ていただけたので安心でした。また、チームでOJTをされているんだなと思い、それもまたみんなで診てもらっている安心感を感じました。山でこういったことをボランティアでされていて、とても助かりました。ありがとうございました。

18-083 8月4日

とても良い印象でした。すぐに研修医とDrとわかりました。指導する姿がエビデンスにもとずき御指導する姿が信頼出来ました。私自身もDrの診断、判断を素直に受け取れましたし、今後の登山に対する私のいましめにもなりました。感謝します。

18-084 8月4日

とても不安な気持ちでしたが、先生・学生の方々に大変親切な処置をして頂き、無事に下山することが出来ました。北アルプスの雄大な景色の感動と同じ位、忘れる事の出来ない思い出となりました。本当にありがとうございました。

18-085 8月4日

大変お世話になり誠に有難うございました。診察はNHKドクターGのカンファレンスのようでわかりやすかったです。翌日の朝食では診ていただいた先生と学生の方と同じテーブルになり、お礼を伝えることが出来てよかったです。年令をよく考え過信せず無理をせず人生・登山・ハイキングを考え直すよい機会となりました。本当に有難うございました。

18-090 8月5日

お忙しい中、学生の皆様・先生には丁寧に問診・治療をして下さりありがとうございました。軽症でしたが、診ていただく前は少し不安もありました。本当にありがとうございました。

18-092 8月5日

祖母である私が引率しての初めての北アルプスで、本人(小5)も不安が大きかったのと、トイレの臭いでまずはショックで排泄が出来なかったのが大きな原因でした。そこへ、若い先生方が優しく問診して下さい、詳しい尿検査、そして最後に Dr. が事細かく説明して下さい、本人の安心に繋がり、一気に症状が良くなった様に思います。一番の薬ではなかったでしょうか。本当にありがとうございました。

18-093 8月5日

患者に対する丁寧な対応に感銘した。  
先生方の真剣な姿勢にも心はほぐされた。  
医は善き所仕事あり。カンパって下さい。

18-098 8月6日

お世話になりました。久しぶりの病気で心細かったので、皆さんの丁寧なお心遣いが安心できました。ありがとうございました。

18-099 8月10日

ご対応頂いた山小屋のスタッフも治療して下さい、先生も皆さん親切で、とても好感もてる診療所でした。ありがとうございました。

18-101 8月11日

非常に丁寧な対応をして頂き、心細いのに助かりました。これからもガンパって下さい。無事下山出来たのも皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

18-103 8月11日

いつも高山病を発症しますが、今回時間があつた

為、いつもと同じながらも思いきって診療してもらいました。学生さんが中心で細かいとは感じましたが自分の状態をしっかりと良い機会となりました。診療内容がバイタル～投薬～点滴～尿検査と様々なことをやっていただき、個人的には大変嬉しく感じました。通常はここまでみてくれません。皆様やさしく丁寧に感激しました。ありがとうございました。

18-104 8月11日

先日はいろいろありがとうございました。その後体調もよく、毎日忙しくすごしています。私も病院勤務なので、皆さんステキなドクターになって下さいね。またどこかの山でお会いできると嬉しいです。

18-111 8月12日

学生の皆や先生が丁寧に看護して  
いたのを嬉しく思います。翌朝、体調が  
回復した後も先生や学生の皆に声を  
かけていたのを嬉しく思います。  
本当にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。



18-113 8月13日

その節は、三浦先生はじめ、ボランティアスタッフの方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。大変適切なアドバイスにより、短時間で回復出来ましたし、睡眠もとれました。この貴重な経験を忘れることなく、その後の山登りも水分補給を心がけております。ほんとうに、ありがとうございました。

18-115 8月13日

たいへんお力になって良かったです。  
山での診療所の受診も始めていただき、  
良くと感じました。  
学生さん、がんばり!



18-118 8月14日

山頂ではお世話になりました。無事、痛みもなく、下山できました。山頂に診療所があるんで安心ですね。学生のみなさんも親切で、先生にアドバイスもいただき参考になりました。本当にありがとうございました。

18-122 8月15日

夜中の診療にもかかわらず、親切かつ大変丁寧に対応していただき、ありがとうございました。永年高山病かと思っておりましたが、尿検査等を通じて脱水等が原因と判断いただいた事で、今後の山行時の参考とさせていただきます。登山者にとって大変安心でき、頼りにできる存在ですので、今後も是非続けていただければと思います。今度はお世話になり、ありがとうございました。

18-126 8月16日

大変お世話になりました。  
高山病への対応を聞いたので、  
その後も安心に過ごせました。  
診療所の存在が心強かったです。  
ありがとうございました。

18-129 8月17日

ぼくは、あのくすりのおかげでげんきになりました。ありがとうございました。

いつもの日常とは異なる環境での体調不良はとても不安でしたが、みなさんのおかげで安心と早期回復を得られました。本当にありがとうございました。

18-130 8月17日

親切に対応していただき  
ありがとうございました。  
呼吸法 教えていただき、深呼吸  
しながら山歩き楽しみました  
全く頭痛はなくなりました。

来所日\_\_月\_\_日 担当医師\_\_\_\_\_ カルテ番号\_\_\_\_\_  
名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

主訴 \_\_\_\_\_

病名(診断名) \_\_\_\_\_

受診後の経過を把握し今後の診療に役立てるために、蝶ヶ岳診療所での受診後の状況についてご記入ください。

1. 症状の経過についてお書きください。  
また下山後、医療機関にかかりましたか。(はい・いいえ)  
もし差し支えなければ、医療機関名と診断名をお書きください。

2. 学生や診療班への御意見・御感想をお書きください。  
診療班活動報告書に掲載することがあります。希望されない方はその旨をお書きください。



ご協力ありがとうございました。



## メディア取材及び資料集

蝶ヶ岳ボランティア診療班  
報告書部門 医学部3年 畑中景

新聞掲載が1件、広報誌掲載が3件ありました。

### 読売新聞朝刊(1件)

2018年5月17日(木)に診療班主催の講演会「山岳気象」の案内が掲載されました。

### 広報誌「創新」(2件)

Vol.29(2018年5月発行):神谷圭子蝶ヶ岳ヒュッテオーナー様に感謝状をお贈りしました。

Vol.30(2018年8月発行):「学生の手で山岳医療をささえる」、5月18日(金)に山岳気象講演(株ヤマテン代表取締役猪熊隆之氏)と6月16日(土)に壮行会が開催されました。

### 広報誌「瑞医」(1件)

Vol.37(2018年9月発行):診療所の開所の様子をお伝えしました。

2018年5月17日(木) 読売新聞

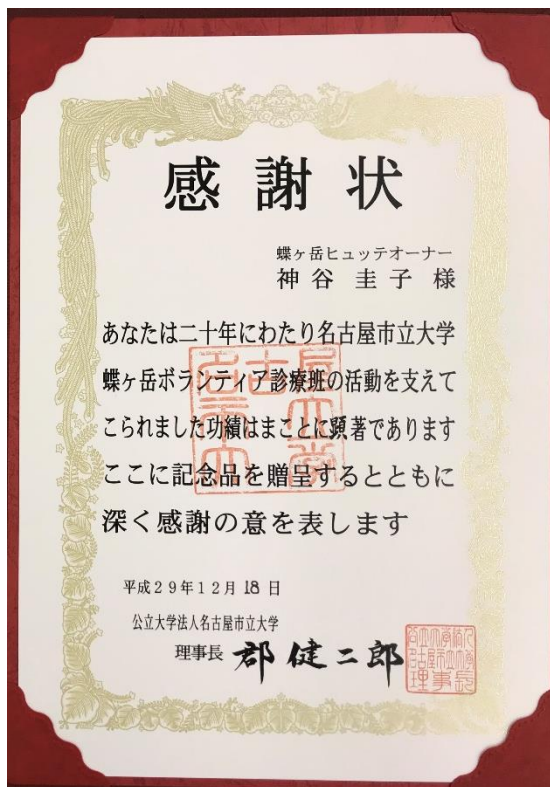
◇山岳気象の講演会 北アルプス・蝶ヶ岳付近で、医療活動続ける名古屋市立大の医学部生らでつくる「ボランティア診療班」が18日、「山岳気象」と題した教育講演会を開く。日本テレビ系の人気番組「世界の果てまでイッテQ!」の登山隊などをサポートする山岳気象予報士・

猪熊隆之さんが、気象の予測で登山のリスクを軽減するコツを分かりやすく解説する。会場は同市立大病院(瑞穂区瑞穂町川澄)3階大ホールで、午後5時から2時間。参加無料で事前の申し込み不要。問い合わせは診療班代表・酒々井(すずい)真澄教授の研究室(052・853・8991)。

2018年5月発行 創新 Vol.29

DATE 2018.1.6	
<b>蝶ヶ岳ボランティア診療班</b>	
<b>蝶ヶ岳ヒュッテオーナーへ感謝状を贈りました</b>	
	2018年1月6日、蝶ヶ岳ヒュッテのオーナーである神谷圭子氏へ、本学から感謝状を贈呈しました。ヒュッテ内にある蝶ヶ岳ボランティア診療所には、本学の医療関係に携わる教員や学生らが、夏の登山シーズンに交代で常在し、登山者の健康や安全を支援しています。創設から20年以上、「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班」を支えて続けていただいた神谷氏の功績に、深く感謝の意を表すとともに、今後も社会的にさらに充実した取り組みを進めます。

## 神谷圭子様への感謝状



## 2018年8月発行 創新 Vol.30

DATE 2018.5.18/6.16

### 学生の手で山岳医療をささえる ～蝶ヶ岳ボランティア診療班は今夏も5週間活動!～

2018年5月18日(金)、登山家で気象予報士の猪熊隆之氏(株式会社ヤマテン代表取締役)をお招きし、登山知識および技術の向上を目的に、気象図の見方と登山時の天候判断について講演いただきました。

6月16日(土)に開催された壮行会では、設立から診療班を支えてこられた至学館大学の三浦裕教授のお話へ続き、診療班代表の酒々井真澄教授は安全を最優先した今夏の活動方針を述べられました。学生、教員、OB・OGを含む本学関係者らは、懇親を深めながら安全な診療活動に取り組むことを確認しました。

山の天候を真刻に勉強中

各自の目標に向かって活動だ!

## 2018年9月発行 瑞医 Vol.37

### 蝶ヶ岳ボランティア診療所

蝶ヶ岳ボランティア診療所は7月16日(月)から8月19日(日)(5週間)に受診者134名(高山病、外傷、虫刺症、筋肉痛・関節痛、その他、ヘリ搬送1名)の診療にあたりました。参加学生76名、医療スタッフ等61名のご協力をいただきました。三股登山口(長野県安曇野市)へのアクセス道路の崩落に伴い、本年は全ての学生班を上高地ルートに変更しました。徳沢ロッジ、徳澤園、蝶ヶ岳ヒュッテ、参加スタッフと学生をはじめ関係者のご理解とご協力により適切に対応することができました。研究面では、「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量と急性高山病発症との関連」が専門誌「登山医学」(37: 144-149, 2017)に掲載され、これを発展させた研究成果を投稿準備中です。多くの方々のご協力によりこれまでに3,000名近くの患者診療にたずさわってきた実績があります。私たちはこの歴史を糧にしてこれからの新たな歩みを進めます。皆様には今後も本活動へのサポートを何卒よろしくお願い致します。

学生の手で山岳医療をささえる～「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所」のプレートの前で開所の挨拶をする羽柴班長(7.16.2018)

分子毒性学 教授 酒々井 真澄

## 表彰

2018年11月19日 第5回NEWレジデントグランプリ

「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所の活動と「水分摂取量と急性高山病との関連」に関する研究報告」

Nagoya City University Hospital, Nagoya City East and West Medical Center

### 第5回 NEWレジデントグランプリ

参加費無料!

○日時 平成30年11月19日(月)  
17時30分～21時00分(受付開始16時30分)

○会場 名古屋市立大学病院 中央診療棟3階大ホール

プログラム(予定)

17時30分～19時00分 医学生・初期臨床研修医の発表  
19時10分～20時00分 特別講演(今 明秀先生)  
20時00分～21時00分 臨床研修医優秀発表表彰・情報交換会

市立大学病院、東部医療センター、西部医療センターの初期臨床研修医の皆さんが研修の様子や、貴重な経験・症例を発表、優秀発表を決定します!  
今回より、医学生の皆さんの発表があります! みんなで仲間の応援をしよう!  
・医学生の皆さんは、実証先・研修先を知るチャンスです!  
※医学生の皆さんは、優秀発表への投票に参加ができます!

臨床研修医、医学生の皆さんを対象とした特別講演があります!

#### 2 劇的救命

八戸市立市民病院 院長 今 明秀先生

ドクターヘリを導入し国内屈指の救命救急センターをゼロから作り上げた今先生による特別講演!

情報交換会があります。軽食(お弁当)つきます。(研修医・医学生が対象)  
・医学生の皆さんは、各病棟の先生方や研修医の皆さんへ、日頃から疑問に思っていることを、楽しく軽食を食べながら、どんどん聞きましょう!

事前申し込み不要  
・発表、特別講演は事前申し込みまで、どなたでも聴講できます!  
※研修医・医学生の方は情報交換会も事前申し込み不要です!

(問い合わせ先) 名古屋市立東部医療センター管理部署 052-726-3101  
名古屋市立西部医療センター管理部署 052-991-8299  
名古屋市立大学病院総合研修センター 052-853-8545  
※臨床研修医担当をお呼び出下さい。

## 表彰状

### 奨励賞

畑中 景 殿

あなたは第5回NEWレジデント  
グランプリにおいて  
優れた発表を行いましたので  
今後一層の活躍を期待し  
ここに奨励賞を贈ります

平成30年11月19日

名古屋市立大学病院長 小椋 祐一郎  
名古屋市立東部医療センター病院長  
村上 信五  
名古屋市立西部医療センター病院長  
柰原 義之

2018年12月5日 「瑞躍賞」受賞

課外活動・社会貢献活動  
発表大会「名市大リンクトポス」  
表彰式「瑞躍賞」

全国公立大学学生大会で  
最優秀賞を受賞した学生も  
参加します

課外活動や社会貢献活動に関わる学生の発表大会「名市大リンクトポス」を昨年度に引き続き開催します。事例発表や意見交換を行い、活動における工夫や悩みを共有するなどして今後の活動に活かしていくことを目的としています。  
また、「瑞躍賞」の表彰式も同時開催します。  
名市大生であればどなたでも参加可能。あなたも一歩踏み出し、いろいろな学生とつながりましょう!

【日時】2018年12月5日(水)16:30～19:00  
【場所】滝子キャンパス 学生会館2階大ホール  
【参加者】本学の学生・教職員など奮ってご参加ください  
【申込】メールにて学籍番号、団体名、氏名を連絡  
<申込先>gakusei5043@sec.nagoya-cu.ac.jp  
※参加学生にはS-KEYポイントを100pt付与します!

学生課学生支援係 担当:桐山 TEL.052-872-5043

## 表彰状

第10号

### 瑞躍賞

蝶ヶ岳ボランティア診療班様

貴団体は社会貢献活動を通じて高い評価を受けました  
ここに今後一層の活躍を期待してこれを表彰します

平成30年12月5日

名古屋市立大学長 郡 健二郎

【診療活動の取材に関する合意書】

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班代表  
酒々井 眞澄 殿

- 1) 患者の診察の様子は診療情報・個人情報も多く含んでいるので、医師が患者へ説明して許可をとった上で取材します。
- 2) 医師が診療活動に支障を来すと判断したときは取材できないことを承諾します。
- 3) 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班の活動を取材するに際しては、プライバシーに関する場合を考慮して取材対象となる人から許可を取った上で取材します。
- 4) 取材の利用については当社に限るものとします。

\_\_\_\_\_ (自署) \_\_\_\_\_ (年月日)

社名

担当者

住所

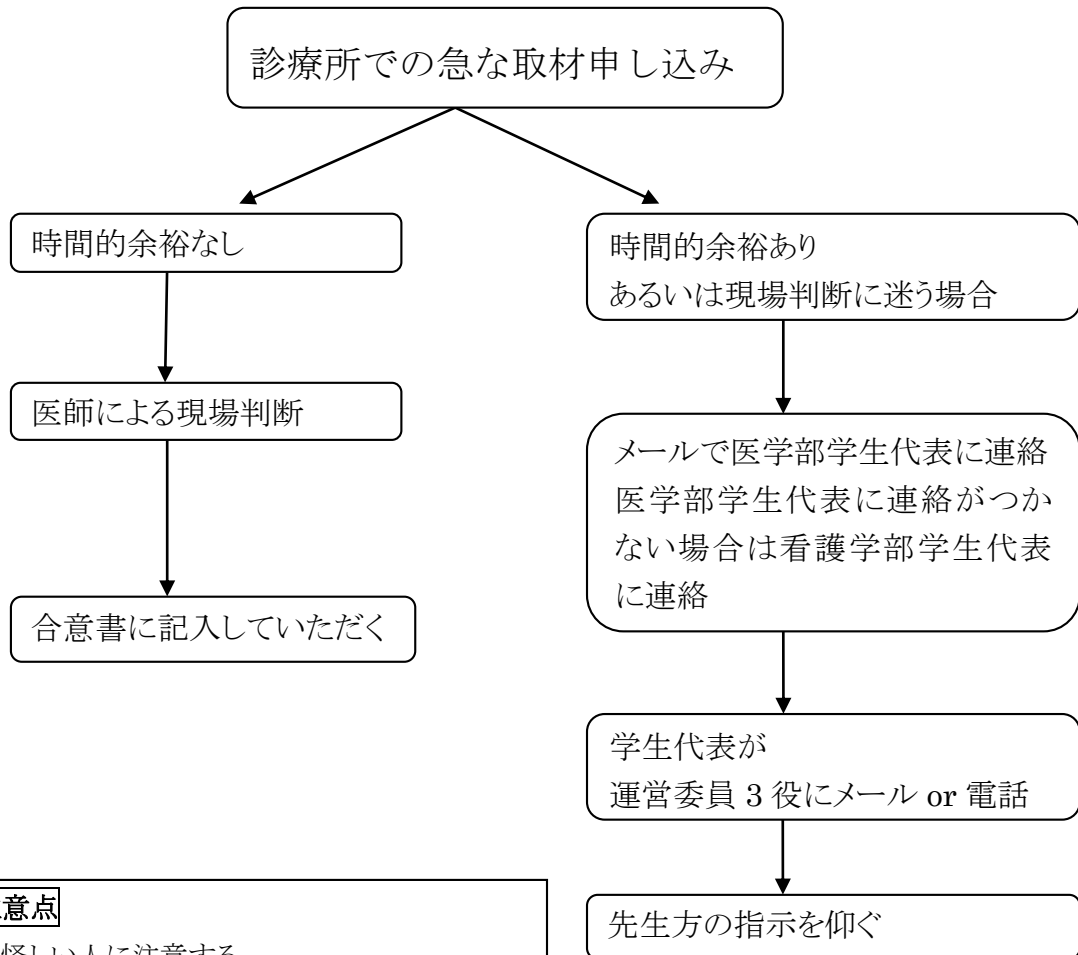
電話番号

ファックス番号

携帯電話番号

E-mail アドレス

## 診療所での急なメディア取材申し込みへの対応フローチャート



### 注意点

- ・怪しい人に注意する。  
(合意書を書くときの様子をよく見ておく)
- ・合意書の全項目が記入されていることを確認する。
- ・医師より患者様に取材の説明と同意を得る。  
(医師の判断で学生が行うことも可とする)
- ・説明と同意の旨をカルテに記載する。
- ・合意書に記入をしていただけない場合は取材を丁寧にお断りする。

## 短時間での一時閉所チェックリスト

### 全般

- 様子を写真やビデオにおさめる

### 情報技術

- パソコンの LAN ケーブルを抜く
- パソコンの電源を切る

### 自炊品

- ガスコンロからボンベを取り外す**
- ボンベを別々に所定の場所に置く**
- ガスコンロとボンベを自炊小屋に置いておくことをヒュッテの鈴木千恵様に伝える**
- 自炊小屋・冬季小屋を掃除する
- 自炊小屋内部の写真を撮る
- 生ものは荷下げする

### 診療所

- 診療所内部の写真を撮る

### ごみ

- 一般ゴミ、医療ゴミ、黄色い箱のゴミを確実に梱包する
- 一般ゴミ、医療ゴミ、黄色い箱のゴミを荷下げする

### 最終確認

- 班長は**自分で**自炊小屋の火の始末をチェックする
- 診療所のドアを施錠する
- ヒュッテの鈴木千恵様にかぎを返す
- 一時閉所作業完了の旨とお礼をヒュッテの鈴木千恵様に伝える
- 天候や人員などの状況を考え荷下げをするかの最終的な判断をする(荷下げする・荷下げしない)

## 短時間での完全閉所チェックリスト

### 薬剤

- カウントせずに A 材(輸液以外)とパルスオキシメーターを梱包する
- カウントせずに A 材(輸液以外)とパルスオキシメーターを荷下げる
- 作業風景をビデオか写真に撮る

### 情報技術

- パソコンの LAN ケーブルを抜く
- パソコンの電源を切る

### 自炊品

- ガスコンロからボンベを取り外す
- ボンベを別々に所定の場所に置く
- 自炊小屋・冬季小屋を掃除する
- 自炊小屋の越冬物品を写真に撮る
- 冷蔵庫の中を空にする
- ガスコンロとボンベの越冬をヒュッテの鈴木千恵様に伝える
- おひつ、生ごみ処理機、布団、いすなどヒュッテからの借り物を返す
- もらった食材リストをヒュッテの鈴木千恵様に渡す
- 食事人数表をヒュッテの鈴木千恵様に渡す

### 診療所

- 寄付金、公衆電話用のコイン、領収書を回収する
- 寄付金、公衆電話用のコイン、領収書を荷下げる
- カルテを回収する
- カルテを荷下げる
- パソコン、プロジェクター、名札を回収する
- パソコン、プロジェクター、名札を荷下げる
- 先生からの借り物(三浦先生の気圧計など)を回収する
- 先生からの借り物(三浦先生の気圧計など)を荷下げる
- 診療所の看板 2 個、掲示物を外す
- 診療所の看板 2 個、掲示物を所定の場所に置く
- 閉所看板をドアの外側に掛ける



- ビニールシートで窓を覆う
- 心電図計、ベッドにビニールシートを被せる
- AED の動作確認をする

#### ごみ

- 一般ゴミ、医療ゴミ、黄色い箱のゴミを確実に梱包する
- 一般ゴミ、医療ゴミ、黄色い箱のゴミを荷下げる

#### 最終確認

- 班長は**自分で**自炊小屋の火の始末をチェックする
- 診療所のドアを施錠する
- ヒュッテの鈴木千恵様にかぎを返す
- 閉所作業完了の旨とお礼をヒュッテの鈴木千恵様に伝える
- 天候や人員などの状況を考え荷下げるをするかの最終的な判断をする(荷下げる・荷下げしない)

## 2018年度 寄付者御芳名

誠にありがとうございました。

青木康博 明石恵子 赤田昌也 赤津裕康 薊隆文 安藤幸穂 石井克彦 石田恵章 伊藤俊之  
伊藤雅則 伊藤榮源 糸川寛美 井上双美 岩井祐佳 岩堀貴浩 上田衣理 宇佐美琢也  
宇佐美範恭 海尾卓 浦川陽子 太田肇 大西勇人 小笠原桜 岡山未奈実 小栗敏裕  
尾関年則 海川真美 景山篤 梶昭太 春日良介 片桐正恵 勝屋弘忠 加藤彰寿 加藤明裕  
蟹江崇芳 上家和子 神谷圭子 狩谷哲芳 木戸美佐江 木下拓也・智美 木村元彦  
草田潤一 國友愛奈 久野智之 久保岳大 黒川枝莉花 桑名邦子 小島誠 小山珠里  
小山卓男 小林千洋 斎藤絵梨子 齋藤祐太郎 榊原悠太 坂田晴耶 坂本土代 佐々木貴久  
佐藤康平 佐藤泰正 佐藤裕也 清水三奈子 下方征 下條哲二 社本穩俊 城川雅光 杉山智美  
酒々井眞澄 鈴木綾乃 鈴木達朗 鈴木例 須田徳則 高石鉄雄 高岸優太 高橋民子  
高橋真里 滝英明 滝昌弘 武田多一 塚木昇 塚田勝比古 津田洋幸 土持師 堤貴美子  
藤堂庫治 朽久保邦夫 永井盛人 中島貴裕 中西玲子 西尾政幸 服部壽々代 服部麗  
原純子 原田英幸 日比野あゆみ 平野冬子 福島弓子 古谷初枝 前田純三 前田直徳  
松浦武志 松本晴年 眞鍋良彦 丸山佑史 村瀬みどり 村山敦彦 森胡桃 森まりか  
森田明理 山田恵理子 吉田嵩 六郷孝也 若島芳介 渡辺綾野 渡邊周一 渡邊有紀

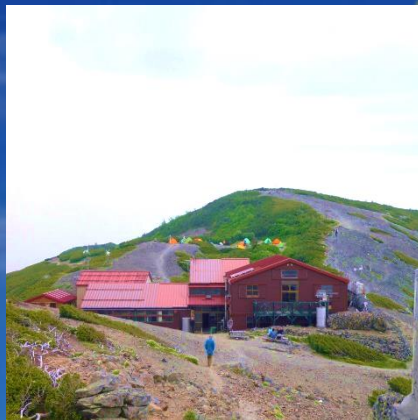
(敬称略五十音順)

## 協力団体御芳名

慈泉会相澤病院	長野県警察本部
安曇野赤十字病院	長野県警察本部航空隊
信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター	長野県山岳遭難防止対策協会
蝶ヶ岳ヒュッテ	長野県松本市
東邦航空(株)松本事業所	名古屋市立大学
徳澤園	名古屋市立大学医学会
徳沢ロッヂ	名古屋市立大学医学部同窓会瑞友会
	日本大学医学部徳沢診療所

(敬称略五十音順)

# 蝶ヶ岳 2018 医療スタッフ募集



私たち**名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班**は、長野県北アルプス蝶ヶ岳にて山岳診療所を開設しています。山頂からは槍穂高連峰の展望が楽しめ、麓から昇るご来光、満天の星空、雷鳥や高山植物などには心を奪われます。スタッフは山小屋に寝泊まりし、ヒュッテの食事や学生の手料理を食べることができます。



麓の安曇野までは名古屋から車で約3時間です。登山時間は片道6時間ほどです。登山に心配な方はお気軽にご相談ください。



診療所には高山病、外傷、虫刺症などの患者さんが期間中約120～200名受診されます。医・看護・薬学部の学生が医療スタッフをサポートいたします。診療所に医療スタッフが常駐することで登山者の健康管理と安心・安全な登山に大きく貢献しています。

## 医療スタッフが行うことの例

診察、投薬、高山病予防指導、点滴、酸素投与、外傷処置、テーピング、医療相談、雲上セミナー、重症者発生の場合にはヘリコプター搬送判断など

## 6/16 壮行会

2018年の募集期間は**7/16(月)～8/19(日)**です。

壮行会を**6/16(土)**午後より本学にて開催します。

診療班への初めての参加希望者は、原則診療班員(過去の参加者、OB/OGなど)の推薦を必要とします。

お問い合わせは年間を通して下記のアドレスまでご連絡ください。

[chogatake-staff@umin.ac.jp](mailto:chogatake-staff@umin.ac.jp) 皆様のご参加を心よりお待ちしております。



診療班代表  
酒々井眞澄

学生担当者  
井上右喬 石谷知子

蝶ヶ岳診療班



<http://chogatake.umin.jp>

[chogatake-staff@umin.ac.jp](mailto:chogatake-staff@umin.ac.jp)



## 2018 年度報告書係

医学部 6 年 野田遥加      医学部 5 年 佐藤棕      医学部 5 年 瀬古健登  
医学部 4 年 小川美波      医学部 4 年 服部滉平      薬学部 4 年 駒沢穂乃佳  
医学部 3 年 畑中景      医学部 2 年 梅村祐美      医学部 2 年 中野聖也

連絡先を変更された班員は下記まで連絡をお願い致します。

**chogatake-staff@umin.ac.jp**

寄付金受付窓口

郵便振込 口座番号 00830-3-59137

加入者名 名古屋市立大学医学部蝶ヶ岳診療班

---

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所 2018 年度報告書  
2018 年 12 月 第 1 刷発行

発行者 酒々井眞澄

発行所 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班  
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1 番地  
電話:(052)853-8993

URL:<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm>

印刷所 名古屋市立大学医学部生協